



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT

2020

病院年報
診療活動報告



さあ！一緒に夢んでいきましょう！



安心して暮らし続けていける環境を

<http://www.sagareha.or.jp>



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT

佐賀リハビリテーション病院年報目次

病院活動に関する統括

医事統計

看護部活動報告

リハビリテーション部活動報告

薬剤課・栄養課・放射線課・医療相談課活動報告

居宅サービス活動報告

訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ活動報告

夢館活動報告（DH 吉原・HP 吉原・GH 吉原）

福寿荘活動報告



令和2年を振り返って

今年 は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。佐賀市医師会の取り組みとして発熱トリージを令和2年5月初旬から看護学校前の駐車場にプレハブを建てて、医師3人、看護師2人、薬剤師2人、保健師2人、事務職員5人体制で開始しました。私自身も毎週参加しました。佐賀中部保健事務所にてPCR検査不要といわれた市民が一日10名ほど相談にられました。細かい問診、CBC(WBC分画)、SPO2、体温測定を行った後に医師が相談を受けるようにしました。殆どの方が相談に来て安心しましたと言って帰っていかれました。当院でも11月から発熱外来を月曜～金曜日の10時から2時間開始しました。検温、脈拍、SPO2、CBC、CRP、コロナおよびインフルエンザの抗原検査を行い私が診察するスタイルで行いました。数人の抗原検査陽性者がいましたが、スムーズに佐賀県医師会検査センターや中部保健福祉事務所に紹介致しました。重傷者がいなかったことは安心しました。今年3月からは医療従事者のコロナワクチン接種が始まりました。5月から65歳以上の高齢者への接種も始まりました。7月中には完了し次に若い世代への接種も始まります。当院ではかかりつけ患者以外にも希望される方には個別接種可能となっております。1人でも多く予約を受け付け佐賀市民の健康管理に協力したいと考えています。佐賀市医師会でも6月から看護学校3階講堂をはじめ数か所で集団接種を開始する予定です。一日も早くコロナが終息することを望んでます。みなさん今は我慢の時期です。頑張っていきましょう。



理事長 吉原正博

令和2年度理事長活動報告

令和2年

- | | | |
|----|-----|--|
| 4月 | 2日 | 運営会議19時～看護学校 |
| | 3日 | 商工会数人と食事会18時30分～おはな |
| | 4日 | 看護学校入学式13時～3階講堂 |
| | 6日 | 商工会陣内会頭と話し合い19時～おはな |
| | 8日 | 佐賀市医師会理事会19時～看護学校 |
| | 9日 | 地産保健診(6人)9時～当院 |
| | 11日 | 石原社長ご夫妻と食事会18時～大昌園 |
| | 16日 | 役員選挙立候補締め切り立ち合い17時～看護学校 |
| | 21日 | 佐賀県病院協会理事会(会長、副会長互選)19時～MC |
| | 22日 | 佐賀市医師会臨時総会19時～看護学校3階講堂
終了後2階役員室で佐賀市医師会後理事会 |
| | 24日 | 17時～みのり歯科受診 |
| | 30日 | 佐賀県医師会理事会15時～MC |
| 5月 | 2日 | 発熱トリアージシュミレーション14時～看護学校前プレハブ |
| | 4日 | 日曜在宅医(午前中のみ勤務) |
| | 7日 | 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ |
| | 9日 | 発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 |
| | 11日 | 発熱トリアージ会議18時30分～看護学校 |
| | 13日 | 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ
佐賀市医師会監査会&理事会18時30分～看護学校 |
| | 14日 | 佐賀県医師会理事会15時～MC |
| | 15日 | 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ |
| | 16日 | 発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 |
| | 19日 | 佐賀県病院協会理事会18時30分理事長室でZOOM会議 |
| | 20日 | 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
こども診療所ミーティング19時～現地 |
| | 21日 | 運営会議18時30分～看護学校 |
| | 22日 | 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ |
| | 23日 | 発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 |
| | 25日 | 発熱トリアージ会議18時30分～看護学校 |
| | 26日 | 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ |
| | 27日 | 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 |
| | 28日 | 佐賀県医師会定例代議員会19時～MC |
| | 30日 | 発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 |

6月	2日	佐賀ライオンズクラブ例会12時30分～オータニ
	3日	佐賀県医務課、佐賀中部保健福祉事務所、多久市役所と話し合い11時～事務長室 発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ
	4日	阿部教授と食事会18時30分～縁
	5日	17時30分～ぶどうの木スタッフ来院
	6日	佐賀西高同窓会打ち合わせ会10時～メートプラザ 発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 佐賀市医師会男性職員と食事会18時30分～おはな
	9日	多久小城新公立病院検討委員会19時～小城市役所
	10日	10時～佐賀銀行取締役役来院 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
	11日	飯盛相談役、岩橋事務長、一番ヶ瀬つぼみ荘事務長と食事会18時30分～じゅせん
	12日	佐賀商工会と打ち合わせ&食事会18時30分～きりん
	13日	発熱トリアージ週末会議11時～看護学校 佐賀県医師会定例会員総会15時～MC
	15日	武田テバ説明会12時20分～4階会議室 中部医療圏地域医療構想分科会18時30分～佐賀県庁正庁4階
	16日	佐賀県病院協会理事会19時～MC
	17日	発熱トリアージ13時～看護学校前プレハブ こども診療所ミーティング19時～現地
	18日	佐賀県医師会理事会15時～MC
	19日	佐賀大学脳神経外科学学生講義15時～医局 脳神経外科医局員と食事会18時30分～さいくう
	20日	発熱トリアージ週末会議11時～看護学校
	22日	智博会18時30分～牛庵
	23日	定時評議委員会18時～MC
	24日	ゆめっこ保育園内科健診11時～現地 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
	26日	赤松小学校内科健診14時～現地 佐賀市医師会定例総会19時～看護学校3階講堂 終了後ランパダで慰労会
	27日	神代社長らと打ち合わせ&食事会18時30分～居酒屋一
	30日	発熱トリアージ担当理事と反省会19時～さいくう
7月	2日	運営会議19時～看護学校
	3日	8時30分～佐賀中部広域連合来院

- 葉隠緑化久保社長らと打ち合わせ&食事会18時30分～ゆうき
- 4日 庄長米寿祝い18時～オータニ
- 6日 南部水ヶ江班親睦会19時～オータニビアテラス
- 8日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会18時30分～看護学校
- 9日 訪問看護ステーション役員会18時～MC
終了後縁で食事会
- 10日 佐賀市医師会職員賞与支給8時30分～現地
佐賀中部広域連合会議14時～佐嘉神社記念館
- 11日 中島商事と打ち合わせ&食事会18時30分～さいくう
- 13日 地域医療支援病院運営委員会18時～NHO佐賀病院
招福会18時30分～くらおか亭
- 15日 こども診療所ミーティング19時～現地
- 16日 佐賀市保健事業関係者会議14時～看護学校2階研修室
佐賀県医師会理事会15時～MC
佐賀中部保健福祉事務所と佐賀市医師会役員との懇親会19時～オータニビアテラス
- 17日 阿部教授と食事会18時30分～おはな
- 18日 医師会事務職員と食事会18時30分～居酒屋一
- 19日 枝國幸恵氏3回忌12時～オータニ
- 20日 智博会18時30分～クリム
- 21日 17時～みのり歯科受診
- 21日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 22日 13時～運営委員、裁定委員への退職金渡し
佐賀市医師会理事会18時30分～楊柳亭
- 25日 商工会との打ち合わせ会18時30分～ゆうき
- 27日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
- 28日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
- 29日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
- 30日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
発熱トリアージ会議18時30分～まめ猫
- 8月 1日 森本、川崎君と食事会18時～ゆうき
- 3日 多久、小城地区新公立病院建設基本構想基本計画検討委員会19時～小城市役所
- 4日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
発熱トリアージ会議18時30分～看護学校
- 6日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
佐賀市保健事業関係会議19時～看護学校
- 8日 好生館加藤剛ご夫妻と食事会18時～おはな

- 12日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 13日 初盆参り13時30分～看護学校集合
- 14日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
神代社長と食事会18時30分～おはな
- 18日 佐賀県病院協会理事会18時30分～ZOOMにて開催
- 19日 こども診療所ミーティング19時～現場
- 20日 佐賀県医師会理事会15時～MC
佐賀県医師会新型コロナ対策会議17時～MC
- 21日 商工会と食事会18時30分～ゆうき
- 22日 佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会総会14時30分～MC
- 24日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
発熱トリアージ会議18時30分～看護学校
- 25日 17時～みのり歯科受診
- 26日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 27日 看護学校関係委員会19時～看護学校
- 28日 若獅子会18時30分～居酒屋一
- 29日 発熱トリアージ週末1会議11時～看護学校
-
- 9月 3日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
運営会議19時～看護学校
神代社長と食事会20時～じゅせん
- 4日 佐賀市医師会職員と食事会18時～居酒屋一
- 5日 ライオンズクラブ若手会員と食事会18時30分～縁
- 6日 休日在宅医(午前中勤務)
- 8日 地産保健診(3人)9時～当院
- 9日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 10日 久友会18時半～ゆうき
- 11日 発熱トリアージ会議18時30分～看護学校
- 13日 正紀誕生日祝い12時～オータニ
- 14日 中部広域連合8時30分～来院
防災航空隊9時～来院
- 15日 17時～みのり歯科受診
佐賀県病院協会理事会18時30分～ZOOMにて開催
- 16日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
こども診療所ミーティング19時～現場
- 17日 佐賀県医師会理事会15時～MC

- 神代社長、嘉村氏と食事会18時30分～おはな
- 18日 中部広域連合会議14時～佐嘉神社記念館
佐賀市医師会田中局長と話し合い18時30分～うつけ
- 19日 智仁会理事と食事会18時～京すし
- 21日 草場、光岡副会長と食事会18時30分～おはな
- 22日 招福会18時30分～オータニ中華
- 23日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
終了後鉄板焼きくにて役員誕生日祝い
- 24日 諸井会計16時30分～来院
- 25日 講師会議18時30分～看護学校
終了後オータニケータリングにて懇親会(3階講堂)
- 26日 中島商事と話し合い18時30分～縁
- 28日 智仁会理事と食事会18時～牛笑ホルモン
- 30日 発熱トリアージ会議18時30分～看護学校
- 10月 1日 中尾階主先生授賞式13時30分～エスプラッツ3階
中部保健福祉事務所古賀保健官他2人16時～来院
- 2日 多久市役所職員14時～来院
若獅子会18時30分～ゆうき
- 3日 石原社長ご夫妻と食事会18時～じゅせん
- 4日 佐賀バルナーズバスケットボール試合観戦14時～総合体育館
- 5日 智仁会理事と食事会18時～寿し政
- 6日 9時～富田薬品来院
- 7日 9時～佐賀中部保健福祉事務所来院
- 8日 秀島佐賀市長と熱論14時～佐賀市役所
- 9日 佐賀市医師会職員と話し合い18時30分～居酒屋一
- 10日 池田秀夫佐賀県医師会元会長、徳永漁連元会長、中野JA元会長の慰労会
11時30分～オータニ
中部保健福祉事務所古賀保健官と食事会18時30分～縁
- 13日 佐賀中部医療圏地域医療構想分科会18時30分～佐賀県庁正庁
- 14日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 15日 地産保運営協議会14時～看護学校
佐賀県医師会理事会15時～MC
ワタキュー村田相談役らと食事会18時30分～じゅせん
- 16日 発熱トリアージ13時～看護学校駐車場
ミニ久友会18時30分～おはな

17日 田中局長と打ち合わせ会18時30分～ゆうき
20日 9時～地産保(3人)、中部広域連合来院
佐賀県病院協会理事会19時～MC
21日 走ろう会会議14時～看護学校
こども診療所ミーティング19時～現場
22日 運営会議19時～看護学校
23日 陣内商工会議所会頭らと佐賀市医師会役員との話し合い&懇親会19時～オータニ
24日 神代社長と話し合い18時30分～おはな
26日 智博会18時30分～酒の蔵えん
27日 発熱トリアージ19時～看護学校
28日 原爆健診10時～当院
佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後楊柳亭で食事会
29日 三師会19時～オータニ
30日 17時～みのり歯科受診
中元寺君と食事会18時30分～縁

11月 2日 発熱トリアージ会議18時30分～看護学校
3日 在宅医出動
4日 「い肝ばい肝」出版祝賀会19時～オータニ
6日 商工会と話し合い18時30分～ゆうき
7日 鍋島直正保存会の話し合い18時30分～居酒屋一
11日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後焼肉ひらぬまで食事会
12日 17時～みのり歯科受診
13日 就学時健診14時～赤松小学校
ミニ久友会18時30分～居酒屋一
14日 戴帽式13時～看護学校3階講堂
坂井課長らと話し合い18時30分～おはな
16日 多久小城新公立病院会議19時～小城市役所
17日 教育委員長15時～来院
発熱外来会議18時30分～看護学校
佐賀県病院協会理事会19時～MC
18日 13時～NHO佐賀病院発熱外来見学
こども診療所ミーティング19時～現場
19日 14時～健康増進課参与来院
佐賀県医師会理事会15時～MC
運営会議19時～看護学校

- 20日 9時～地産保(4人)来院
9時30分～Dr大曲、末岡医学部長、溝上会長来院
佐賀中部広域連合策定委員会14時～佐嘉神社記念館
- 21日 バルナーズバスケット試合観戦18時～諸富ハートフル
- 22日 音琴真也先生結婚披露宴12時～ホテルオークラ福岡
- 23日 花帆お宮参り11時～伊勢神社
上記食事会12時30分～オータニ中華
- 24日 8時30分～佐賀中部広域連合職員来院
発熱外来会議18時30分～看護学校
- 25日 矢ヶ部医院新築開院祝い(祝辞&テープカット)8時30分～現地
佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後肉上手明月館で食事会
- 26日 早津江病院松永高政院長&中島商事中島社長、園田部長と食事会19時～じゅせん
- 27日 走ろう会&歩こう会会議14時～看護学校
神代社長らと食事会18時30分～縁
- 28日 PT野中、Ns佐山結婚披露宴12時～マリトピア
岸田前自民党政調会長、岩田衆議院銀と意見交換会19時30分～マリトピアシャンリー
- 29日 まろ医会18時～オータニ
- 30日 介護保険認定審査会正副委員長会議19時～オータニ
- 12月 2日 智博会忘年会18時30分～酒の蔵えん
- 3日 発熱外来会議18時30分～看護学校
運営会議19時～看護学校
- 4日 稲富英雄氏お通夜18時～メモリード東佐賀
神代社長と話し合い18時30分～おはな
- 5日 佐賀医学会15時～MC
同上食事会18時30分～居酒屋一
- 7日 南部水ヶ江班忘年会19時～オータニ
- 9日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会18時30分～オータニ
佐賀市医師会忘年会19時～オータニ
- 11日 16時30分～鶴田整形外科受診
ミニ久友会19時～縁
- 12日 久留米大学医学部同窓会佐賀支部長会議18時～オータニ
- 14日 9時～地産保(8人)来院
- 15日 17時～みのり歯科受診
佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 16日 個別指導立ち合い14時～九州厚生局

こども診療所ミーティング19時～現場

17日 佐賀県医師会理事会15時～MC

19日 バルナーズバスケット試合観戦18時～総合体育館

21日 久留米大学医学部同窓会佐賀支部決算19時～じゅせん

22日 佐賀中部広域連合策定委員会14時～佐嘉神社記念館
佐賀中部医療圏地域医療協議会18時30分～佐賀中部保健福祉事務所

23日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校

25日 佐賀リハ病院&佐賀中部病院でのDr福森送別会19時～オータニ

26日 若獅子会18時30分～縁

28日 佐賀市医師会事務職員と食事会18時30分～居酒屋一

29日 神代社長と話し合い18時30分～おはな

30日 仕事納め式16時～エントランスホール

令和3年

1月 4日 仕事始め式8時～リハルーム
ライオンズクラブ若手会員との食事会18時30分～おはな

7日 地産保健診9時～当院

11日 在宅医出勤(午前中)

13日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
神代社長、塚本猪一郎画伯面会18時～看護学校校長室
佐賀市医師会理事会19時～看護学校

14日 佐賀銀行堤常務面会10時30分～事務長室

15日 ミニ久友会18時30分～ゆうき

19日 佐賀県病院協会理事会19時～MC

20日 こども診療所ミーティング19時～現場

21日 佐賀県医師会理事会15時～MC

22日 コロナワクチン接種会議18時30分～看護学校

23日 バルナーズバスケット試合観戦18時～総合体育館

26日 佐賀中部広域連合会議14時～オータニ

27日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校

28日 運営会議19時～看護学校

30日 バルナーズバスケット試合観戦18時～総合体育館

2月 1日 コロナワクチン接種会議18時30分～看護学校

3日 佐賀大学附属病院連携病院長会議16時～佐賀大学臨床講堂1階
多久小城新公立病院建築委員会19時～小城市役所

- 9日 地域医療支援病院委員会19時～好生館
- 10日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
放送大学校役員の面会17時50分～看護学校
コロナワクチン接種会議18時～看護学校
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 16日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 17日 コロナワクチン接種会議18時～看護学校
こども診療所ミーティング19時～現場
- 18日 佐賀大学附属病院整形外科受診11時～
佐賀県医師会理事会15時～MC
智博会18時30分～酒の蔵えん
- 19日 キワニストール寄贈式16時～看護学校
好生館シンポジウム19時～看護学校3階講堂
- 20日 バルナーズバスケット試合観戦18時～総合体育館
- 22日 コロナワクチン接種会議11時～当院事務長室(薬剤師3社、佐賀市健康福祉部2人)
- 24日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
コロナワクチン接種会議18時～看護学校
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 26日 商工会と話し合い18時30分～縁
- 27日 佐賀医学会15時～MC
- 28日 在宅医出勤(午前中)
-
- 3月 3日 看護学校卒業式13時～看護学校3階講堂
- 4日 9時～地産保健診(7人)来院
- 5日 神代社長と話し合い18時30分～おはな
- 6日 バルナーズバスケット試合観戦18時～総合体育館
- 7日 花帆初節句12時～オータニ
- 10日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 11日 佐賀県医師会理事会15時～MC
運営会議19時～看護学校
- 12日 ミニ久友会18時30分～おはな
- 13日 福田脳外科福田院長、大園医師と食事会18時30分～居酒屋一
- 15日 地域医療支援病院運営委員会18時～NHO佐賀病院
- 16日 佐賀中部広域連合会議14時～佐嘉神社記念館
佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 17日 こども診療所ミーティング19時～現場
- 18日 福田脳外科院長と食事会19時～おはな

19日 若獅子会18時30分～縁

22日 佐賀県地域医療構想会議19時～佐賀県庁旧4階会議室
佐賀中部広域連合打ち合わせ10時～当院外来
新型コロナウイルス検査14時～佐賀大学病院
佐賀中部病院Dr新井慰労会19時～ゆうき

24日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後肉上手明月館で食事会

25日 佐賀県医師会代議員会19時～MC 終了後居酒屋一で食事会

26日 佐賀大学整形外科入院(7階東病棟)

29日 右膝TKA手術12時30分～令和3年3月
佐賀県病院協会理事会19時～MC

17日 こども診療所ミーティング19時～現場

18日 福田脳外科院長と食事会19時～おはな

19日 若獅子会18時30分～縁

22日 佐賀県地域医療構想会議19時～佐賀県庁旧4階会議室
佐賀中部広域連合打ち合わせ10時～当院外来
新型コロナウイルス検査14時～佐賀大学病院
佐賀中部病院Dr新井慰労会19時～ゆうき

24日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後肉上手明月館で食事会

25日 佐賀県医師会代議員会19時～MC 終了後居酒屋一で食事会

26日 佐賀大学整形外科入院(7階東病棟)

29日 右膝TKA手術12時30分～

コロナ禍がこれほど深刻な事態に至ることは、当初予測できませんでした。感染拡大により緊急事態宣言が発令され、さらに 第二波、第三波が到来することとなり、各方面に大きな影響をもたらしました。東京オリンピック・パラリンピックの開催延期、全国高校野球春の選抜大会・夏の選手権大会の中止、大相撲の春 場所無観客開催・夏場所中止などは歴史的なできごとでした。医療界は病床の逼迫、物資の不足に加え、安全確保のための診療制限や一般患者の受診控え等により、経営面でも深刻な打撃を受けました。

当院は「新直ちに院内行動規範を定め、刻々と変化する佐賀県内の情勢に応じて 適宜これを改定更新し、職員に対して明確な指針を示しました。また物資の調達、職員の配置、診療体制など重要事項を審議して諸問題の解決を図り、的確な基本方針を提言して、当院が職員の安全を守り、地域における使命を遂行する上で重要な役割を果たしました

毎年、様々な行事を催して職員が楽しみを共にしていますが、2020 年の病院行事はほぼ全て中止せざるを得ませんでした。そのような中で、Web 会議の導入、IT 活用の促進など、ウィズコロナ時代における新たな展開が加速し、結果として業務の効率化につながる効果も生まれました。また新たな時代を迎えますが、開設の精神に則り、リハビリの原点に立ち、理念に謳う「地域の専門病院」の実現のため、職員一同引き続き力を合わせて参ります。何卒ご支援の程お願いいたします。



令和2年度最大の懸案事項は新型コロナウイルスに対する感染予防対策であった。当院は全病床が回復期リハビリテーション病棟である関係から、新型コロナウイルス感染患者の治療目的での入院要請はなかった。感染予防対策として、職員の基本的感染防止策の徹底とならんで、入院患者家族の面会制限が行われた。緊急事態宣言下における面会制限の影響はどのようなものだったか。具体例を提示する。

Kさん、85才、女性。長女夫婦と3人で暮らしていた（長女A子さん62才、長女の配偶者65才）。発症前に生活機能障害はなかった。

X月1日、突然、右片麻痺を発症し、救急車でB病院に入院。脳梗塞・超急性期と診断されt-PA療法が行われた。引き続き、閉塞血管に対する血栓回収術も行われた。救急車がB病院に到着し、Kさんが救急処置室に入った後は、Kさんとの面会は一切禁止された。Aさんは「お母さんは今、どのような状態だろうか、今どんな気持ちでいるだろうか、苦しんでいるのではないだろうか」、と毎日心配した。心原性脳塞栓症と診断されて抗凝固薬を開始する時と転院の方針が決まった時に担当医から電話で説明があったのみだった。電話による説明では母親の病状を具体的に想像することは難しかった。Kさんは当院への転院が決まり、X月25日に当院に搬送された。Aさんは当院の待合室で3週間振りにKさんの手を握ることができた。元氣なくストレッチャーに横臥している母親の姿を見て涙があふれてきた。しかし、面会できたのは束の間で、母親が、どの程度体を動かすことができるのか、どの程度しゃべることができるのか、食事を口から食べることができるのか、自分の目で見て確認することは叶わなかった。

当院に入院後も面会は禁止だった。ただし、急性期のB病院と違って、定期的に主治医から直接病状説明を受け、毎週のように病棟看護師や担当リハビリ職員から現在の様子を聞くことができた。少しずつ回復していることがわかり安堵した。面会の代替手段として、スマートフォンを使える患者さんならば、ビデオチャット（インターネット電話）が可能だが、85才のKさんはスマートフォンを持っていない。そもそも失語症なので電話で会話もできなかった。

面会禁止の影響はKさんにとっても深刻な問題だった。当院に入院した当初は、情緒不安定で、抑うつ状態だった。当院の環境に慣れ、当院の職員と心を通わせ、前向きな気持ちになるまで2ヶ月かかった。

X+4月、Kさんの退院が近づいた。Kさんは、かろうじて自力で経口摂取できるようになったが、依然として、移動には車椅子が必要で、ベッドから車椅子への移動、トイレ利用にも介助が必要である。それでもAさんは母親を自宅で介護するつもりだった。しかし、自分が母親を介護するところを想像することは難しく、本当に介護できるかどうか不安だった。通常であれば、退院の前に、リハビリスタッフが自宅を訪問して、患者さんの病状に応じて、その家屋構造特有の問題点などを指摘し、手すりの設置や介助方法など、在宅療養に必要な、様々な提案、指導を行う。その後、試験的外泊を体験していただき、退院に向けて解決すべき課題が見つければ、更にリハビリを続け、家族への指導も行う。ところが、面会禁止の状況ではこれらの手続きが実施できなかった。その代わりに、リハビリスタッフが、患者さんを実際に介助するところをビデオで撮影し、それをご家族に見せながら指導することを何度も行った。

X+5月、Kさんは自宅に退院した。退院が「ぶっつけ本番」になってしまったので、受け入れたご家族の苦労は大変なものだったと、後日、知らされた。

年度の途中で、一旦、面会制限は部分的に緩和されたが、新型コロナウイルス感染は全く収束していない。本稿が皆様の目に触れる頃には、ワクチン接種が進み、感染が早く収束することを願ってやまない。

令和 2 年度をふりかえって

夢館 館長 吉原 眞紀子

夢館がスタートして 7 年半が過ぎました。おかげさまで継続してほぼ満室のご利用をいただけていて本当に嬉しく思っております。スタッフの皆さんの頑張りの賜物です。

令和 2 年度はコロナに明け、コロナに暮れ、コロナに泣かされた一年となりました。いろんなイベントもことごとく中止せざるを得ず本当に残念でした。面会禁止の時間も長く続きました。夢館のご利用者様達を支える「家族力」にも大きな制限がかけられました。遠くに住む子どもさん達の生活を壊したくないと言うような親心から夢館入居を決意なさった方も多く、親心が仇になり子ども達と会えなくなられてしまった方も数多く、コロナ禍の中、遂に会えないまま黄泉の世界に旅立たれた方もおられ、私どもも胸が引き裂かれるような思いでお送りせざるを得ませんでした。

そんな中でもせめてものお楽しみをと感染防止に努めながら敬老会



とクリスマス会は実施させていただきました。マスク越しにも皆様の笑顔が輝いておられたのは嬉しいことでした。ただ、残念だったのはご家族にはお声をかけられなかったこと。ぜひともこの笑顔を見ていただきたかったのに。



また設立当初から頑張ってくれていた木下課長との突然の悲しい別れもありました。最後に話した時にも明るい笑顔で「ドライバーさんを増やしてくれたらもっと利用者増やせますから任せてください。」と頼もしく語ってくれたことを思い出して胸が潰れそうになります。心よりご冥福をお祈りし、感謝の思いをお伝えしたいところです。でもその時も通所リハは休むことなくスタッフが守ってくれました。今はまた後を継いだ江頭課長を中心としてみんなで頑張ってくれています。デイサービス吉原が終了してデイのスタッフもたくさん夢館に来てくれました。心強い限りです。

それにしても今のところ病院からも夢館からも一人の感染者も出さずにすんでいるのは皆様の頑張りのおかげです。今後とも感染防止に努めてまいります。ワクチン接種が始まったことは大きな希望です。また以前のように自由に面会、外出をしていただける夢館へ戻れる日が一日も早く帰って来ますように。

昨年4月から、佐賀リハビリテーション病院にお世話になり始め、あっという間に、1年が過ぎてしまいました。

昨年度は、新型コロナウイルスという新たな感染症に対する感染防止対策に追われ、面会禁止、制限などを繰り返しながら、手探りで対応に追われました。

そして、いろいろな行事も、中止や縮小をせざるを得ない状況となり、病院の患者さんや夢館の利用者さんにも、多くの制約をお願いし、不自由な生活をお掛けし、また、職員も、様々な親睦行事を中止し、日々の生活でも、自粛を余儀なくされた1年でした。

こうした皆様のご協力と病院一丸となって取り組んだ感染対策により、ここまで、感染者を出さずに済んで来た事は、幸いな事だと思っています。

ところで、感染防止策として、マスクの着用や手洗いと、3密（密集、密接、密閉）を避ける行動は定着し、そして、『ソーシャルディスタンス』という言葉が世の中に浸透していきました。

そうした中、コロナが流行る前の生活が、懐かしくも思え、いつになったら、元の様に、自由な生活が送れるのだろうかとも、思ったりもしてしまいます。

しかしながら、今は、まだ、まだ、新型コロナウイルスの収束の見通しが、出来ない状況下ではあります。

今後は、新たな生活様式が定着する中、ワクチン接種が進み、治療薬の開発が進んで行くものと思われます。

しかしながら、この先、もう暫くは、新型コロナウイルス感染症と付き合っていかなければならないでしょう。

新型コロナウイルスの収束を願って……………。

余談ではありますが、病院で飼っているリスが1匹になっているもので、仲間を増やそうかと話をしていたのですが、コロナの影響で、輸入が出来なくなっているそうで、リスの仲間もコロナの収束を待たざるを得ない様です。



事務長 岩橋 隆一郎



マスクの上も下も笑顔です！！ 吉原麻里



エンドレス親父ギャグの父に、超天然ボケの母、関西人の夫と上司（教授）、箸が転がっても転がらなくても笑い転げる子ども達に囲まれる私は、どんなにシビアな状況であろうとも、つい笑いを求めてしまう。

令和二年度は（も）コロナに振り回された。「感染予防」と枕詞をつければどんなに私権を制限しても良いのか…と困惑するほどに制限だらけだ。大人数でご飯を食べたらダメ、歌ったらダメ、触れ合ってもダメ、飲酒もダメ、下のみならず上のお口も隠さなきゃダメ（マスク必須）…楽しい事はぜーんぶ禁止！！そんな状況だからこそ笑いが欲しい！！！！！！

私は不必要だと考えた制限には積極的に異議を唱え、同時に面白いポスターを作ることに注力した。特に面会再開のポスターを作るのはとても嬉しくて楽しかった！くまモンのマスク姿が可愛かったので採用したら「佐賀リハなのに何で熊本やねん！」と佐賀愛溢れるツッコミをいただき、佐賀県観光協会に頼み込んで壺侍を使わせてもらったのも良い思い出である。（「観光目的じゃないと許可できない」と渋られたが…最後は許してくれた！）

他にもワクチン啓発のポスターをたくさん作った。私は HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）の黒歴史（怖いイメージを植え付けられて全然接種率が向上しないこと）に強い危機感を持ち、新聞への投稿を繰り返してきたが、当院でも接種開始することを決断した。

コロナワクチンもメリットよりもデメリットなどを強調する報道が目立ち、不当に怖いイメージが広がっているように感じる。当院のスタッフはほとんどの人が接種する決断をしたことに安堵した。が、今後一般の方に普及し、コロナが収束するまでは油断できない。HPV ワクチンの二の舞にならないよう努力したい。そんなこんなでワクチン普及に奮起していたところ、理事長から「ワクチン責任医師よろしく！」と任命されたので、襟を正して頑張ろうと思う！！



まさかの新聞一面デビュー！ 理事長よりデカく載ってすみません...

熊本VS佐賀

ゆるキャラの対決に決着。



令和2年 医事課活動報告

令和2年 診療活動(実績)報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	訪問診療													0
	訪問診療(施設)	118	95	158	126	136	144	140	128	143	126	135	134	1583
検 査	胃カメラ	11	10	13	8	8	9	23	14	9	3	8	7	123
	ボタン交換	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	ホルターECG	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	2	3	10
	ECG	108	61	109	43	71	75	89	63	28	20	27	53	747
	腹部エコー	22	17	11	18	13	24	17	11	16	5	12	8	174
	心エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CBC	24	52	25	32	27	31	30	1	41	56	38	34	391
画 像	単純撮影	323	229	287	205	233	293	269	238	175	141	151	184	2728
	VF	7	7	4	4	2	3	2	2	3	2	3	3	42
	他造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CT	90	89	81	89	95	92	76	84	95	74	59	70	994
														0
保険予防	健康診断	142	79	114	31	50	57	103	56	3	3	7	32	677
	人間ドック	18	3	3	6	5	14	5	1	4	0	2	4	65
	特定検診	10	5	9	11	7	4	12	6	6	4	9	3	86
	佐賀市国保ドック	2	3	1	2	0	3	0	1	3	0	0	0	15
														0
														0
	救急来院	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

令和2年度紹介来院一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介来院(2F入院)	16	14	14	12	9	17	16	14	18	14	9	18	171
紹介来院(3F入院)	20	17	16	10	19	22	12	19	21	13	12	16	197
紹介来院(外来)	9	11	8	6	4	6	8	7	9	12	11	10	101
合 計	45	42	38	28	32	45	36	40	48	39	32	44	469

令和2年度逆紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介病院(2F退院)	4	2	1	2	2	2	2	2	0	2	3	2	24
逆紹介病院(3F退院)	4	2	2	5	5	6	6	5	4	5	3	6	53
逆紹介病院(外来)	0	20	0	27	32	29	31	36	27	36	19	27	284
逆 紹 介 合 計	8	24	3	34	39	37	39	43	31	43	25	35	361

令和2年度施設紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介施設へ(2F退院)	4	1	6	2	3	2	8	3	2	6	3	5	45
紹介施設へ(3F退院)	4	2	6	2	8	1	5	4	6	3	5	6	52
紹介施設へ(外来)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施 設 紹 介 合 計	8	3	12	4	11	3	13	7	8	9	8	11	97

令和2年度紹介来院一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	5	6	4	2	7	3	2	2	5	4	1	3	44
佐賀県医療センター好生館	17	12	14	9	5	13	8	16	21	6	5	17	143
NHO佐賀病院	6	6	3	3	5	12	7	3	6	7	5	6	69
副島病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福田脳神経外科	3	7	6	5	3	10	7	7	6	6	1	3	64
正島脳神経外科	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	5
百武整形外科	1	1	0	2	0	2	1	3	0	3	3	2	18
遠藤内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西有田共立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院	4	1	6	1	1	2	1	1	2	0	5	3	27
ひらまつ病院	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
清友病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀記念病院	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
													0
													0
													0
													0
													0
													0
県内他の病院	5	9	3	4	5	3	7	4	8	7	10	6	71
県外の病院	2	0	1	2	3	0	1	4	0	4	1	3	21
合 計	45	42	38	28	32	45	36	40	48	38	31	43	466

令和2年度外来患者集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
患者数	内科	904	887	942	923	876	898	913	850	960	882	806	932	10,773	897.8
	皮膚科	166	140	177	190	190	155	166	153	154	133	146	151	1,921	160.1
	リハビリ	238	205	296	287	290	276	263	220	226	211	221	272	3,005	250.4
新患者数	内科	17	28	25	17	11	25	26	29	28	50	39	33	328	27.3
	皮膚科	8	5	8	11	16	4	11	9	8	8	6	6	100	8.3
	リハビリ	3	3	6	0	2	3	0	0	3	5	2	1	28	2.3
紹介来院数	内科	8	7	1	3	0	2	3	4	2	4	6	3	43	3.6
	皮膚科	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0.3
	リハビリ	2	2	6	1	4	4	5	3	6	7	5	6	51	4.3
算定状況	時間外	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	7	0.6
	深夜	0	1	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	7	0.6
	休日	0	14	1	0	0	10	0	13	1	20	9	0	68	5.7
日平均外来患者		52.32	51.33	54.42	56.00	54.24	55.38	49.70	50.96	51.54	51.08	51.00	52.12	630	52.5
新患者率		2.14%	2.92%	2.76%	2.00%	2.14%	2.41%	2.76%	3.27%	2.91%	5.14%	4.01%	2.95%		
入院対外来比		0.48	0.43	0.51	0.48	0.49	0.48	0.48	0.44	0.45	0.41	0.45	0.47		
日平均入院患者		87.29	91.48	90.26	93.55	89.29	89.45	91.13	90.19	95.19	95.84	84.81	93.39		
外来診療実日数		25	24	26	25	25	24	27	24.00	26.00	24.00	23.00	26.00	299	

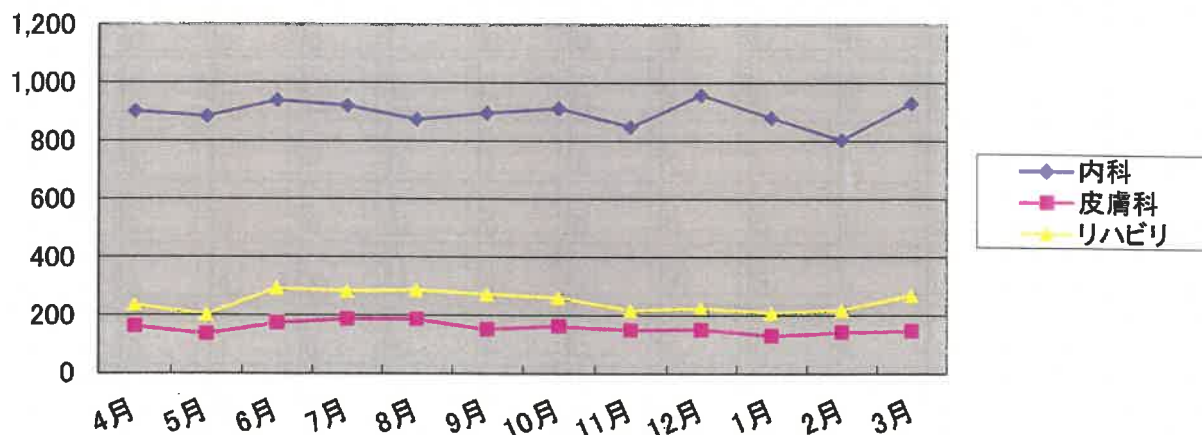
在宅医

在宅医

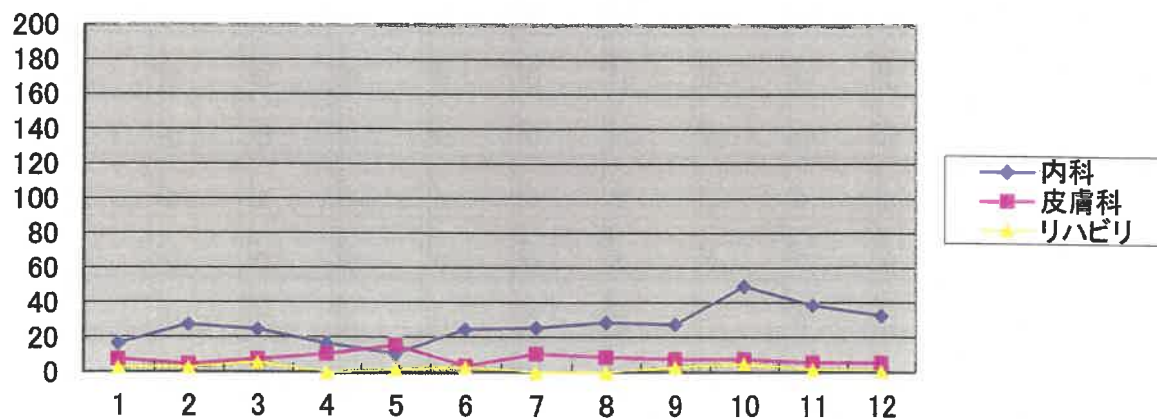
在宅医

在宅医在宅医

診療科別患者数



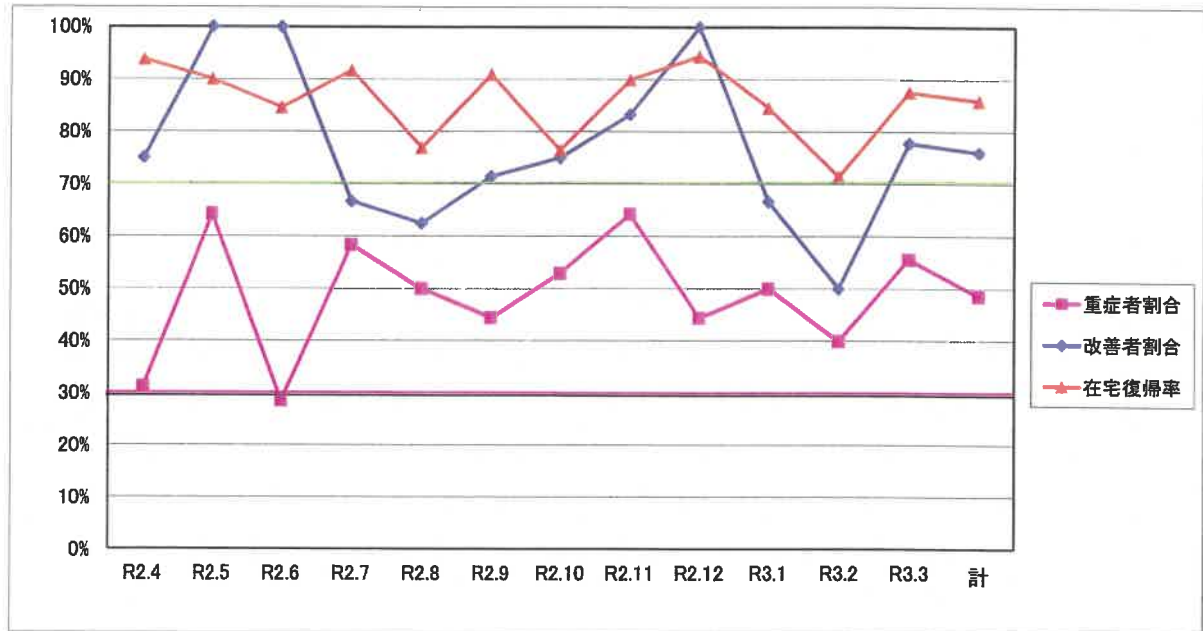
診療科別新患者数



令和2年逆紹介病院別(施設)一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	1	2	1	2	3	0	4	1	0	4	2	6	26
佐賀県医療センター好生館	0	9	0	9	11	12	9	15	9	7	7	8	96
NHO佐賀病院	0	0	0	1	1	1	3	1	1	0	0	0	8
副島病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福田脳神経外科	1	2	0	4	1	5	5	4	1	1	2	2	28
佐賀中部病院	0	0	0	2	1	1	1	4	5	2	0	2	18
百武整形外科	0	1	0	0	4	0	3	1	0	5	0	3	17
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正島脳神経外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀記念病院	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1		3
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中原眼科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
横尾クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養病床の病院	1	0	1	1	3	4	1	1	0	2	4	2	20
回復期リハ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の病院	5	8	1	15	13	14	13	15	15	22	9	11	141
特老	1	1	2	0	3	0	4	0	0	1	2	4	18
ヘルスケア水ヶ江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院附属 介護老人保健施設	2	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	7
エバーグリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レストピア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白寿園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
徐福の里	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
自宅扱いの施設	3	1	8	2	5	1	5	6	7	6	3	6	53
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の施設	2	0	1	2	2	2	2	0	0	2	2	1	16
	16	27	15	38	50	40	52	50	39	52	33	45	457

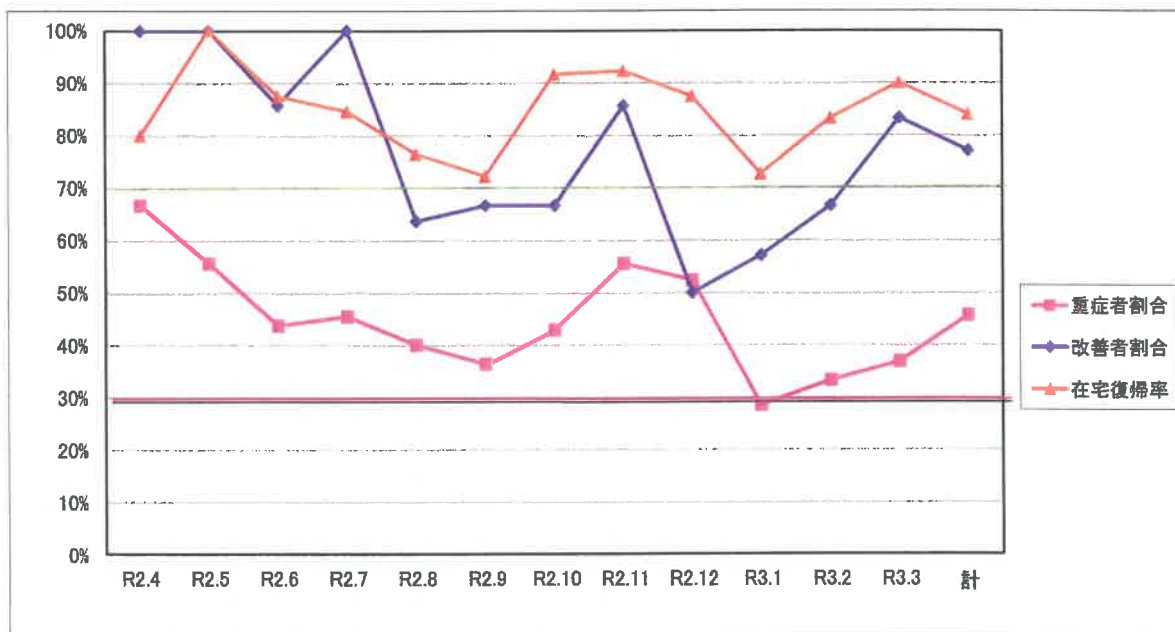
2020年度年度 回復期リハビリテーション入院料1(2階病棟)に係る施設基準推移表



入院	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	計
① 入院患者数	18	15	15	14	13	18	19	14	18	14	13	19	190
② (1) ①のうち回復期算定外	2	1	1	2	3	0	3	0	0	0	3	1	16
療養⇒回復へ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
③ ①のうち日常生活機能指標が10点以上だった患者数 (②(1)除く)	5	9	4	7	5	8	9	9	8	7	4	10	85
④ 重症者割合 (③/(①-②(1)))	31%	64%	29%	58%	50%	44%	53%	64%	44%	50%	40%	56%	48.6%
A項目有りの患者数	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5
A項目割合	0%	14%	0%	8%	0%	0%	0%	7%	6%	0%	0%	0%	2.9%

退院	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	計
⑤ 退院者数	21	13	15	15	14	14	22	12	18	14	15	19	192
(1) ⑤のうち療養型入院等の算定外	1	1	1	1	2	1	3	0	0	0	0	2	12
(2) ⑤のうち死亡、急変による退院患者	4	2	1	2	0	2	2	2	0	1	1	1	18
(3) 算定期限切れによる退院追加対象者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑥ 対象退院患者数 (⑤(1)(2)除く)	16	10	13	12	13	11	17	10	18	13	14	16	163
⑦ (1) ⑥のうち在宅等へ	15	9	11	11	10	10	13	9	17	11	10	14	140
(2) ⑥のうち介護老人保健施設へ	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	2	1	16
(3) ⑥のうち他の回復期リハ病棟へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4) ⑥のうち(3)を除く病院、有床診療所へ	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	2	1	7
⑧ 在宅復帰率 (⑦(1)/⑥)	94%	90%	85%	92%	77%	91%	76%	90%	94%	85%	71%	88%	85.9%
⑨ ⑥のうち入院時の日常生活機能指標が10点以上であった患者	8	2	6	3	8	7	8	6	6	6	6	9	75
⑩ ⑨のうち退院時、日常生活機能指標4点以上改善した者	6	2	6	2	5	5	6	5	6	4	3	7	57
⑪ 改善者割合 (⑩/⑨)	75%	100%	100%	67%	63%	71%	75%	83%	100%	67%	50%	78%	76.0%

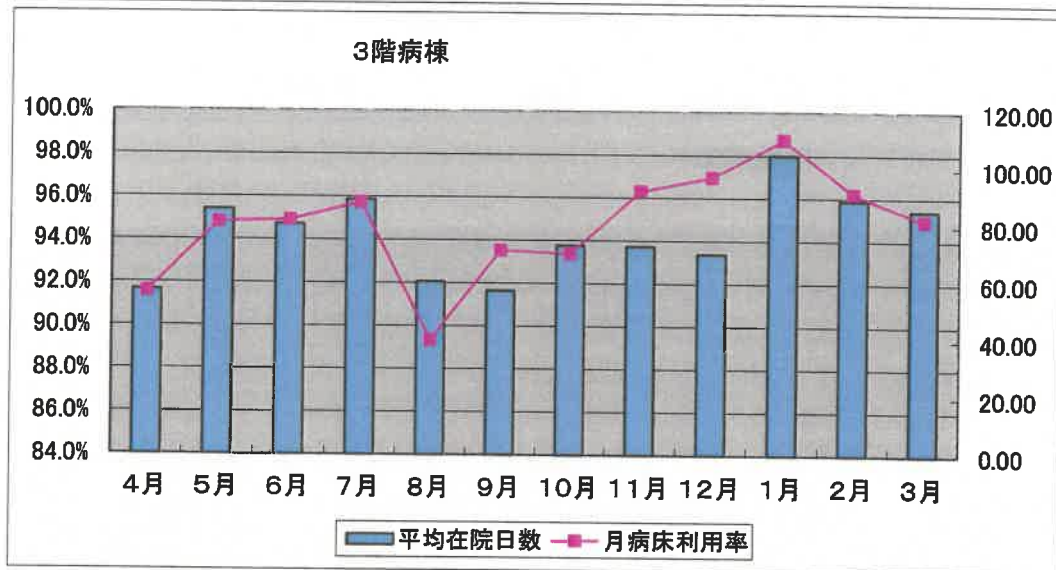
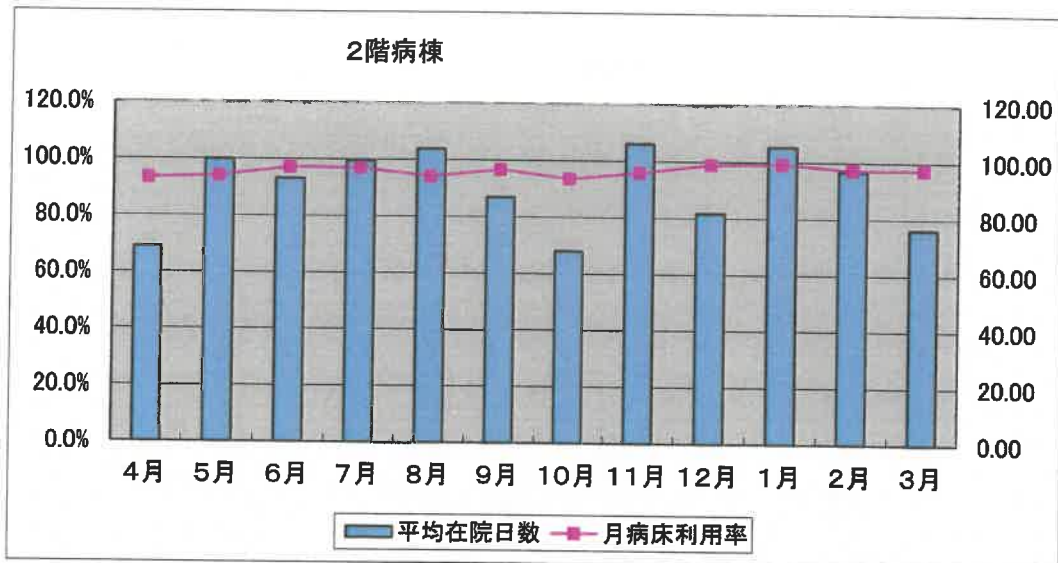
2020年度 回復期リハビリテーション入院料2(3階病棟)に係る施設基準推移表



入院	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	計
① 入院患者数	22	19	16	15	22	26	17	20	21	14	14	17	223
② (1) ①のうち回復期算定外	1	2	0	5	3	5	5	2	1	0	2	0	26
療養⇒回復へ	0	1	0	1	1	1	2	0	1	0	0	2	9
③ ①のうち日常生活機能指標が10点以上だった患者数 (②(1)除く)	14	10	7	5	8	8	6	10	11	4	4	7	94
④ 重症者割合 (③/(①-②(1)))	67%	56%	44%	45%	40%	36%	43%	56%	52%	29%	33%	37%	45.6%
A項目有りの患者数	1	1	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	8
A項目割合	5%	6%	0%	0%	20%	0%	7%	0%	0%	0%	8%	0%	3.9%

退院	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	計
⑤ 退院者数	24	14	18	17	22	21	21	18	20	14	15	16	220
(1) ⑤のうち療養型入院等の算定外	1	1	0	0	2	1	4	2	1	0	2	1	15
(2) ⑤のうち死亡、急変による退院患者	3	2	2	4	3	2	5	3	4	4	1	5	38
(3) 算定期限切れによる退院追加対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
⑥ 対象退院患者数 (⑤(1)(2)除く)	20	11	16	13	17	18	12	13	16	11	12	10	169
⑦ (1) ⑥のうち在宅等へ	16	11	14	11	13	13	11	12	14	8	10	9	142
(2) ⑥のうち介護老人保健施設へ	3	0	1	1	2	1	0	0	0	1	1	0	10
(3) ⑥のうち他の回復期リハ病棟へ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
(4) ⑥のうち(3)を除く病院、有床診療所へ	1	0	1	1	2	4	1	1	1	2	1	0	15
⑧ 在宅復帰率 (⑦(1)/⑥)	80%	100%	88%	85%	76%	72%	92%	92%	88%	73%	83%	90%	84.0%
⑨ ⑥のうち入院時の日常生活機能指標が10点以上であった患者	8	4	7	5	11	9	3	7	4	7	3	6	74
⑩ ⑨のうち退院時、日常生活機能指標4点以上改善した者	8	4	6	5	7	6	2	6	2	4	2	5	57
⑪ 改善者割合 (⑩/⑨)	100%	100%	86%	100%	64%	67%	87%	86%	50%	57%	67%	83%	77.0%

利用率・平均在院日数



令和2年 2階病棟

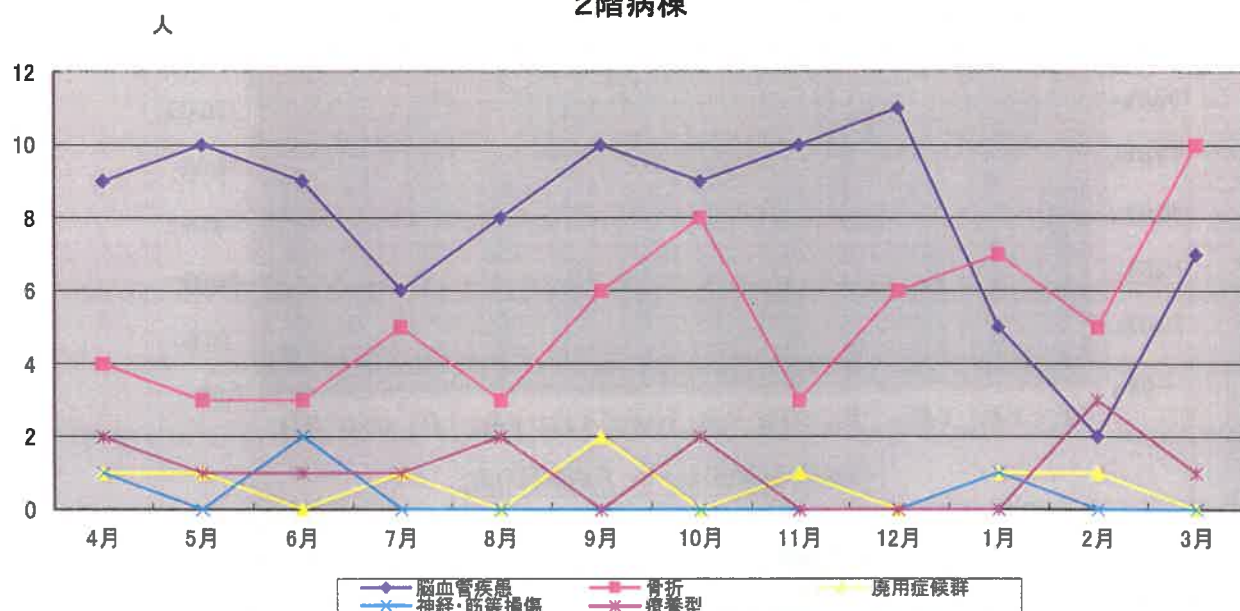
診療月	日数	病床数	総人数	入院者数	退院者数(死亡数)	月病床利用率	平均在院日数	粗死亡率
4月	30	48	1,342	18	21 0	93.2%	68.82	0.0%
5月	31	48	1,398	15	13 0	94.0%	99.86	0.0%
6月	30	48	1,398	15	15 1	97.1%	93.20	6.7%
7月	31	48	1,443	14	15 0	97.0%	99.52	0.0%
8月	31	48	1,402	13	14 0	94.2%	103.85	0.0%
9月	30	48	1,391	18	14 0	96.6%	86.94	0.0%
10月	31	48	1,392	19	22 1	93.5%	67.90	4.5%
11月	30	48	1,379	14	12 0	95.8%	106.08	0.0%
12月	31	48	1,470	18	18 0	98.8%	81.67	0.0%
1月	31	48	1,474	14	14 0	99.1%	105.29	0.0%
2月	28	48	1,306	12	15 0	97.2%	96.74	0.0%
3月	31	48	1,447	19	19 0	97.2%	76.16	0.0%
合計	365	48	16,842	189	192 2	96.1%	88.41	1.0%

令和2年 3階病棟

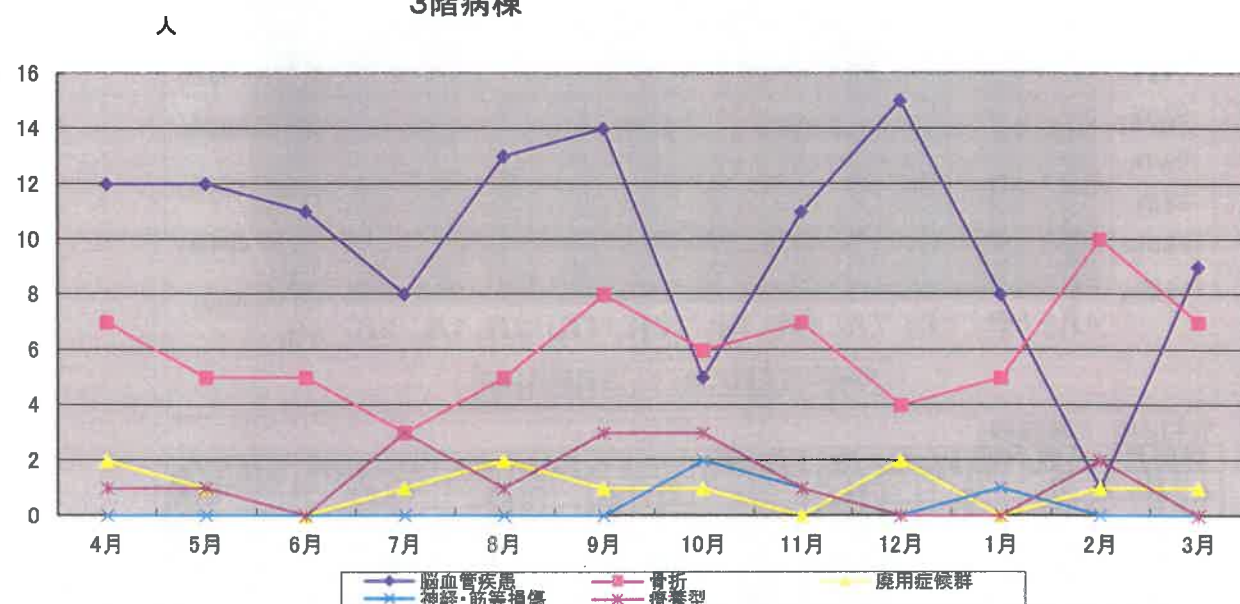
診療月	日数	病床数	総人数	入院者数	退院者数	月病床利用率	平均在院日数	粗死亡率
4月	30	48	1,319	22	24 0	91.6%	57.35	0.0%
5月	31	48	1,411	19	14 0	94.8%	85.52	0.0%
6月	30	48	1,367	16	18 0	94.9%	80.41	0.0%
7月	31	48	1,425	15	17 0	95.8%	89.06	0.0%
8月	31	48	1,330	22	22 0	89.4%	60.45	0.0%
9月	30	48	1,347	26	21 0	93.5%	57.32	0.0%
10月	31	48	1,390	17	21 0	93.4%	73.16	0.0%
11月	30	48	1,387	20	18 0	96.3%	73.00	0.0%
12月	31	48	1,443	21	20 1	97.0%	70.39	5.0%
1月	31	48	1,469	14	14 0	98.7%	104.93	0.0%
2月	28	48	1,293	14	15 0	96.2%	89.17	0.0%
3月	31	48	1,413	17	16 0	95.0%	85.64	0.0%
合計	365	48	16,594	223	220 1	94.7%	74.92	0.5%

入院患者数推移表(2020年)

2階病棟

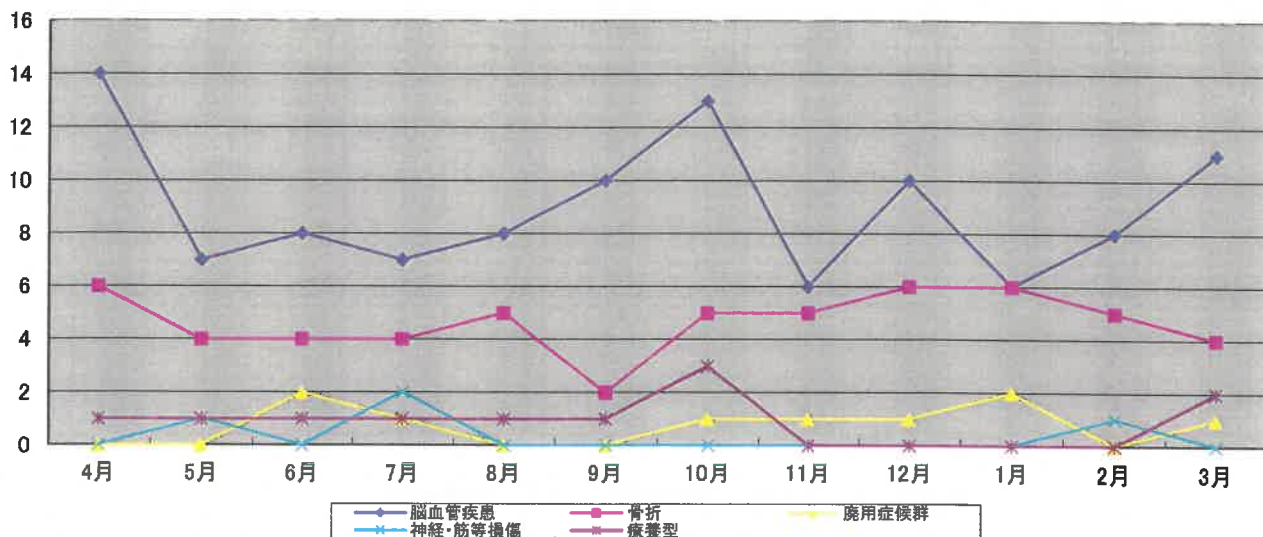


3階病棟



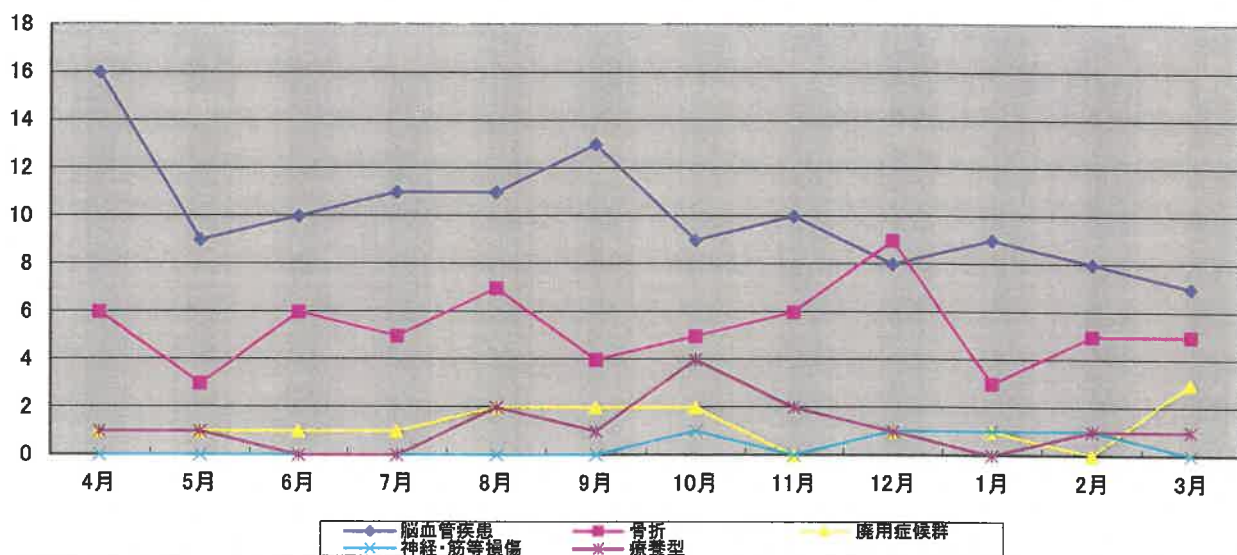
2階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	9	10	9	6	8	10	9	10	11	5	2	7	96
骨折	4	3	3	5	3	6	8	3	6	7	5	10	63
廃用症候群	1	1	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	8
変形性置換術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	5
神経・筋等損傷	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
療養型	2	1	1	1	2	0	2	0	0	0	3	1	13
計	17	15	15	14	13	18	19	14	18	14	13	19	189
3階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	12	12	11	8	13	14	5	11	15	8	1	9	119
骨折	7	5	5	3	5	8	6	7	4	5	10	7	72
廃用症候群	2	1	0	1	2	1	1	0	2	0	1	1	12
変形性置換術	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
神経・筋等損傷	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4
療養型	1	1	0	3	1	3	3	1	0	0	2	0	15
計	23	19	16	15	22	26	17	20	21	14	14	17	224

2階病棟



3階病棟

人



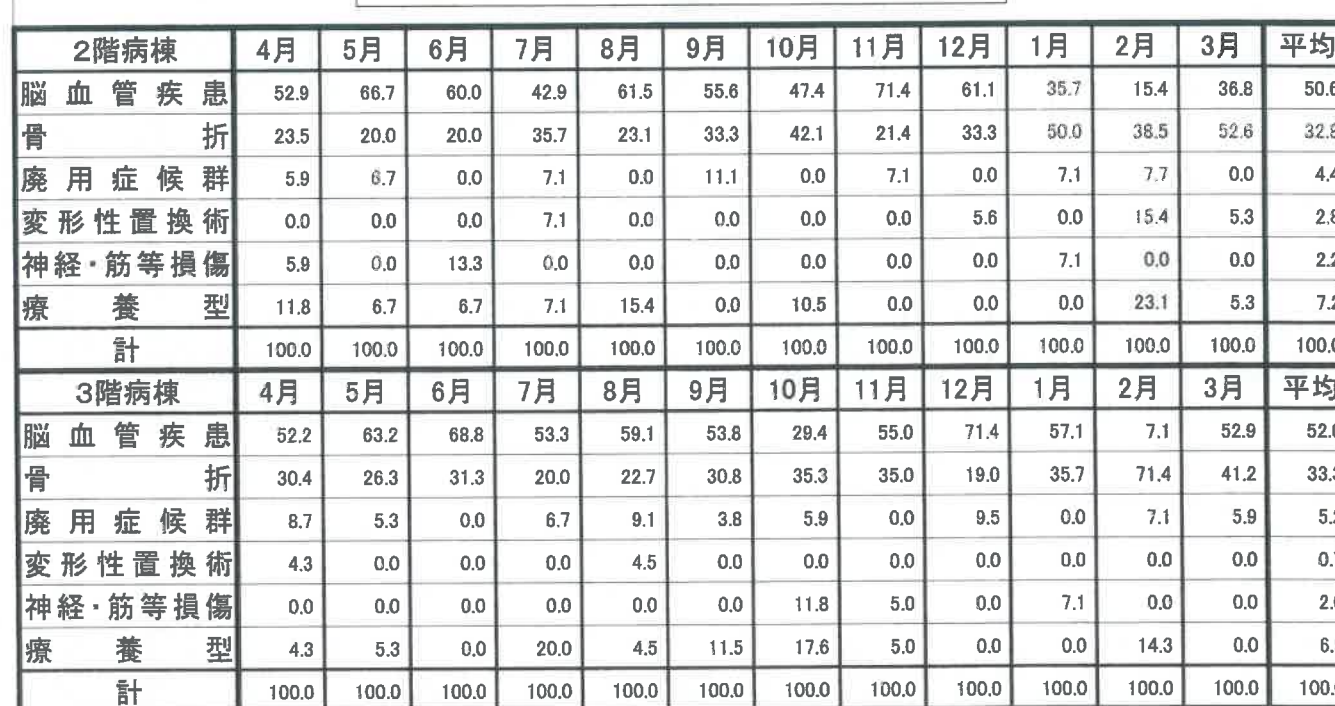
2階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	14	7	8	7	8	10	13	6	10	6	8	11	108
骨折	6	4	4	4	5	2	5	5	6	6	5	4	56
廃用症候群	0	0	2	1	0	0	1	1	1	2	0	1	9
変形性置換術	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	4
神経・筋等損傷	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
療養型	1	1	1	1	1	1	3	0	0	0	0	2	11
計	21	13	15	15	14	14	22	12	18	14	15	19	192
3階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	16	9	10	11	11	13	9	10	8	9	8	7	121
骨折	6	3	6	5	7	4	5	6	9	3	5	5	64
廃用症候群	1	1	1	1	2	2	2	0	1	1	0	3	15
変形性置換術	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
神経・筋等損傷	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4
療養型	1	1	0	0	2	1	4	2	1	0	1	1	14
計	24	14	18	17	22	21	21	18	20	14	15	16	220

疾患別入院患者割合推移(2階病棟)

割合

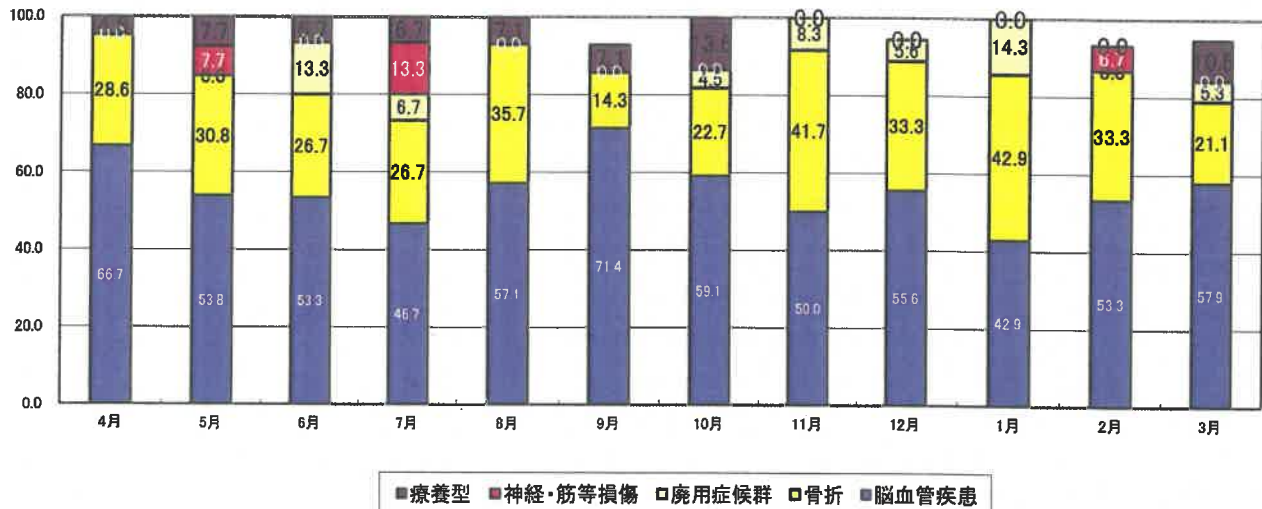
月	療養型	神経・筋等損傷	廃用症候群	骨折	脳血管疾患
4月	52.9	23.5	5.9	8	12
5月	66.7	20.0	6.7	7	
6月	60.0	20.0	6.0	13	7
7月	42.9	35.7	7.1	7	
8月	61.5	23.1	6.6	15	
9月	55.6	33.3	11.1		
10月	47.4	42.1	8.8	11	
11月	71.4	21.4	7.1		
12月	61.1	33.3			
1月	35.7	50.0	7.1	7	
2月	15.4	38.5	7.7	23	
3月	36.8	52.6	6.8	5	

■療養型 ■神経・筋等損傷 □廃用症候群 ■骨折 ■脳血管疾患

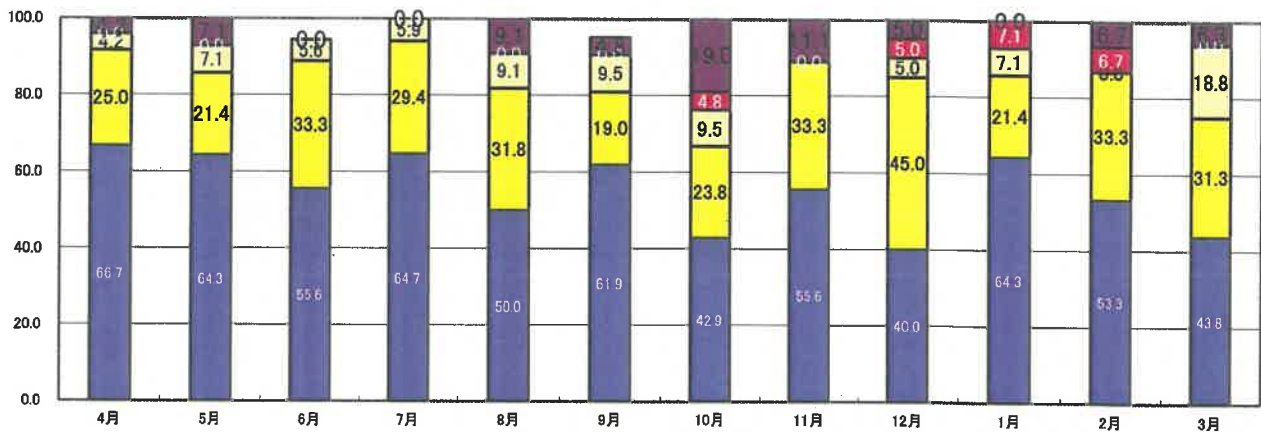


疾患別退院患者割合推移(2020年)

疾患別退院割合推移表(2階病棟)



疾患別退院割合推移表(3階病棟)

[illegible]

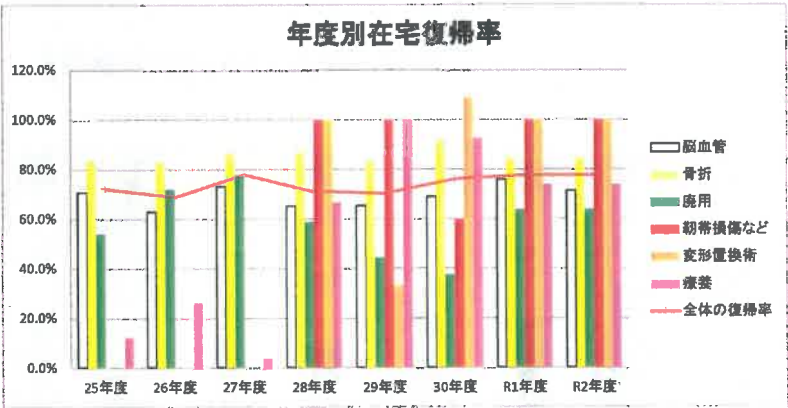
年度別在宅復帰率及び平均在院日数

令和3年4月22日作成

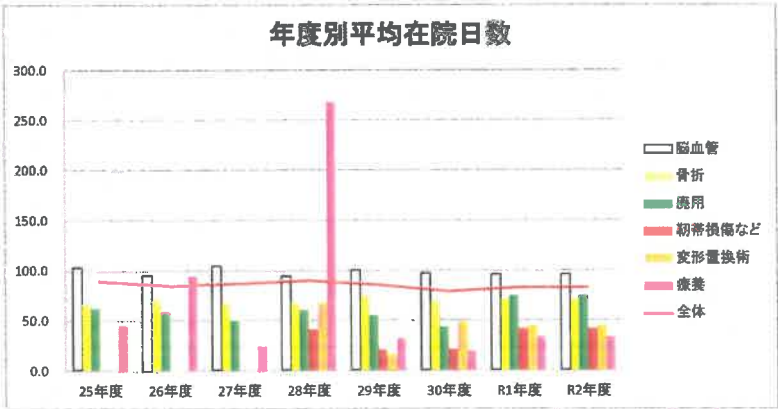
在宅復帰率	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
脳血管	70.5%	62.7%	72.8%	65.0%	65.2%	68.8%	75.7%	71.2%
骨折	84.0%	83.6%	87.0%	87.3%	83.9%	92.1%	84.8%	84.8%
廃用	53.9%	71.9%	77.8%	58.6%	44.4%	37.5%	63.6%	63.6%
韧带損傷など				100.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%
変形置換術				100.0%	33.3%	109.1%	100.0%	100.0%
療養	12.5%	26.4%	4.2%	66.7%	100.0%	92.6%	73.9%	73.9%
全体の復帰率	72.4%	69.3%	78.1%	71.3%	70.3%	76.1%	77.6%	77.6%

28年度より詳細に分類

※急性期・死に運送者も分母に含む為、回復期の在宅復帰率とは異なる。



平均在院日数	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
脳血管	102.3	95.7	104.0	93.9	99.7	96.5	95.6	95.6
骨折	66.5	70.9	67.4	67.7	74.5	69.3	71.2	71.2
廃用	62.4	59.5	50.4	60.9	55.1	43.5	75.0	75.0
韧带損傷など				41.5	21.0	21.4	42.0	42.0
変形置換術				68.0	16.7	48.2	44.7	44.7
療養	45.6	94.9	24.9	268.9	32.2	20.3	33.7	33.7
全体	90.1	85.7	87.1	90.0	85.9	79.2	83.0	83.0



令和2年度 看護部活動報告

※毎月15日の時点集計

※誤薬・感染状況・転倒転落・アクシデント件数は委員会集計分

※アクシデントには点滴・チューブ抜去他等転倒転落は別

2階病棟(回復期 I 病棟)

看護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	日常生活自立度
J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	J 障害はあるが日常生活はほぼ自立
AI	1	2	0	0	2	1	0	0	0	0	2	3	11	AI 介助外出、日中ベッドから離れ自立生活
AII	5	5	2	6	6	6	2	7	9	6	7	5	66	AII 介助外出少、日中寝たり起きたり生活
BI	20	17	21	12	20	22	19	14	17	17	10	14	203	BI 車椅子移乗、日中ベッドから離れて生活
BII	10	13	15	20	14	14	14	18	15	12	17	15	177	BII 車椅子介助移乗。日中もベッド主体生活
CI	1	1	0	2	0	0	1	2	4	4	3	1	19	CI 自分で寝返りは出来るが他は介助
CII	10	6	10	7	4	5	7	5	3	8	7	9	81	CII 自力で寝返りできない全て介助
患者合計	47	44	48	47	46	48	43	46	48	47	46	47	557	
経管栄養	10	10	8	8	5	1	5	4	3	8	5	4	71	
胃ろう造設	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
膀胱洗浄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
褥瘡対策	23	19	22	19	22	18	19	17	29	31	29	31	279	
褥瘡患者数	0	1	4	2	2	0	1	0	0	0	1	2	13	
抑制件数	12	8	6	6	8	6	12	11	13	13	11	12	118	
誤薬件数	0	3	3	0	2	7	3	3	3	0	4	1	29	
感染者数(状況)	1	2	1	0	3	3	3	2	3	2	1	0	21	
転倒転落数	12	11	9	6	8	6	14	18	10	13	18	9	134	
持続点滴数	2	0	1	0	0	1	3	0	1	2	1	1	12	
モニター使用	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
吸引者数	7	4	4	6	3	0	1	1	3	5	5	6	45	
離院	1	0	2	0	0	2	2	0	1	2	0	2	12	
インシデント(Lv.o)	6	7	2	2	0	0	5	3	3	5	9	2	44	
インシデント(Lv.1~2)	16	22	26	18	14	19	20	24	21	20	18	19	237	
アクシデント	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	91	88	90	68	68	63	88	83	90	101	102	89	1021	

30年度延べ患者数

	2階	3階	計
J	0	2	2
AI	11	7	18
AII	66	94	160
BI	203	168	371
BII	177	238	415
CI	19	25	44
CII	81	12	93
計	557	546	1103

※12.4%が全介助

※37.6%が一部介助

※48.2%が見守りレベル

※1.8%が自立

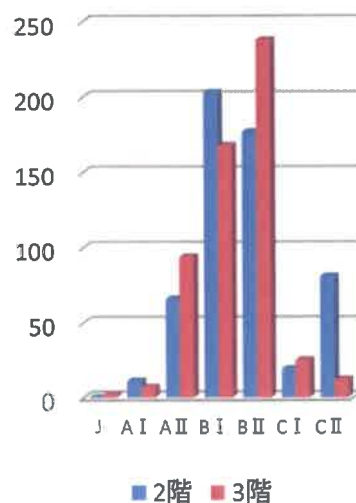
※ 全介助から一部介助の患者が50%、見守りから自立が50%でほぼ例年変わらない患者層となっているが、昨年よりも、退院前自立の患者さんが4.8%から1.8%へと減少している。

3階病棟(回復期 I 病棟)

看護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
J	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
A1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	7
AII	10	5	6	7	8	10	6	4	7	11	8	12	94
B1	15	20	16	14	12	10	9	9	9	17	17	20	168
BII	16	18	21	21	19	17	27	31	27	16	16	9	238
CI	3	2	1	2	4	4	2	1	2	2	1	1	25
CII	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
患者合計	45	45	46	46	45	44	46	46	47	48	44	44	546
経管栄養	5	4	5	6	8	8	8	3	7	6	4	2	66
胃ろう造設	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4
膀胱洗浄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
褥瘡対策	5	4	5	6	8	4	3	1	2	2	1	2	43
褥瘡患者数	0	2	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	8
抑制件数	6	4	7	12	13	12	13	11	12	11	7	8	116
誤薬件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染者数(MRSA)	2	5	5	5	4	5	4	4	3	5	2	1	45
感染者数(その他)	2	6	2	4	2	7	9	9	8	9	10	7	75
転倒転落数	7	5	7	10	5	7	9	7	2	6	8	6	79
持続点滴数	6	0	2	3	3	3	4	2	1	1	1	1	27
モニター使用	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
吸引者数	0	1	6	6	7	3	2	4	6	4	2	2	43
離院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インシデント(o)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
インシデント(1~	11	4	10	9	10	7	12	9	7	8	12	9	108
アクシデント	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	5
クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	45	36	51	63	61	57	65	52	51	55	48	39	623

※今年度は、昨年度減少傾向にあった転倒転落件数が再度増加に転じた。(昨年168件⇒213件)内レベル3以上のアクシデントは6件いずれも転倒によるものだった(くも膜下出血1件、硬膜下血腫2件(1件は橈骨骨折含む)大腿骨頭部骨折1件、橈骨遠位端骨折1件、股関節皮下出血1件) 自立前に自力で動かれてしまう患者さんの転倒予防対策が引き続き検討必要。その他看護師・介護士による車椅子移動助動中に車輪へ患者の手を挟み摩擦させる1件、興奮する患者の車椅子をよく確認せず後方に引き、車輪に足が挟まり踵部皮下出血1件、ベッドから車椅子に移乗させる際足を巻き込み足関節内出血1件あり、介助技術の不足・注意不足にて指導を要した。

2階・3階看護度比較



年間行事

4月	辞令交付 新入職(看護師2名、高看学生1名)新資格取得者(看護師3名住看護師3名) 4/3医師会看護学校入学式(高等課程5名入学) 院内新人研修(倫理、感染、防災、褥瘡、委員会、回復期病棟について担当) 院外新人看護職員多施設合同研修会1名参加(看護協会) 新型コロナウイルス流行にて4/7日より面会禁止。洗濯物の受渡しを1階ロビーにて行う。 1階受付前にカウンター席設置し、院内出入りの発熱チェックを開始する。
5月	5月より、すべての委員会は書面回覧で行う。
6月	前期人事評価 外来待ち時間調査 佐賀県看護協会総会参加(12名) 職員ストレスチェック(外来鬼石担当) 病棟入院患者ベットマットレス新規交換 6/1より家族面会再開(1名10分。1階受付での来院者発熱チェック継続)
7月	看護必要度評価試験開始(病棟看護師全員) 7/28より面会再禁止。洗濯物の受渡しを1階ロビーにて行う。来院者発熱チェック。
8月	3階病棟機械浴(チェアーバス)新規入替
9月	女子高実習中止(新型コロナ流行のため)
10月	インフルエンザワクチン接種開始 10/1保健所指導(カルバパネム耐性菌院内感染対策について) 新人職員担当者研修2名受講(中島美咲、久保夏奈)5日間
11月	後期人事評価 発熱外来開始(9時-12時)
12月	忘年各部署トップのみ
1月～ 2月	新型コロナウイルス拡大にて、学会、研修会開催中止 医師会専門課程実習受入開始(2/9～6/29)
3月	佐賀県看護協会研究学会(文化会館3/6発表2題行う)

オンコール対応 年間オンコール件数21件

院外活動

看護協会南部地区役員(監査):坂本
佐賀県看護協会広報委員:小副川 看護師職能委員:樋口
佐賀市在宅医療・介護連携窓口施設活動(坂本)全体会議参加。窓口施設の会議・研修会はコロナにて開催中止。
6月24日より5回(週1)県総合看護学院2学年ヘリハビリ看護講義(坂本)

学会研究発表

3月6日(土) 佐賀県看護協会研究学会(佐賀市文化会館)・・・①2階病棟 1題 ②3階病棟 1題

実習受け入れ状況

●佐賀市医師会立看護専門課程実習74名
実習期間 2月4日～6月26日 (1名2日間づつ)

※他の実習は、新型コロナウイルス流行にて、受け入れ休止する。

職場体験受け入れ状況

※今年度は受け入れ休止。

ボランティア受け入れ状況

※今年度は受け入れ休止。

※パート・学生・月中途採用・退職者時間換算(様式9算出)単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
外来	看	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	准	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	CW	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
2階病棟	看	27.4	27.3	27.5	27.4	27.4	27.4	27.5	27.3	27.4	27.3	27.8	28.4	42.76
	准	7.3	6.6	6.6	6.8	7	6.9	7.1	6.7	7.2	6.7	6.1	6.5	
	CW	8.6	8.4	8.6	8.7	8.9	8.9	8.8	8.6	8.8	7.6	7.5	8.1	
	計	43.3	42.3	42.7	42.9	43.3	43.2	43.4	42.6	43.4	41.6	41.4	43	
3階病棟	看	25.7	26.7	26.8	25.4	25.4	25.6	26.7	25.7	25.8	25.6	25.6	25.5	39.47
	准	5.3	5	5.2	5.4	4.7	4.1	4.2	4	4.3	4.2	4.1	4.3	
	CW	8.9	9	8.8	8.9	8.9	8.7	8.8	8.8	8.9	8.9	9.7	10	
	計	39.9	40.7	40.8	39.7	39	38.4	39.7	38.5	39	38.7	39.4	39.8	
管理者	看	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	平均
看護職員		70.7	70.6	71.1	70	69.5	69	70.5	68.7	69.7	68.8	68.6	69.7	69.74
看護補助		17.5	17.4	17.4	17.6	17.8	17.6	17.6	17.4	17.7	16.5	17.2	18.1	17.48
実働総数	計	88.2	88	88.5	87.6	87.3	86.6	88.1	86.1	87.4	85.3	85.8	87.8	87.2
育休 産休	育:看1 計1 名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CW1	CW1	CW1	合計 看5名准3名 学CW1名
長期病欠 欠勤	看1	看1	看1	0	0	0	0	0	0	CW1	0	0	0	
採用 パートP	看5,准3 CW学1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退職		0	0	0	(異動看1准1)	0	0	看1	0	CW1	0	0	看6 CW1 (31日在籍)	合計 看7名CW2名

●令和2年度看護部退職率(外来・病棟)

起算日 : 2020年4月1日

・看護部総職員数(管理・パート・臨時除く):91名

(外来3,2F45,3F43)

・2020年4月新規採用者数(新規資格取得者数含) : 9名

・2020年4月新卒採用者数(新規資格取得):6名(内看5名)

・2020年度退職者数 : 9名

・新卒採用者1年以内退職者数 : 0名

・2020年度中途採用者数 : 0名

・中途採用者1年未満退職者数 : 0名

・常勤看護要員平均職員数(常勤休暇含)=(2020/4/1看護要員数)+(2021/3/31看護要員数)/2 =(91+88)/2= 89.5名

・看護要員実働平均職員数(学生パート常勤換算)= 87.2名(月平均)(看護職員69.7名、看護補助17.5名)

・2020年度入職率 ; (4月入職者)

$9 \text{ 名} \div 91 \text{ 名 (年度初人数)} \times 100 = 9.9 \%$

・中途採用者1年未満退職率 $0 \div 9 \times 100 = 0 \%$

・新卒採用者退職率 $0 \div 6 \times 100 = 0 \%$

(内看准新卒退職率 0%)

・常勤看護要員離職率

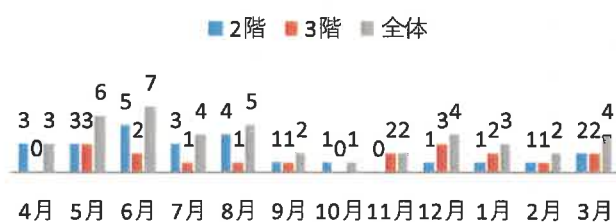
$= \frac{2020 \text{ 年度総退職者数}}{\text{常勤看護要員平均職員数}} \times 100 = \frac{9 \text{ 名} \times 100}{89.5 \text{ 名}} = 10.0 \%$

※今年度の看護要員の変動状況は、2019年度と比較して、平均月4名減の状態経過しました。年度末でのまとまった退職があり、退職率も10%と増加。主に中堅看護師の退職だったため、次の世代の育成が課題です。新卒採用の補充は十分に行うことが出来たので、今後は体制の立て直し、指導育成の充実を図っていく。

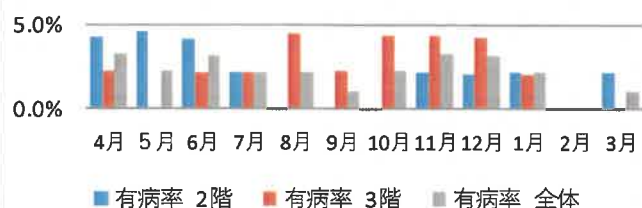
令和2年度褥瘡患者状況												看護部	
令和2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
褥瘡患者 (月)	2階	3	3	5	3	4	1	1	0	1	1	1	2
	3階	0	3	2	1	1	1	0	2	3	2	1	2
	全体	3	6	7	4	5	2	1	2	4	3	2	4
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
持込み	2階	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1
	3階	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	全体	0	3	2	1	1	1	0	1	1	0	0	3
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院内発生	2階	1	1	3	1	2	0	1	0	0	1	1	0
	3階	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	全体	1	1	4	1	2	0	1	1	1	2	1	0
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
治癒	2階	2	2	1	1	2	1	1	0	0	1	1	0
	3階	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0
	全体	2	4	1	1	2	2	1	0	0	3	2	0
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
持込み率	2階	0.0%	1.7%	1.6%	1.7%	1.7%	1.6%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	1.6%
	3階	0.0%	3.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
	全体	0.0%	2.5%	1.6%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	2.4%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院内発生率	2階	0.7%	0.7%	2.1%	0.7%	1.4%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.8%	0.0%
	3階	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%
	全体	0.4%	0.4%	1.4%	0.3%	0.7%	0.0%	0.4%	0.4%	0.3%	0.7%	0.4%	0.0%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
治癒率	2階	67%	67%	20%	33%	50%	100%	100%	0%	0%	100%	100%	0%
	3階	0%	67%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%	100%	0%
	全体	67%	67%	14%	25%	40%	100%	100%	0%	0%	100%	100%	0%
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有病率	2階	4.3%	4.5%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%
	3階	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	4.4%	2.3%	4.3%	4.3%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%
	全体	3.3%	2.2%	3.2%	2.2%	2.2%	1.1%	2.2%	3.3%	3.2%	2.1%	0.0%	1.1%

※有病率基準日は毎月15日

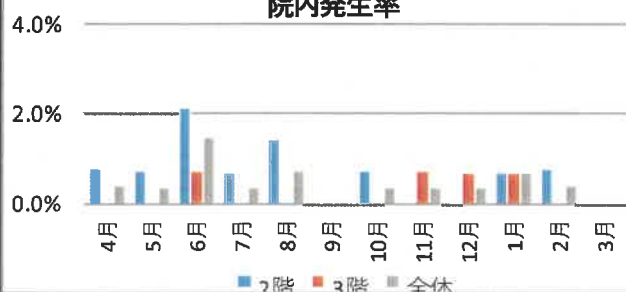
2019年度褥瘡患者数



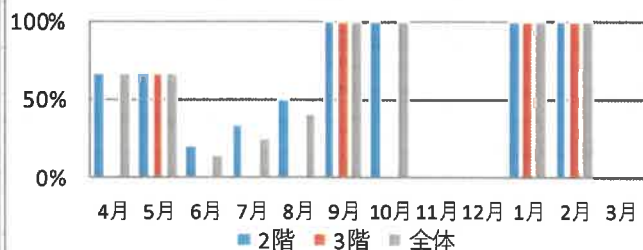
有病率



院内発生率



治癒率



※持ち込み率は月間入院時褥瘡保有患者数÷(月新規入院患者+前月月末入院患者数)×100

※院内発生率は月間褥瘡新規発生患者数÷月間延入院患者数×1000

●2020年度の年間院内発生率は15件と増加している。2階病棟の重症率が高いこともあり11件発生した。皮膚科治療もあり治癒もしているが、今期は体圧測定器の購入もしてもらったので、ポジショニングの徹底を継続して行なっていただきたい。

令和2年度 看護部 院外研修参加者

看護部

月日	研修名「テーマ」	参加者
6/2～2/5	令和2年度新人看護職員多施設合同研修会	吉原
6/9.10	スタッフのやる気を引き出すコーチング	生田・金子・今町
7/1	組織やチームで求められるリーダーシップ	今町
7/16	これからの褥瘡対策のあり方を考える(webセミナー)	内田・中島美和・西村・松本・松林ゆ
7.29.30	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	武田
8/4	明日から活かせる看護記録	山下・佐藤こ・佐伯・東
8/12	看護に活かそう フィジカルアセスメントの基礎編	富崎・木根
8/21	指定難病患者に学ぶ在宅医療と看護	村岡
8/28	看護に活かせるフィジカルアセスメントの応用編	山下・村岡
8/28	第83回佐賀病院地域医療連携セミナー 医療従事者のための「知っ得講座」	樋口
9/3	グローバル社会の感染症とその対策	坂本
9/4	糖尿病患者への看護 ～合併症を予防するために～	佐藤こ・寺崎・田中・東
9/11	身につけよう!看護研究の発表方法 ～効果的なプレゼンテーションとは～	吉竹・北島・平河・久田
9/12	事例で学ぶ看護倫理	今町
9/24	精神疾患の理解を深めるために	金子
10/1.2	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	生田・内田
10/15	佐賀県医師会医療安全・院内感染防止対策医療従事者研修会	坂本・樋口・小副川・武下・北村み
10/20.21	災害支援ナースの育成	副島
10/23	内服・転倒のインシデント発生～その時あなたはどのようにするか?～	飯盛
10/27	心電図 I	佐藤こ
11/7	南部地区研修会「新型コロナウイルス対策について」	坂本・大園・田中・鬼石
11/9.10	新人看護師指導者研修(2日間)	久保か・中島美咲
11/25～27	新人看護師指導者研修(3日間)	久保か・中島美咲
11/26	急変予測のフィジカルアセスメント	佐伯・久田
12/1	心不全患者の治療と看護	福田・川内野
12/8	入院前から始める入退院支援のしくみ	佐藤こ
12/10	アンガーマネジメント～怒りと上手に付き合う方法～	田中か・小濱・寺崎
1/20	認知症ケアの現場で不適切ケアを防ぐために	福田・川内野・東
1/29	押さえよう・脳卒中貫地谷の看護	小濱・福田・富崎・佐藤こ・村岡
2/2	穏やかに死を迎えることへの支援	佐藤こ
3/6	佐賀県看護研究学会	坂本・大園・小副川・今町・飯盛・久田・吉竹・園田・北島

《2階病棟》

演題： スタッフコール対策の評価 ～患者満足度向上を目指して～

園田亜衣 北島泉水 吉竹智子 小副川義也 坂本宏子

【はじめに】スタッフコール(以下SC)は、患者がニードを満たすものである。しかし煩雑な業務の中で頻回なSCは対応の遅延の要因となり、患者の満足度低下や繁忙により関わるスタッフの意欲低下へも繋がっている。そこでSC対策をとることで患者の満足度向上を図りたいと考え研究に取り組んだ。

【目的】満足度向上のためのSC対策の効果を評価する。

【方法】1.対象:調査期間中に同意が得られた入院患者(対策前32名、後29名)および部署スタッフ(看護師28名、准看護師8名、介護士10名) 2.研究期間(R2.7/1～10/31) 3.方法:アンケート調査を対策前後1週間ずつ行った。回収率100% 調査内容(患者:スタッフの対応、応答時間、意見 スタッフ:応答時間、対応、SCに対する感情)記載方法:(選択記載、自由記載) 4.SC対策内容:①オムツ交換時間の変更②14時16時の巡視③廊下でカルテ記載(スタッフの配置分散)④7時以降の更衣 5.データ分析方法:アンケート前後を比較検討した。

【倫理的配慮】本研究は病院倫理委員会の承認を得て、対象者に自由参加、無記名、研究による不利益は生じないことを書面・口頭で伝えアンケートの回収をもって承諾とした。

【結果】SCシステムデータよりSCは6-8時、14-15時、16-19時に集中しており、左記時間帯に実施している業務に着目し①～④の対策を立案した。対策後SCの量に変化はなかったが、応答時間では14-15時が12.5秒から11秒に、16-19時は18.25秒から15.75秒へと短縮したが6-8時では更衣を8時以降にずらせず変化はなかった。患者は前後で対象者と人数が違うが、SCの応答時間において「満足」の回答が対策前40.6%から対策後68.9%へ上昇し、対策前はSCを押すことに遠慮していた患者から身近にスタッフがいてトイレ等を頼みやすくなったと意見があった。スタッフから③の対策によりスタッフが分散しコール対応が早くなったと55.4%が回答し、感情面でも記録や検温の時間がとれるようになった、一人の対応量が減り均等になった、夜勤者の意見として少ない夜勤者で更衣を行うプレッシャーが減ったとの意見があった。

【考察】SC対策を実施し、患者はスタッフが身近にいる時間が増え、要望を伝えやすくなったことで、不安・苦痛が軽減され満足度が向上した。また、スタッフの心理的、時間的余裕が生まれ、患者対応に反映し、患者満足度向上にも繋がったと考える。

【結論】SC対策を講じたことでスタッフの意識も患者満足度も向上し、対策は一定の効果を得た。

《3階病棟》

演題： 睡眠薬内服後による転倒・転落予防について ～スタッフの情報共有に向けての取り組み～

久田真奈美 飯盛真也 今町真由美 大園直子 坂本宏子

【はじめに】睡眠薬を服用した患者は、ふらつき・眠気などにより日中の覚醒状態とは違う状態になり、転倒転落を起こす危険がある。当院でも睡眠薬内服中の患者の転倒・転落は内服がない患者に対して多く見られている。しかし夜間の睡眠薬の内服状況について、受持ち担当以外の情報共有は様々な要因から難しい為、対策の必要がある。

【目的】睡眠薬の内服状況を「見える化」することでスタッフの危機意識を促し、情報共有と周知を行い転倒・転落予防対策につなげる。

【方法】①研究期間令和2年5月から11月②病棟患者48名分の睡眠薬の内服状況を一覧にし、表にまとめる。③看護・介護スタッフに対して4週間、スタッフステーション内に掲示を行い、夜勤業務に携わってもらう。④4週間掲示した後にスタッフ35名に対してチェック式アンケートを行う。⑤調査結果をグラフ化し情報共有が図れたか考察する。

【倫理的配慮】当該施設の倫理委員会の了承を得て行い、対象者に個人情報の漏洩防止への配慮と学会発表を目的とし、研究参加による不利益が生じない事や、参加中断の自由、個人が特定されないことを説明し同意を得た。

【結果】アンケートを実施した結果、情報共有ができたと回答したスタッフは全体の9割を占めた。理由として、不眠の患者がいるときに睡眠薬を内服しているかすぐ分かる。センサー使用中の患者のコールが同時になった場合、睡眠薬の内服状況を考慮してどちらを優先的にコール対応したらいいか分かる。カルテを見る機会が少ない介護士でも確認でき、誰に注意するか判断材料になる、などの意見が聞かれた。残りの1割は、普段から睡眠薬の内服状況を把握している。睡眠薬の変更が多く、必要時はカルテを活用する、などの意見が聞かれ、情報共有には繋がらなかったと回答した。今回の研究期間で、睡眠薬を使用した患者の転倒はなかった。

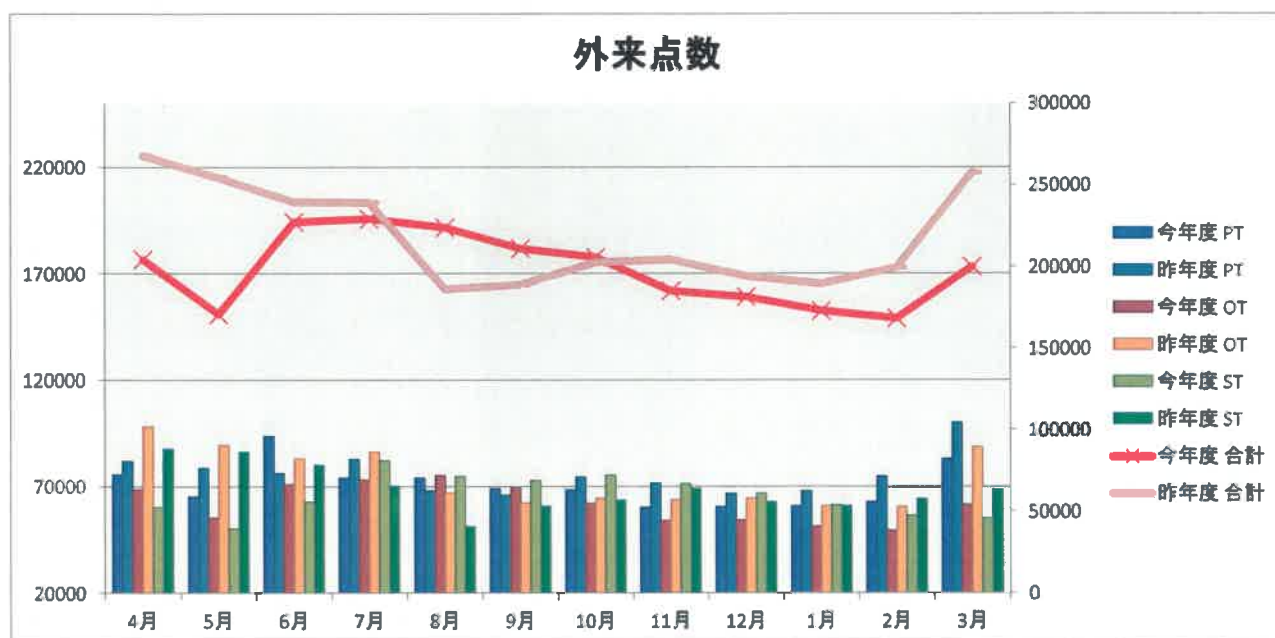
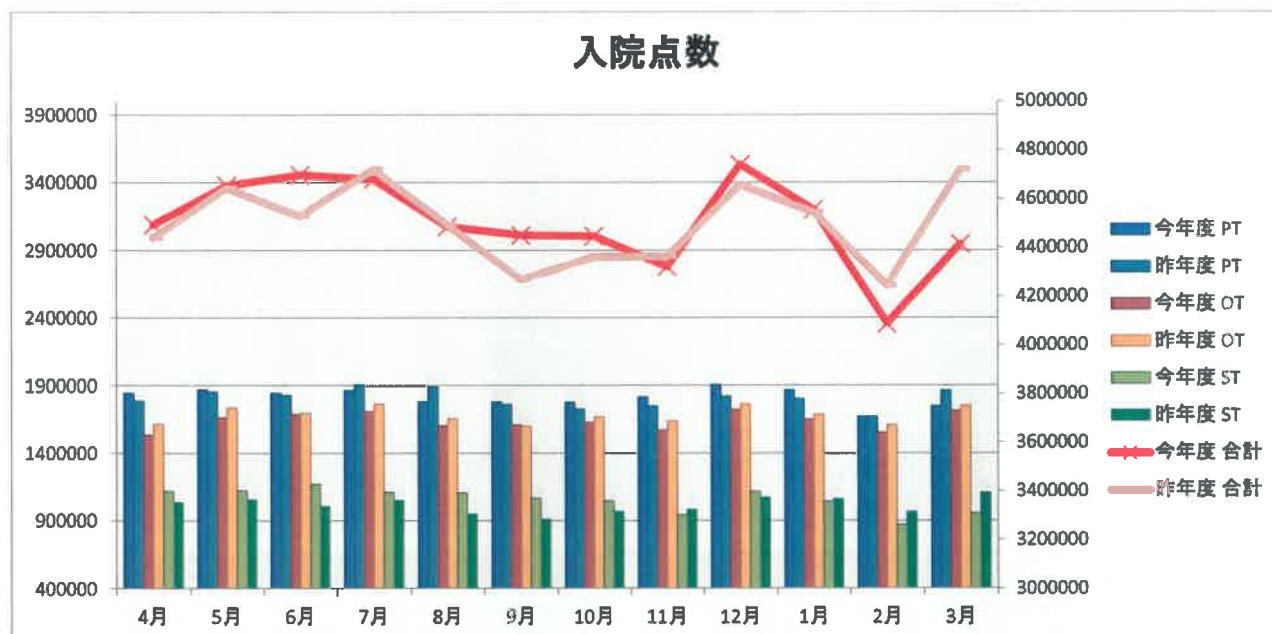
【考察】アンケートの結果をグラフにまとめ分析すると、スタッフの眠前薬に対する意識が向上し、「睡眠薬内服患者一覧表」を使用することで、内服後による転倒転落についての情報共有が図れたと考える。特に介護士にとって眠剤で転倒転落の危険のある患者を簡単に把握することができ、夜勤業務が効率的になったと考える。

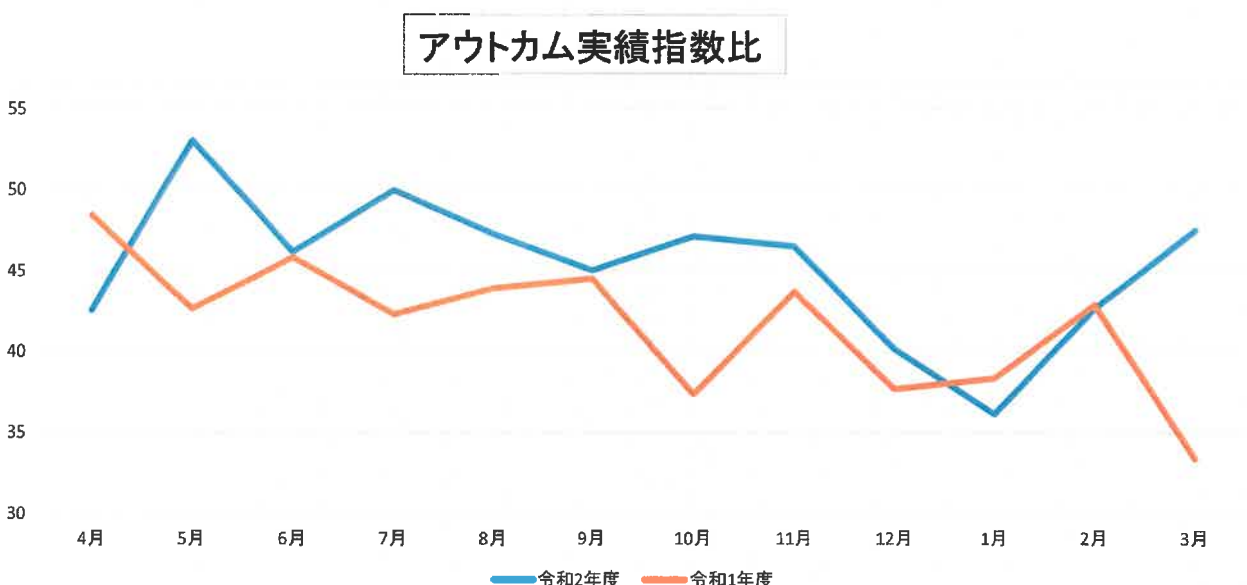
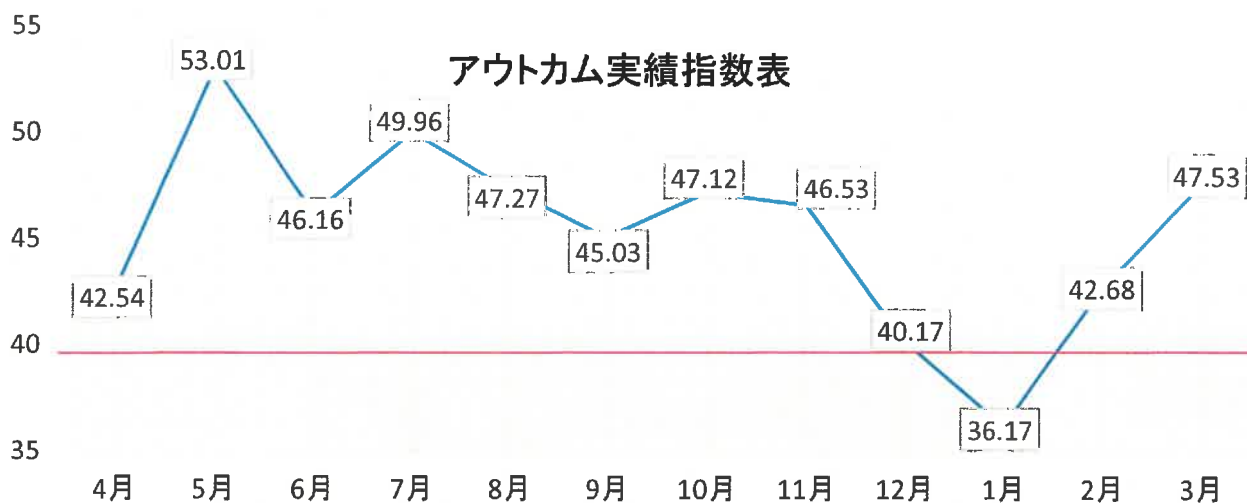
【結論】今回一覧表で情報を「見える化」することで、睡眠薬の内服状況を夜勤者ほぼ全員が把握でき情報の共有が図れた。今後は更新や改善が必要である。

令和2年 リハビリ部活動報告

リハビリテーション部活動報告

1. リハビリテーション部 実績





スタッフ状況

	備考	スタッフ人数		
4月	PT持丸・OT副島・OT田中・OT奈良・ST岩永入職・PT江口復帰・PT今里あ・ST房	PT28	OT25	ST19
5月	PT今里あ病休	PT29	OT25	ST20
6月	PT今里あ病休	PT29	OT25	ST20
7月	PT今里あ病休・ST山根退職(通所)	PT29	OT25	ST20
8月	PT今里あ病休・ST森園異動(通所)・ST佐野介護休	PT29	OT25	ST18
9月	PT今里あ病休・PT藤崎復帰	PT30	OT25	ST19
10月	PT今里あ病休 ST無津呂・ST佐野産休	PT30	OT25	ST17
11月	PT今里あ病休・OT木下退職(通所)	PT30	OT25	ST17
12月	PT今里あ病休	PT30	OT25	ST17
1月	T江頭修(通所)・PT池田(訪問)異動・PT今里あ病休・OT吉田華復帰・OT満吉退職	PT28	OT25	ST17
2月	PT今里あ病休・PT北村産休	PT29	OT25	ST17
3月	PT猪口・ST濱口・ST西村退職 PT今里あ病休退職	PT28	OT25	ST17

2. 概況・所見

入院に関して、前年度と比較して若干の実績低下みられる。特に2月・3月は空き病床があり、また異動・退職があった為と考えられる。外来は実績低下あり。特に作業療法・言語療法の低下あり。新型コロナの影響も多少含まれるのではないかと考えられるが、多くは退院時の介護保険への移行がスムーズになっているのではないかと考えられる。実績指数に関して、今年度よりアウトカム実績指数は37より40になった。昨年度40を切る月があったため、困難な月が出てもおかしくなかったが、1月のみ切ったものの他の月で40をキープできたことは、病院スタッフ全員の意識を高めた結果だと考えられる。今後も当院の回復期リハビリテーション病棟Ⅰの継続は必要であると考え、継続できるように病院スタッフの意識を高めてゆきたいと考える。

3. 活動報告

1) 院外

脳卒中連携バス会議	日時	場所	発表者	参加者
			コロナウィルス影響で中止	
			コロナウィルス影響で中止	
			コロナウィルス影響で中止	
大腿骨骨折連携バス会議			コロナウィルス影響で中止	
			コロナウィルス影響で中止	
			コロナウィルス影響で中止	
回復期リハ病棟会議	10月28日	zoomにて参加	坂井・竹下	
就職説明会	10月10日	西九州大学	対面	坂井・吉竹
	10月17日	柳川リハビリテーション学院	Zoom	坂井
	10月10日	緑生館	GogleMeet	坂井
	10月9日	久留米リハビリテーション学院	Zoom	竹下
介護認定審査会	令和2年	4月9日	中部広域連合	坂井沙織
		5月7日	中部広域連合	坂井沙織
		5月21日	中部広域連合	坂井沙織
		6月4日	中部広域連合	坂井沙織
		7月2日	中部広域連合	坂井沙織
		7月30日	中部広域連合	坂井沙織
		8月27日	中部広域連合	坂井沙織
		9月24日	中部広域連合	坂井沙織
		10月8日	中部広域連合	坂井沙織
		11月5日	中部広域連合	坂井沙織
		11月19日	中部広域連合	坂井沙織
		12月3日	中部広域連合	坂井沙織
	令和3年	1月14日	中部広域連合	坂井沙織
		2月26日	中部広域連合	坂井沙織
		3月11日	中部広域連合	坂井沙織
		3月25日	中部広域連合	坂井沙織
				計16回
中部広域リハセンター	連絡協議会	コロナウィルス影響により中止		
	3月17日	医師会看護学校	坂井・吉竹・竹下・高原	
勉強会	1月21日	Zoomにて	リハ専門職からみた	畠山崇文
		コロナウィルス影響で1回のみ開催	在宅で見るべき視点	

<発表>

1) 院外

PT・OT・ST参照

2) 院内

目標管理発表会	閲覧のみ	各担当者
---------	------	------

勉強会

外部講師勉強会

日時	内容	講師名
	コロナウィルス影響で中止とした	

おしゃべりステーション

日時	場所	内容	スタッフ	患者+入院・(家族)
		新型コロナの影響で中止	今後の活動は未定のため終了	

伝友会

新型コロナの影響で中止 伝友会新聞を作成し2回発行した。				

職場体験・見学

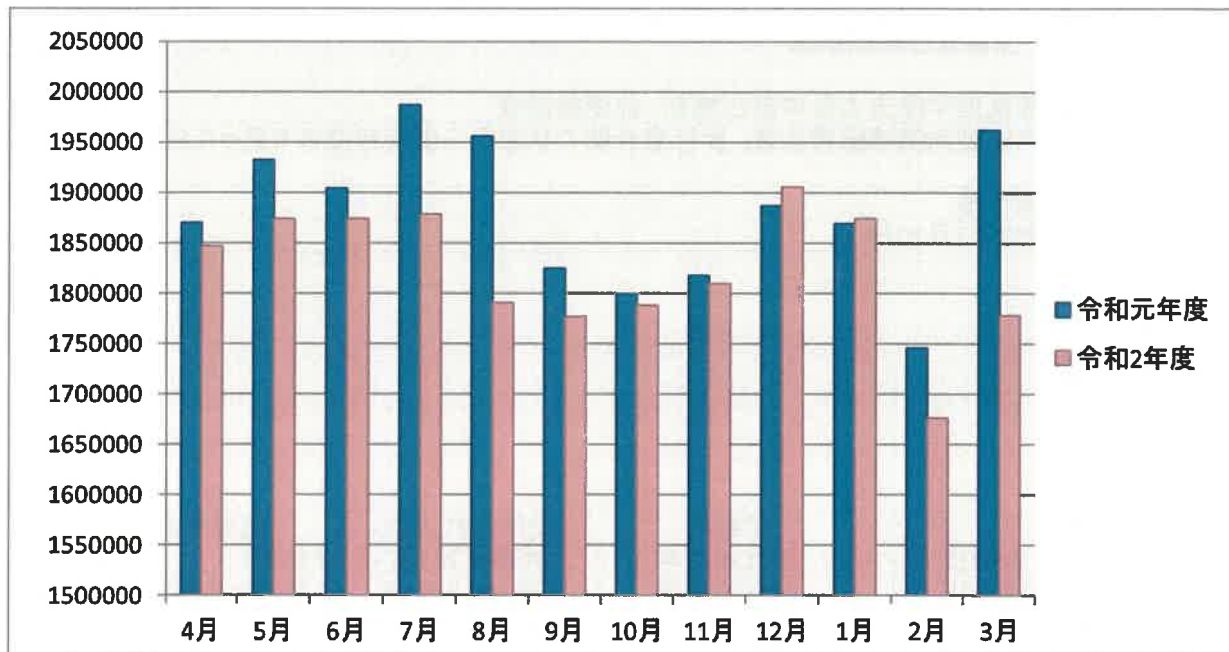
日時	学校名
なし	

令和2年度 理学療法課年報

1.令和2年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1,771,200	75,564	1,846,764
5月	1,808,546	65,331	1,873,877
6月	1,780,857	93,478	1,874,335
7月	1,805,224	73,673	1,878,897
8月	1,717,629	73,155	1,790,784
9月	1,708,009	68,853	1,776,862
10月	1,720,071	68,288	1,788,359
11月	1,749,659	60,091	1,809,750
12月	1,845,079	60,502	1,905,581
1月	1,813,580	60,734	1,874,314
2月	1,613,552	62,722	1,676,274
3月	1,695,328	82,948	1,778,276
総計	21,028,734	845,339	21,874,073

2.理学療法実績比較



3.令和2年度 活動報告

1)年間行事

令和2年	4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式 一部人事異動等 持丸巧(新人入職) 貝通丸淳(3階病棟専属→第1係長兼務)、藤木良平(第4係長→第2係長) 今里篤志(訪問→第4係長)、野方秀平(通所→第1係)
	4月23日～	江口茉莉子(育休復帰)
	9月16日～	藤崎圭織(育休復帰)
	1月1日～	江頭修司(→通所リハ)、池田典子(→訪問リハ)
	2月27日～	北村寛子(産休・育休開始)
令和3年	3月31日	今里あゆみ 猪口由季(退職)

2)勤務配置

2階病棟専従	前田浩彰	笠原悠亮	池末明裕	西紘希
2階病棟専属	坂井沙織 藤木良平 大坪由美子	貝通丸淳 野方秀平 熊倉飛鳥	高島美春 大坪由美子	持丸巧
2階病棟 外来兼務	池田典子	今里あゆみ	光野敬彦	坂本一生
3階病棟専従	横尾匠	枝吉直喜	園田貴嘉	上原世那
3階病棟専属	吉竹陽介 猪口由季 藤崎圭織	江頭修司 西沙都美	島内一磨 大田尾修造	今里篤志(訪問兼務)
3階病棟 外来兼務	江頭ひろみ 江口茉莉子(外来・訪問兼務)	野中勇希		
理学療法 助手	竹嶋喜代香			

3)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

<学会発表>

発表会名	佐賀県理学療法士会中部広域部 症例検討会
演題名	前大脳動脈領域脳梗塞後、歩行全介助の状態から歩行自立まで至った症例
発表者	上原世那
期日	令和3年3月10日

<課内勉強会>

理学療法課 勉強会
47回/年

5)実習生受け入れ

実習期間	学校名	受け入れ人数	指導者名
1月12日 ～ 2月6日	西九州大学	評価実習1名	熊倉飛鳥
2月8日 ～ 2月20日	西九州大学	検査測定実習2名	上原世那・笠原悠亮
2月15日 ～ 2月17日	西九州大学	見学実習1名	野方秀平
新型コロナ感染の影響で実習中止	久留米リハ学院		
新型コロナ感染の影響で実習中止	麻生リハ学院		
新型コロナ感染の影響で実習中止	柳川リハ学院		
新型コロナ感染の影響で実習中止	緑生館		
新型コロナ感染の影響で実習中止	西九州大学		
新型コロナ感染の影響で実習中止	熊本総合医療福祉リハ学院		

6)コメント

2020年度の総括として、理学療法課の取り組みで最も大きく変化した部分は、勉強会の開催を各個人の自主申請にしたことが挙げられる。結果として年間47回の開催が出来ており、例年と比較すると大幅に回数が増加する形となった。2020年の理学療法課の目標が「主体性をもって取り組む」であったため、勉強会の開催という点では、ある程度目標は達成できたのではないと思われる。各個人が自主的に学習した内容を他のスタッフに伝えることで、全体での知識の共有と、発表者のアウトプットスキルの向上など効果もあったと思われる。当然ながら、スタッフ間で勉強会を積極的に開催するスタッフと、参加するだけのスタッフで差が出る結果となったため、より公平な評価と指導を行っていくことが、今後の課題である。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの学会や研修会が中止となった影響から、学会発表など外部での発表件数が減少する形となった。今後は、オンライン開催など形を変えて開催されていく方針のため、院外での研究発表に再度力を入れ、病院のアピールにつながるような意識を持っていく必要があると考える。

実績に関しては、前年度と比較しやや年間総単位数は減少する形となった。2月と3月が大きく前年比より減少しているが、人事異動に伴うスタッフの減少が影響しているものと思われる。コロナ禍の状況で、年間でみて大きな減少がなく経過したことは前向きにとらえることができると思われる。

理学療法課長 吉竹陽介



▼ はじめに

COI開示

発表者氏名：上原 世那
所 属：佐賀リハビリテーション病院

演題発表内容に関連し、発表者に
開示すべきCOIに関係にある企業はありません。

▼ はじめに

前大脳動脈(以下ACA)領域の脳梗塞発生頻度

→ 全脳梗塞のうち1~3%¹⁾と比較的まれ

1) 渡内 誠二, 全大脳動脈領域に局限した脳梗塞例の臨床的検討(脳卒中)2, 1997, 217-224

ACA領域の脳梗塞の臨床症状及び徴候

下肢低位な運動障害 発症時の障害 感覚障害 強制把握 脳脊髄断症候群

先行研究

- ACA領域の脳梗塞に着目して文献は少ない
- ACA領域で長下肢装具を作成した症例もわずか

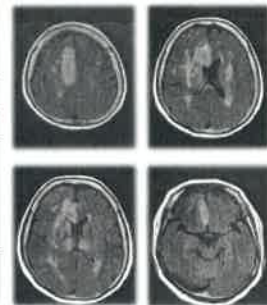
そこで

長下肢装具を作成し、歩行全介助の状態から歩行自立まで回復したACA領域脳梗塞の症例を経験したため報告する

▼ 症例紹介

基本的情報

【年齢・性別】	60歳代女性
【診断名】	ACA領域の脳梗塞 (右前頭葉内側)
【障害名】	左片麻痺、失語
【現病歴】	左片麻痺と失語を発症し急性期病院にて右ACA領域の脳梗塞と診断。保存的加療後、発症から12日目に当院回復期病棟に入院
【病前のADL】	全て自立し、専業主婦をされていた



▼ 症例紹介

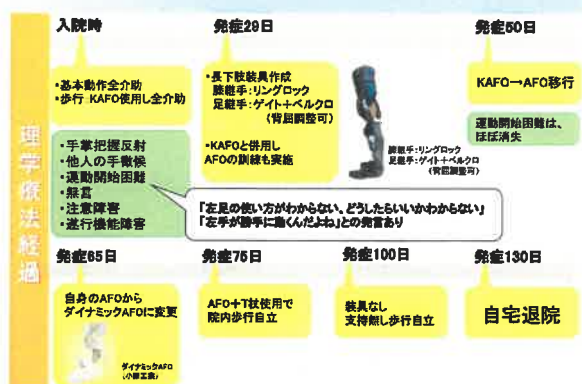
初期評価(第12日)

【意識障害】	JCS: I - I
【HDS-R】	13点
【Br.stage】	左Br.stage上肢IV-手指IV-下肢II
【SIAS-m】	HK1, KE0, FP0
【基本動作】	全介助 各動作種類パターンに入りやすい
【FIM】	運動項目: 18点 認知項目: 17点
【歩行】	KAFO使用し、後方全介助
【高次脳機能障害】	注意障害, 失行, 把握反射, 感情失禁, 運動開始困難
【コミュニケーション】	自発性乏しく意思疎通困難あり

▼ 経過(歩行)



▼ 経過



▼ 評価

初期評価(発症12日)		最終評価(発症130日)	
【意識障害】	JCS: I-I	【意識障害】	なし
【HDS-R】	13点	【HDS-R】	25点
【Bratage】	左上肢IV手指IV下肢II	【Bratage】	左上肢VI手指VI下肢VI
【SAIAS-m】	HK1、KE0、FP0	【SAIAS-m】	HK0、KE4、FP4
【基本動作】	全介助	【基本動作】	全て自立
【FIM】	運動項目19点 認知項目17点	【FIM】	運動項目65点 認知項目30点
【歩行】	KAFO使用し歩行全介助	【歩行】	屋内外を杖具なし、支持なし自立
【高次脳機能障害】	注意障害、進行機能障害 把握反射、感情失禁	【高次脳機能障害】	注意障害、進行機能障害

※10m歩行:7.1秒 TUG:8.2秒

▼ 歩行の比較

発症35日



発症100日



▼ 考察

一側性のACA梗塞は機能的予後が良好なケースが多い

1. 左右の前大脳動脈間に
豊富な吻合があるため
2. 後大脳動脈からの大脳の下内側面を
灌流する側副血行路が存在するため



本症例の場合

※両側性障害であった場合は症状は重症になるとの報告あり。



▼ 考察

＜ 発症早期よりKAFOを導入した理由 ＞

脳卒中ガイドライン2015より

◇歩行や歩行に関連する下肢訓練の量を多くすることは、
歩行能力の改善のために強く勧められる(グレードA)

◇発症後早期の患者では、より効果的な能力低下の回復を
促すために、訓練量や頻度を増やすことが強く勧められる(グレードA)

立位で麻痺側下肢荷重トレーニングを実施しても下肢
筋活動が殆ど出現しない症例に対して、歩行を介助下でも
実施することで下肢筋活動が出現する(阿部ら³⁾)

非麻痺側の過剰な代償を抑制すると
共に麻痺側下肢の機能回復および
筋力強化に繋がった

KAFOの使用により早期から歩行訓練が効率よく行うことができる

3)阿部浩明 脳卒中患者に対する急性期理学療法技術の証明 理学療法技術の再検証 福井勉、他編 2015、15-30

補足運動野

●運動の企画、開始及び維持等に関して重要な役割を果たす



3動作歩行

→難易度が高い

- 正常歩行から逸脱している。
- 随意的要素が強い。
- 運動プログラムの構築が
障害された本症例にとっては
難しい課題。



2動作歩行

→適切な難易度

- パターンジェネレーターを用
いるため、自動的かつ反射的
な要素が強い。
- 運動プログラムの構築が障
害された本症例にとって適切
な難易度。
- 大きくリズムカルな左右交互
運動を提供できる。

下肢の支持性が低かった本症例に対し、
これを可能にしたのが、

長下肢装具

▼ まとめ



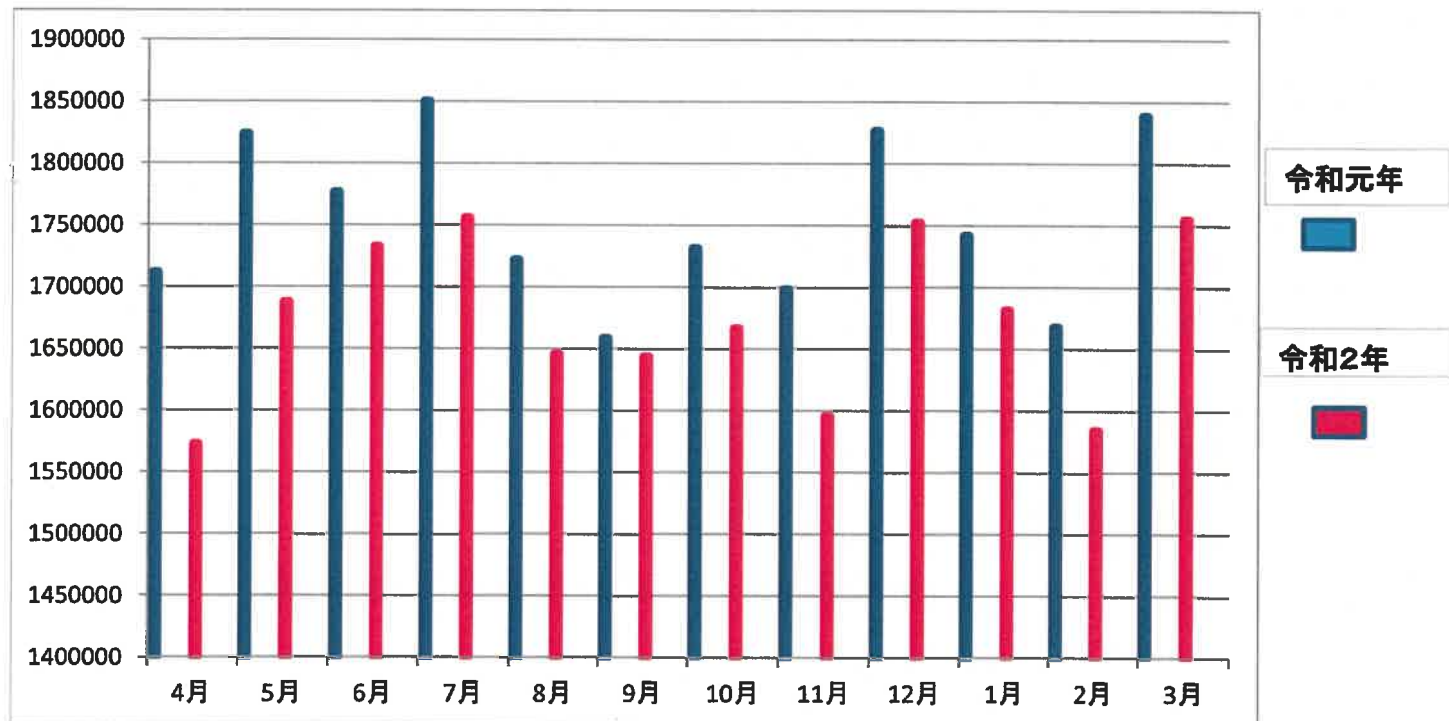
- 前大脳動脈領域脳梗塞の重度片麻痺で、歩行全介助の状態から退院時には歩行が自立された症例を経験した。
- 補足運動野が障害された症例に対し、発症早期から長下肢装具を使用し、2動作前型の自動的な歩行運動を、症例にあった難易度で、十分な量実施できた。
- 入院時全介助状態の症例でも、障害の特徴に合わせた早期からの長下肢装具を用いた理学療法の介入により、歩行能力向上の一助になることが示唆された。

令和2年度 作業療法部門年報

1.令和2年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1504678	68630	1573308
5月	1632780	55237	1688017
6月	1661981	71011	1732992
7月	1683299	73089	1756388
8月	1571049	75244	1646293
9月	1574742	69313	1644055
10月	1605171	62004	1667175
11月	1542495	53784	1596279
12月	1698764	54142	1752906
1月	1631073	51118	1682191
2月	1535462	49196	1584658
3月	1694117	61415	1755532
総計	19335611	744183	20079794

2.作業療法実績比較



3.令和2年度 活動報告

1)年間行事
令和2年

4月1日
5月26日
5月27日
6月25日
7月22日
9月25日～10月25日
12月25日
12月30日
令和3年 1月4日
1月23、24日
1月25日
1月31日
2月20、21日
2月27日
2月27日

入社式 部署移動 辞令交付式
人事評価 評価者研修会
人事評価 評価者研修会(パソコン)
互助会総会
脳卒中連携パス合同カンファレンス
第54回日本作業療法学会 松石OT発表
病院忘年会
仕事納め
仕事始め
臨床実習指導者研修会 崎野OT、吉村OT、吉田幸OT、山中OT参加
吉田華菜梨OT復帰
満吉裕子OT退職
全国地域作業療法研究大会 第26回学術集会in佐賀 竹下、佐古参加
緑生館実習指導者会議 吉村OT参加
国際医療福祉大学臨学共同臨床教育検討会 高田聡OT参加

2)勤務配置

2階病棟専属	佐古英樹 西村剛 吉村愛美 武藤廣徳 福永陽太郎 崎野真文 高田恵理香 那須由布子 田中星奈 吉田華菜梨(1月25日～復帰)
2階病棟外来兼務	飯田桂子 畑瀬弥生 猪口達也
3階病棟専属	竹下宏史 藤木卓 川口大貴 高田聡美 園田愛 副島一真 松石健一郎 吉田幸平 奈良風香 内田めぐみ(パート)
3階病棟外来兼務	満吉裕子 吉田修 富安純華
OT助手	津村みゆき

3)実習生受け入れ

1月12日	～	2月6日	西九州大学	評価実習1名	CE:富安
-------	---	------	-------	--------	-------

4)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

令和2年9月25日～10月25日	第54回日本作業療法学会	松石健一郎発表
------------------	--------------	---------

学会発表

学会名	第54回日本作業療法学会
演題名	当院におけるICFを用いた排泄評価ツールの導入について-第2報-
発表者	松石健一郎
期日	令和2年9月25日～10月25日

院内勉強会

文献抄読・事例検討会	5回/年
在宅ディスカッション	9回/年
目標設定に向けた研修会	12回/年
シーティング勉強会	4回/年

5)院外活動

全国地域作業療法研究大会 第26回学術集会運営委員

6)コメント

作業療法の定義が改訂され「人々の健康と幸福を促進するために、作業に焦点を当てた治療、指導、援助」の実践が求められている。回復期病院においてアウトカムの達成に向けてFIMの向上や早期退院に向けて取り組むことは前提だが、退院後の生活に向けて目的や価値を持つ生活行為に関わっていくことも重要である。そこで、今年度の作業療法課では「共通の目標設定に向けた作業療法の展開、退院後支援」を目標に、研修会や文献抄読・事例検討会、各係の話し合いなど取り組んできた。新たな取り組みとして1つ目に年間を通して「目標設定に向けた研修会」を実施した。まずは、目標設定の概論や面接評価のポイント、MTDLPについて研修会を実施した。また、面接評価の手助けとなるツールとしてADOC、認知症高齢者の絵カード評価法(APCD)、トランスファーパッケージにおけるADOC-Hの紹介を行った。研修会全体を通して理解度や満足度は高かったが、臨床場面に活かすには難しさを感じるという意見もあった。来年度も継続して研修会など取り組んでいく。2つ目に「文献抄読・事例検討会」として文献の紹介と事例報告をまずは役職者から行い、次に各係から1事例ずつ発表を実施した。来年度は実施回数を増やし、院外の発表にも繋がるように取り組んでいく。昨年度から継続した取り組みとして、シーティング班にてタイヘイレンタルの車いすやクッションの管理と研修会の企画・実施を行った。研修会は年間で4回実施し、シーティングにおける身体評価やフィッティング、事例検討を行った。排泄班では、昨年度作成したマニュアルを運用し、新人教育での活用や排泄マニュアルを活用しての事例検討会を実施した。また、取り組みについて第54回日本作業療法学会にて発表を行った。その後の取り組みについても来年度の第55回日本作業療法学会にて発表を予定している。その他、在宅ディスカッションにて病棟スタッフと通所・訪問スタッフ、居宅のケアマネージャーとの事例検討会も継続して取り組んだ。研究では全国レベルの学会に3題発表を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で開催中止や延期となり、1題のみの発表となった。来年度は全国レベルの学会に3題発表を予定している。

実績に関しては、昨年度から減少みられており、昨年度より人員が減少している影響が考えられる。また、4月・5月の減少については人事異動に伴うスタッフの減少が影響しているものと思われる。また、外来については新型コロナウイルスを理由に長期間休まれる方もいたため、新型コロナウイルスの影響もあると思われる。実績指数40を維持していくためにも、これまで以上にFIMの向上や早期退院に向けてチームで取り組んでいく必要がある。その中で効果的な作業療法が提供できるように取り組んでいきたい。

現在、新型コロナウイルスの影響で家屋調査や外出・外泊訓練などに制限があり、退院後の生活を見据えた治療、指導、援助にて難渋するケースも少なくない。現在の状況の中で、院内で出来る取り組みを試行錯誤すると共に、リハビリ部の目標である「その先の暮らしを見据えた協働」に向けて在宅部門に繋げる意識も重要である。来年度も作業療法課では継続して「共通の目標設定に向けた作業療法の展開、退院後支援」を目標に研修会や文献抄読・事例検討会に取り組んでいく予定としている。研修会では、臨床場面に活かせる知識や技術の向上を目的に、身体評価・介入、福祉用具、自動車運転支援、高次脳機能障害に対する評価や臨床推論、介護保険・退院後支援をテーマに実施予定としている。

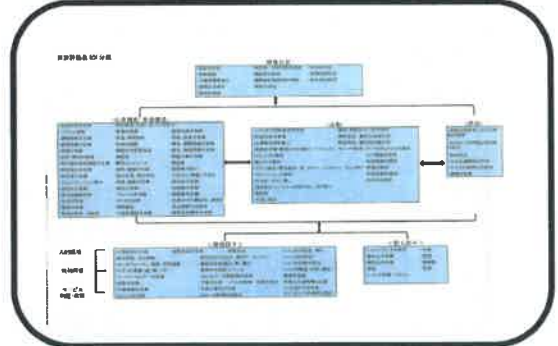
作業療法課長 佐古英樹

【取り組みの背景】当院における排泄状況の把握は担当NS・OT・CWが中心となり実践している。しかしOTによる排泄の介入は訓練場面での模擬動作や実際場面であることが多く個性を持った治療的介入は未だ不十分なことが多い。今回はその第2報として活動した内容に考察を添えて報告する。尚、発表に関連し開示すべきCOI関係にある企業などはない。

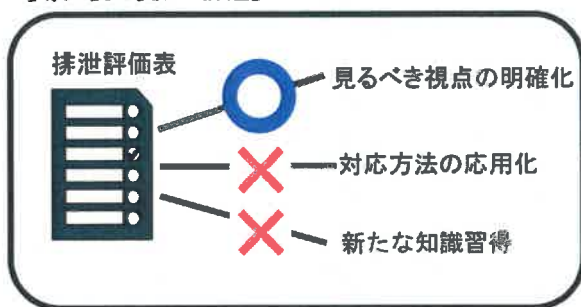
【第1報の振り返り】

期間	H30.4～H31.3
研究目的	排泄における知識・技術の向上 ICFの視点で評価、治療的介入の実践
内容	プロジェクトメンバーの結成 当院独自の排泄評価表の作成
メンバー	回復期病棟所属のOT6名 平均経験年数は8年(3-14)

【完成した排泄評価表】



【導入後の変化と課題】



【第2報の取り組み】

期間	H31.4～現在
研究目的	排泄評価表の使用率定着化 経験年数での知識・技術の標準化
内容	アンケート調査の実施 排泄評価マニュアルの作成
メンバー	回復期病棟所属のOT6名 (2名は日本コンチネンス協会所属)

【アンケート調査】

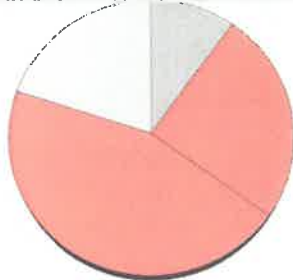
＜対象＞
回復期病棟所属OT20名 回収率100%
＜内容＞
ICF視点から立案した合計130個の評価項目に対し自身が意識して取り組めていない、または個性をもった対応が出来ていないと思う項目全てに○を付ける複数選択方式で実施

【排泄評価マニュアルの作成】

- 1.排泄評価表の見直し
(評価表項目やレイアウト及び運用方法見直し)
- 2.外部勉強会への参加と文献収集
(日本コンチネンス協会主催の勉強会への参加)
- 3.排泄評価表に対してのマニュアル作成
(ICF視点で列挙した130個に及ぶ排泄評価項目の充実化)

【結果】

排泄評価表の活用状況

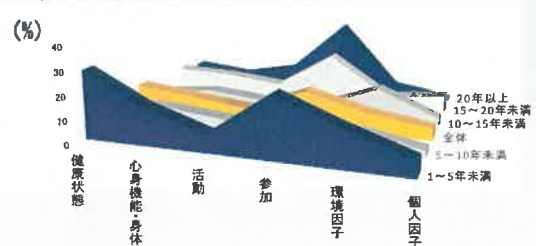


「どちらともいえない」
「あまり」

7割割め

- 毎日
- 時々
- どちらともいえない
- あまり
- 全く

年代別にみたICF項目の認識度



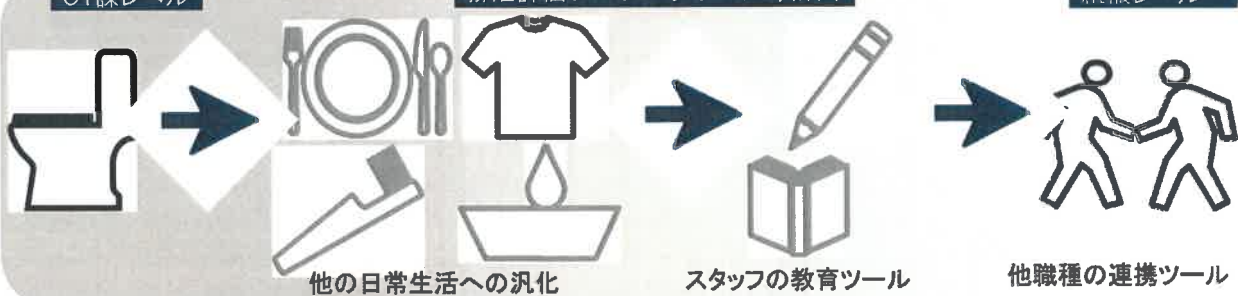
調査対象：当院回復期病棟所属のOT20名

【考察】熟練者はこれまで担当した患者とイメージを重ねて問題解決する傾向がある(中川2007)。今回の結果より、1～5年目未満である経験年数の低いOTは作業療法を展開する上での応用性や柔軟性が乏しく、日々の臨床場面においても目の前の障害像に着目することが多い傾向にあった。また15～20年目未満と20年目以上である経験年数の高いOTは今まで様々な患者や病期を経験し自宅内の環境や退院後の生活に対しても視点を持つことが出来る為今回のアンケート調査の結果になったと考える。

OT課レベル

排泄評価プロジェクト5カ年計画

組織レベル

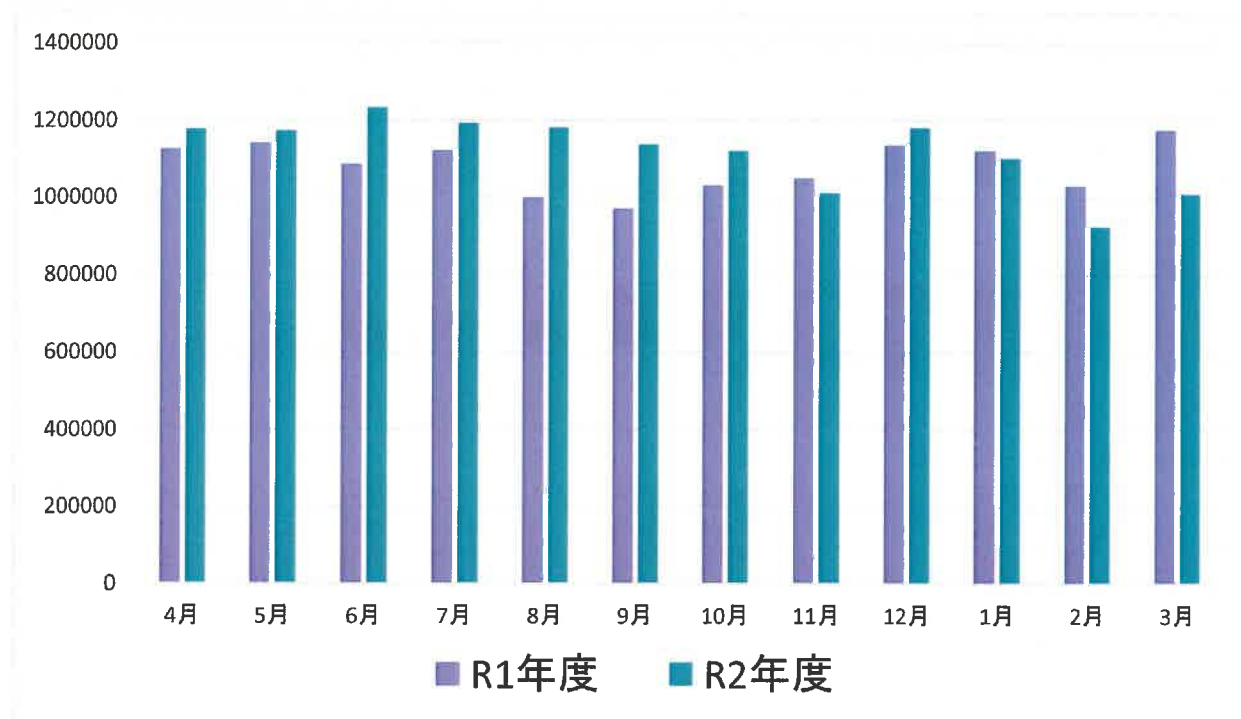


令和2年度 リハビリ部 言語聴覚療法課 年報

1. 令和2年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1117279	60094	1177373
5月	1123031	50116	1173147
6月	1170477	62688	1233165
7月	1111177	82067	1193244
8月	1106501	74669	1181170
9月	1065063	72752	1137815
10月	1046250	75279	1121529
11月	941220	71335	1012555
12月	1114475	66771	1181246
1月	1040784	61165	1101949
2月	869113	56313	925426
3月	954924	55453	1010377
総計	12660294	788702	13448996

2. 言語聴覚療法実績比較



3.令和2年度 活動報告

1)年間行事 令和2年

4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式(一部人事異動)
	岩永英莉 入職
	高原由紀子 第1係長兼務
7月30日	山根美和子 退職
8月1日	森園麻美 第1係から通所リハへ異動
9月	第1回 摂食嚥下委員会 勉強会
11月2日	佐野宏奈 産前休暇へ(第1係)
11月17日	無津呂香織 産前休暇へ(第2係)
11月	第2回 摂食嚥下委員会 勉強会
令和3年 3月31日	濱口晴香 西村杏子 退職

2)勤務配置

2階病棟	高原由紀子(外来)	野中里奈(時短)(2F責任者)	加藤美穂(時短)(外来)
	富永裕子(時短)	高嶋駿(外来)	房本研二(パート) 岩永英莉
	西村杏子	佐野宏奈	森園麻美(パート)
3階病棟	前田洋文(3F責任者)	高島雄平(外来・訪問)	無津呂香織(時短)(外来)
	小林友(時短)	原口福美(外来責任者)	福地詠子 藤木朋香(時短)
	富田邦香(パート)	濱口晴香	庄野麻規子(時短)

3)実習生受け入れ

1月4日	～	1月16日	国際医療福祉大学	臨床実習1名	SV:庄野
------	---	-------	----------	--------	-------

4)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

今年度、参加なし		
----------	--	--

院内勉強会

ST勉強会	1回/月
ST各係文献抄読会	1回/月
ST症例検討会	1回/月
ICFでのグループワーク	1回/2月
ST各係でのディスカッション	1回以上/月

5)院外活動

佐賀県言語聴覚士会事業に協力した。
佐賀県リハビリテーション3団体協議会の事業に参加・協力した。
地域ケア会議に参加・協力した。

6)VF/VE

4/8 吉富憲文	4/10 渡辺哲男①	4/15 横尾京子	4/21 西村直
4/22 山口喜代美	4/24 龍信典	4/28 田中實①	
5/1 筒井正①	5/13 西牟田進	5/18 北村悦子	5/20 福田峯子
5/22 楠川美恵子	5/25 田中實②	5/26 渡辺哲男②	
6/2 筒井正②	6/10 江島トメ子	6/26 高橋房子	7/27 高橋節子
7/1 今泉幸子	7/3 筒井正③	7/7 大島久直	
8/11 大島恒彦	8/28 小宮芳春		
9/9 栗林良喜	9/18 村岡良太①	9/30 深谷ふさの	10/7 筒井正(外来)
10/14 村岡良太	11/11 野口武雄	11/13 村岡良太②	
12/8 福富武利	12/9 池田進	12/28 緒方繁香	
1/13 古川始①	1/15 万成典男		
2/10 法師山芳子①	2/16 本村豊次	2/17 石松勲(訪問)	
3/10 緒方繁香②	3/17 法師山芳子②	3/31 平山和代	

計41件

7)コメント

引き続き、「専門的知識・技術の習得をする」「暮らしを視る力をつけ、実践する」という目標を掲げた。この目標に向けて、中目標として以下のことを決定した。

- ①”回復期病棟における非経口群から全経口摂取への移行率40%以上”
- ②”係ごとの文献抄読会及び症例検討会の実施(各係1回/月)”
- ③”係ごとに佐賀県中部地区勉強会で演題発表(各係1回/月)”
- ④”ICFでのグループワークを実施”

①今年度、入院時経管栄養のみ(非経口)の方が前年度の7割の人数であり、また、入院後意識障害改善に伴い嚥下機能向上を認めた例が多かった。その結果、全経口摂取への移行率50%と達成できた。早期にVF施行し訓練の再検討を行ったこともこの結果につながったと考える。

②今年度より、今後の学会発表へつなげるため症例検討会資料をパワーポイントで作成した。初めての作業で戸惑うスタッフもいたが、パワーポイント作業やまとめる力をつけるため今後も継続して行きたい。

③今後はコロナの影響で開催されず、未達成となった。

④過去の事例を用い、家屋調査の資料をもとにその方の暮らしを想像し必要な支援等を考える場とした。ICFを用いた勉強会は4年程続けており、各係間で方向性の確認、方向性に応じた退院時支援や生活支援の情報交換や助言は行えるようになっている。しかし、その反面心身機能面に関する検討が減った印象を持った。実際、ICFやST報告書を確認すると、STに特化した機能的な問題点が不十分である。

我々回復期リハ病棟は、病態や障害が回復すると見込まれている期間に介入している。したがって、心身機能面を正しく評価・分析し、適切な時期に適切な訓練施行することが大前提である。これに加え、「活動」「参加」といった生活の視点をもって支援を行うことを求められている。そこで、来年度は今一度立ち戻り専門的な視点から機能面の問題点抽出、目標設定及び訓練立案の強化に取り組んでいきたい。

4月に1名入職、産休・育休へ2名入り、3名の退職とスタッフの動向があった。ST処方数を見越した勤務調整が難しいが、来年度も実績を見ながら勤務調整を行っていく。

文責 言語聴覚療法課長 高原由紀子

伝友会だより

日毎に暖かさを感じられるようになりましたが、お変わりありませんか？

依然としてコロナの影響で自粛生活が続き、皆様も不安を感じておられるのではないかと思います。私たちは自粛生活の中、日々心配もありますが、変わらず患者様とのリハビリに励んでおります。今年度は伝友会が開催できず、皆様の近況報告や元気なお姿にお目にかかれず…とても残念です。状況が落ち着き次第、伝友会で、皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

さて、この状況下ですので、予定していました伝友会開催の見通しがたちません。更に、自粛生活の中で、人とコミュニケーションを行う機会が減っておられるのではと心配しています。つきまして、うちでできる自主訓練として、何かご案内できないかと話し合い、別紙(自主訓練)を準備いたしましたので、お時間あれば是非チャレンジされて下さいね。

最後に、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、今回、ヘルプマークについても同封しています。失語症は見た目では分かりにくい障害です。その障害の特異性から周囲の理解を得られにくい場面が日常生活の中でも多く見受けられます。しかし、なかなか現状を「言葉」で伝えることができず、困っておられる方も多いかと思います。そんなとき、このヘルプマークを持っておくことで、周囲に見た目では分からないけれど、お困り事があるかもしれないと理解してもらえるかもしれません。ご興味あれば、一度市役所等へ足を運んでみられてはいかがでしょうか。このような状況ですので、推奨はできませんが、たまの息抜きでお散歩されたり、運動不足を解消なさりながら、くれぐれもご自愛下さいませ。

福寿草の花言葉

幸福
祝福
長寿

幸せを招く花とされています。

この時期になると庭で曾祖母が植えていた福寿草の花を思い出します。曾祖母が「この花を見ると笑顔になるでしょう、すると周りもにこにこ元気に笑うのよ」と言っていました。

自然の力はすごいですよね。



令和3年3月

佐賀リハビリテーション病院

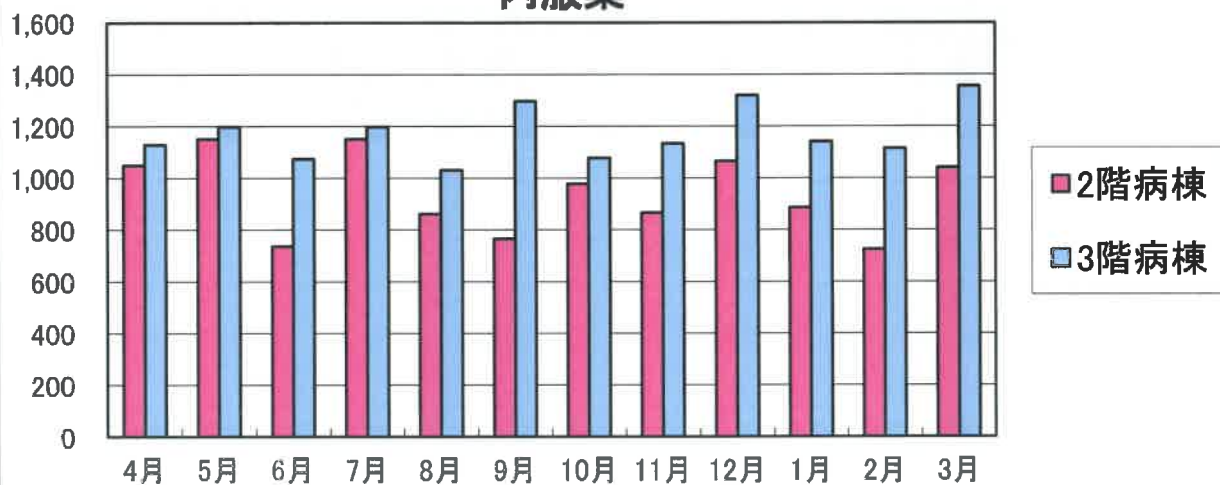
伝友会スタッフ一同

令和2年 薬剤課活動報告

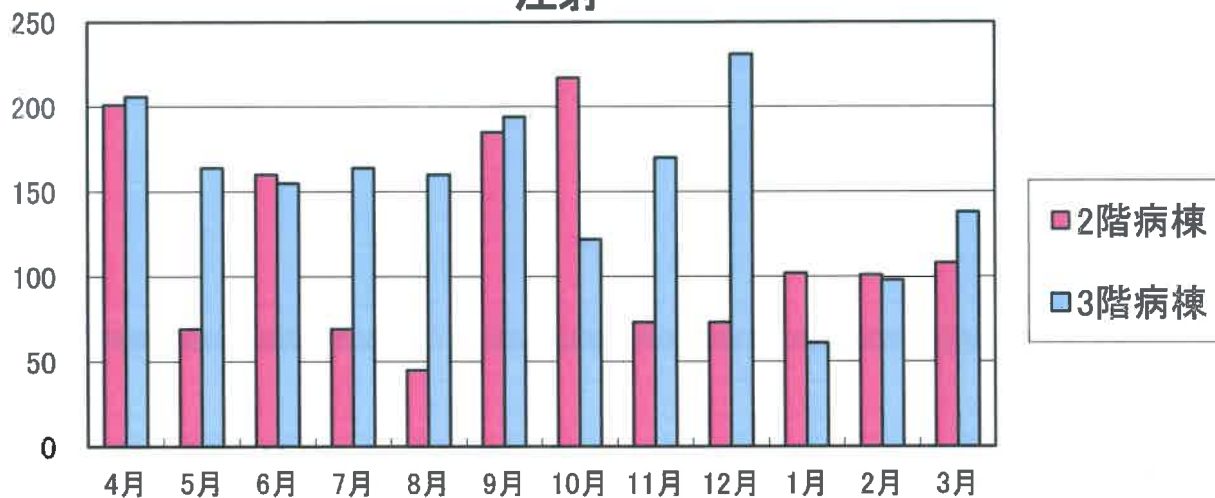
令和 2年度 調剤数

月	内服		内服薬合計	注射薬		注射剤合計	内服薬 外来
	2階病棟	3階病棟		2階病棟	3階病棟		
4月	1,049	1,129	2,178	201	206	407	5
5月	1,151	1,198	2,349	69	164	233	18
6月	736	1,074	1,810	160	155	315	33
7月	1,151	1,198	2,349	69	164	233	18
8月	861	1,031	1,892	45	160	205	38
9月	766	1,297	2,063	185	194	379	27
10月	977	1,078	2,055	217	122	339	16
11月	866	1,133	1,999	73	170	243	16
12月	1,066	1,320	2,386	73	231	304	15
1月	886	1,141	2,027	102	61	163	7
2月	724	1,115	1,839	101	98	199	9
3月	1,040	1,356	2,396	108	138	246	23
合計	11,273	14,070	25,343	1,403	1,863	3,266	225

内服薬

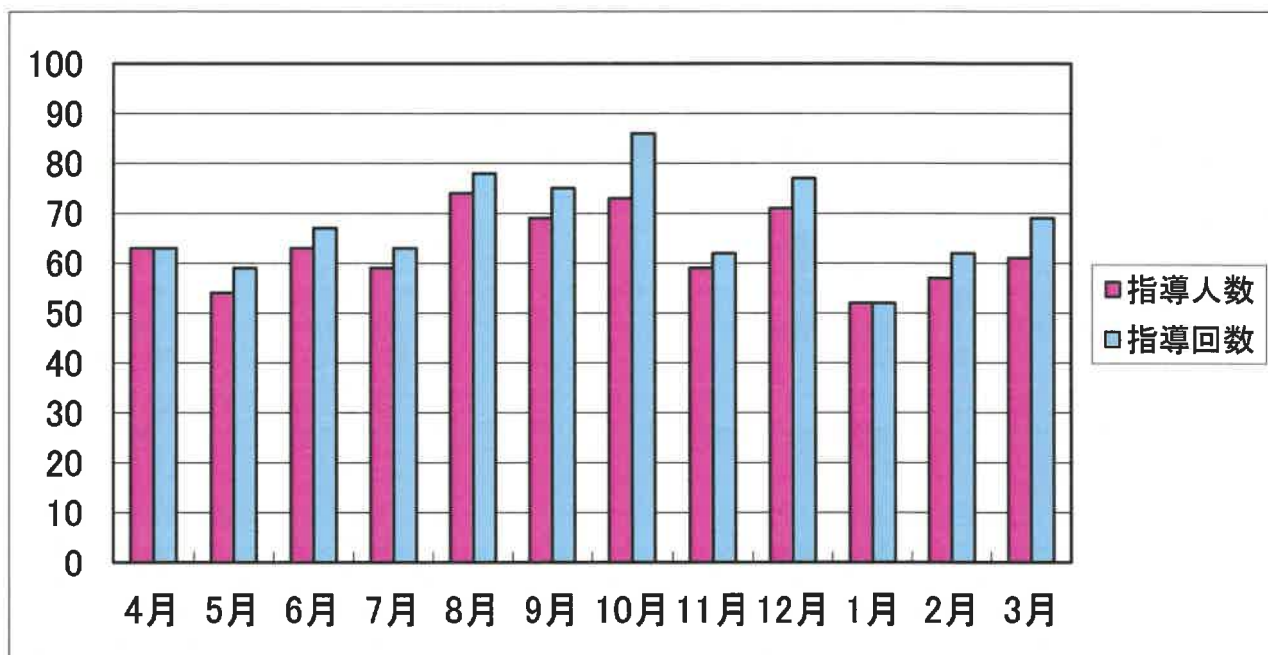


注射

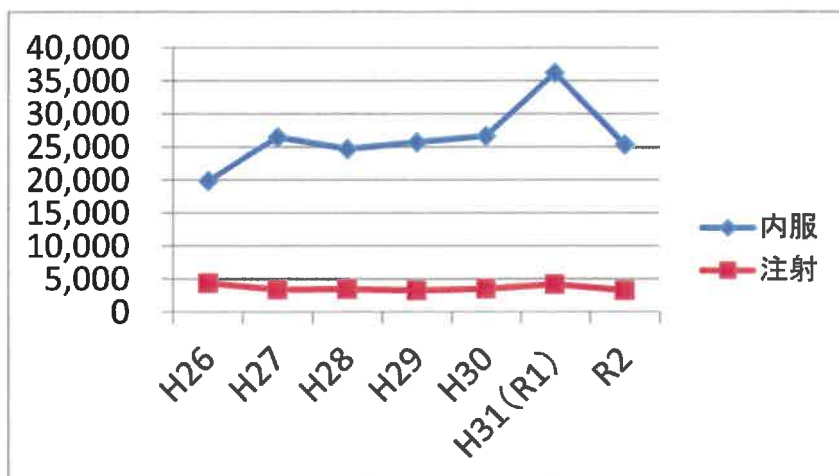


令和 2年度 服薬指導実施状況

月	指導人数	指導回数
4月	63	63
5月	54	59
6月	63	67
7月	59	63
8月	74	78
9月	69	75
10月	73	86
11月	59	62
12月	71	77
1月	52	52
2月	57	62
3月	61	69
合計	755	813



年度毎調剤数の推移



	内服	注射
H26	19,862	4,371
H27	26,481	3,404
H28	24,703	3,433
H29	25,723	3,251
H30	26,677	3,489
H31(R1)	36,223	4,174
R2	25,343	3,266

★後発品へ採用変更

		薬剤名	薬価	薬効
2020	4/10	ニフェジピンCR錠20mg「サワイ」 (先)アダラートCR錠20mg	¥10.2/錠 ¥25.4/錠	カルシウム拮抗降圧剤
		ニフェジピンCap 5mg「サワイ」 (先)アダラートCap 5mg	¥5.7/C ¥12.6/C	カルシウム拮抗降圧剤
		センノシド錠12mg「武田テバ」 (先)プルゼニド錠12mg	¥5.1/錠 ¥5.7/錠	下剤
	6/25	デュタステリド錠0.5mg「DSEP」 (先)アボルブCap 0.5mg	¥59.3/錠 ¥214.0/C	前立腺肥大症
	9/16	セレコキシブ錠100mg「武田テバ」 (先)セレコックス錠100mg	¥19.6/錠 ¥69.0/錠	鎮痛剤
	10/30	ロフラゼン酸エチル錠1mg「サワイ」 (先)メイラックス錠1mg	¥6.2/錠 ¥14.2/錠	超長時間型抗不安剤
2021	2/12	カルベジ錠1.25mg・2.5mg・10mg (先)アーチスト錠1.25mg/2.5mg/10mg		α β 受容体遮断薬
		プレガバリンOD錠25mg・75mg・150mg (先)リリカOD錠25mg・75mg・150mg		神経疼痛
	3/1	メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「DSPB」 (先)メトグルコ錠250mg	¥10.1/錠 ¥10.1/錠	ビッグアナイド系糖尿病治療剤
	3/4	イルベサルタン錠100mg「DSPB」 (先)イルベタン錠100mg	¥39.3/錠 ¥92.7/錠	ARB降圧剤
		ビソプロロールフマル酸塩錠0.625mg・2.5mg「サワイ」 (先)メインテート錠0.625mg・2.5mg		β 受容体遮断作用による心不全治療
	3/22	ウルソデオキシコール酸錠100mg「サワイ」 (先)ウルソ錠100mg	¥6.6/錠 ¥10.1/錠	利胆剤・胆汁製剤

●後発品採用率 25.0% (R3.3.31現在)

★新規採用薬

		薬剤名	薬価	薬効
2020	4/23	ヨウ化カリウム丸50mg「日医工」	¥5.7/丸	ヨード製剤
	5/8	セファラン錠1mg	¥7.7/錠	白血球増加作用
	5/11	オメプラゾール注射用20mg「日医工」	¥228.0/A	胃酸分泌抑制
	5/22	デタントール点眼液 0.01%	¥1,254.5/本	緑内障治療薬・ α 1遮断薬
	6/1	ホーリット錠20mg	¥13.2/錠	統合失調症
	6/19	トラゼンタ錠5mg	¥143.6/錠	血糖降下剤(DPP-4阻害剤)
	6/25	(後)レボセチリジン塩酸塩錠5mg「武田テバ」	¥33.0/錠	抗ヒスタミン剤
	8/19	(後)ミルタザピン錠15mg「杏林」	¥30.5/錠	うつ病・うつ状態
	8/25	デエビゴ錠5mg	¥90.8/錠	不眠症治療薬
	8/31	(後)タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」	¥445.0/V	β -ラクタマーゼ耐性菌感染症の治療薬
	10/20	ナパゲルンローション 3% (50mL/本)	¥360.0/本	消炎鎮痛
	11/11	ライゾデグ配合注フレックスタッチ 300単位	¥2,158.0/キット	糖尿病治療薬
	12/4	ノルスパンテープ5mg	¥1,588.3/枚	非オピオイド鎮痛剤
	12/11	セララ錠25mg	¥42.3/錠	抗アルドステロン薬
	12/17	ヒルドイドローション 0.3% (25g/本)	¥540.0/本	保湿・血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患
		ヘパリン類似物質外用泡状スプレー 0.3% (100g/本)	¥1,320.0/本	保湿・血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患
	12/25	セルトラリン錠50mg「DSEP」	¥28.8/錠	抗うつ剤
2021	1/5	ノイロトロピン錠4単位	¥29.5/錠	解熱鎮痛消炎剤
	1/18	エンシュア・H (250mL/缶)	¥235.0/缶	経腸栄養剤(経口・経管両用)
	1/26	パルミコート吸入液0.5mg (2mL/管)	¥174.6/管	吸入ステロイド喘息治療薬
	2/16	ジエノゲスト錠1mg「モチダ」	¥127.5/錠	子宮内膜症
		トルリシティ皮下注0.75mg	¥3,396.0/キット	GLP-1 受容体作動薬
	2/22	グーフイス錠5mg	¥104.8/錠	胆汁酸トランスポーター阻害薬
		モビコール配合内用剤LD (6.9g/包)	¥83.6/包	浸透性下剤
	3/10	アムロジン錠5mg	¥38.0/錠	Ca拮抗剤(降圧剤)
	3/25	アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」	¥151.0/筒	エピネフリン製剤
	3/29	ソル・コーテフ静注用500mg	¥1,236.0/V	副腎皮質ステロイド製剤

●新規採用27剤(うち後発品18剤)

※赤字:臨時採用

★新規購入物品

		商品名	価格	備考
2020	8/27	トランスポア(TM)サージカルテープ 2.5mm×9.1M (12巻入)	¥2,000	皮膚科Dr.より購入依頼あり

総括: 新型コロナの流行が始まってから1年が経ち、薬剤課の業務内容にも少なからず変化があった年度だった。
コロナの影響による医療物品の価格高騰や不安定な供給量による在庫不足。
また後発品メーカーの製造工程の問題等により安定供給が危ぶまれる

令和 2 年 栄養課活動報告

令和 2 年度 栄養課活動報告

1. 食数実績(病院)

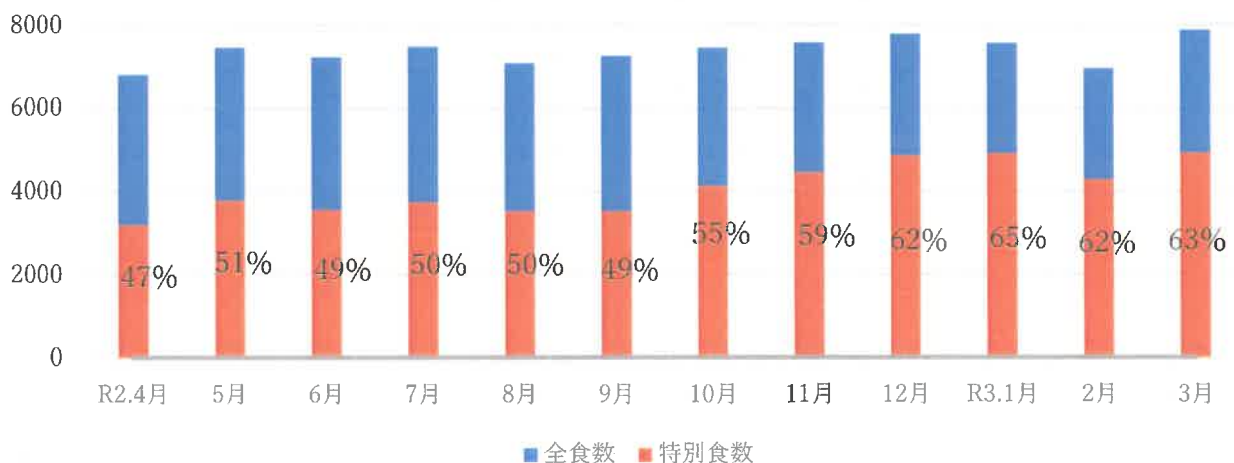
病院食数

	全食数	特別食数	割合
R2.4 月	6808	3206	47%
5 月	7458	3787	51%
6 月	7228	3559	49%
7 月	7479	3748	50%
8 月	7075	3528	50%
9 月	7253	3528	49%
10 月	7446	4131	55%
11 月	7573	4463	59%
12 月	7781	4859	62%
R3.1 月	7553	4904	65%
2 月	6951	4285	62%
3 月	7870	4922	63%
合計	88475	48920	平均 55%

病院その他食数

	濃厚流動食数	デイサービス吉原
R2.4 月	918	189
5 月	797	179
6 月	863	247
7 月	759	254
8 月	966	256
9 月	699	229
10 月	691	245
11 月	476	202
12 月	714	245
R3.1 月	984	199
2 月	648	219
3 月	370	255
合計	8885	2719

特別食数



2. 食数実績(夢館)

夢館食数

	ドリームハウス吉原	グループホーム吉原	通所リハビリ
R2.4 月	1879	791	1119
5 月	1942	768	999
6 月	2086	674	1173
7 月	2170	645	1070
8 月	2111	595	1112
9 月	1975	719	1089
10 月	1945	791	1320
11 月	1853	809	1137
12 月	1948	828	1139
R3.1 月	1943	832	897
2 月	1645	694	953
3 月	1996	743	1204
合計	23493	8889	13212

3. 栄養指導

栄養指導件数

	入院(初回)	入院(継続)	集団	外来
R1.4 月	7	4	0	0
5 月	3	0	0	0
6 月	1	0	0	0
7 月	13	1	0	0
8 月	7	2	0	0
9 月	13	2	0	0
10 月	12	2	0	0
11 月	6	2	0	0
12 月	9	5	0	0
1 月	3	0	0	0
2 月	8	2	0	0
3 月	12	1	0	0
合計	94	21	0	0

4. 行事食

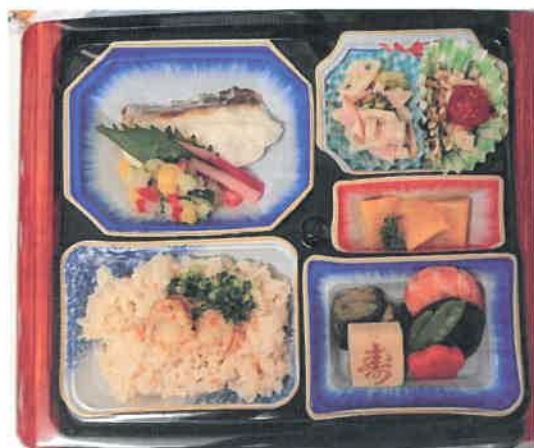
病院 1 月 元旦(おせち)



病院 3 月 ひな祭り(ちらし寿司)



夢館 9 月 敬老の日(祝い膳)



夢館 12 月 クリスマス(オードブル)



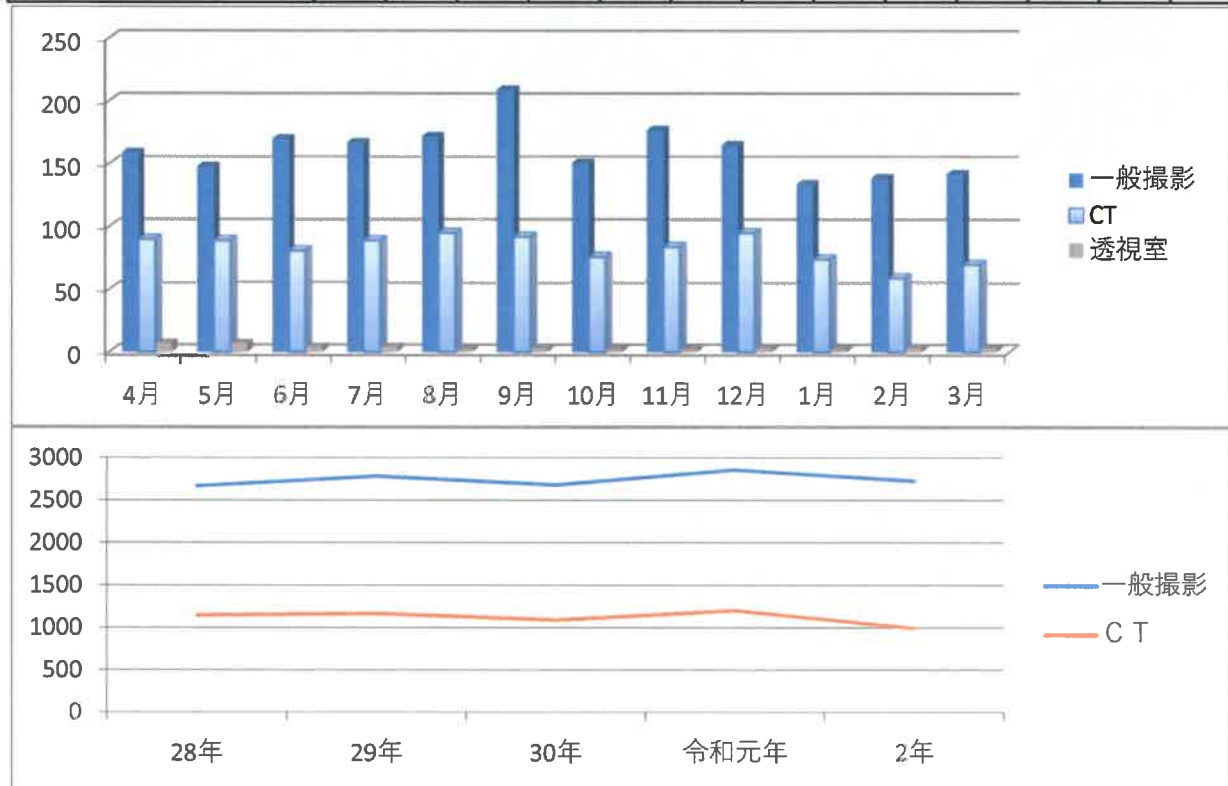
5. 研修会参加状況

日時	会場	研修会名	研修内容	参加者
R2.10.6(火)	佐賀中部 保健福祉事務所	特定保健施設 栄養管理研修会	日本人の食事摂取基準(2020 年版)の活用について 給食施設の衛生管理について	富吉
R2.11.27(金)	国立病院機構 佐賀病院	医療従事者のための 「知っ得講座」	事例から学ぶ NST の効果 ～各専門職からのアプローチ～	夏秋

令和2年 放射線課活動報告

令和2年度 撮影件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来一般撮影	31	37	53	47	44	55	24	60	43	39	39	40	512
病棟一般撮影	128	111	117	120	128	154	127	117	122	95	100	102	1421
健診	164	81	117	38	61	84	118	61	10	7	12	42	795
外来CT	13	23	18	23	20	22	9	23	22	26	16	21	236
病棟CT	77	66	63	66	75	70	67	61	73	48	43	49	758
嚥下造影	7	7	4	4	2	3	2	2	3	2	3	3	42
透視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療日数	25	23	25	23	26	24	26	23	24	24	24	24	24.3
一日平均(一般撮影)	9.7	11.6	12.5	8.9	9.0	12.2	10.3	10.3	7.3	5.9	6.3	7.7	9.3
一日平均(CT)	3.2	4.1	4.6	3.9	3.7	3.8	2.9	3.7	4.0	3.1	2.5	2.9	3.5



医療被曝の線量記録を2020年から義務化へ

厚労省は、CTエックス線装置や血管造影検査に用いる透視用エックス線装置、診療用放射性同位元素など、医療被曝の線量が特に高い放射線診療に対する線量の管理・記録を義務づける必要性を指摘。必要な放射線診療を妨げる誤った解釈をしないよう患者に適切な説明を行うことや、医療被曝の正当化・最適化に付随する業務の従事者（医師、放射線技師等）を対象とする研修の実施も求めた。

令和2年 医療相談課MSW活動報告

医療相談課年報 令和2年度

1.実績

相談内容別件数

	2階病棟	3階病棟	外来	計
インテーク	182	213	0	395
心理・社会的援助	996	512	54	1562
退院援助	1096	1935		3031
社会復帰援助	99	18	11	128
受診援助	26	42	8	76
経済援助	3	5	3	11
計	2402	2725	76	5203

関係機関との連携

	訪問	事業所より来院	施設見学	外部での会議	退院前カンファレンス
件数	7	17	2	2	2階：4 3階：3

施設見学

施設名

ケアハウスあいの里 佐賀県立地域生活リハビリセンター

2.概況・所見

2020年度は新型コロナウイルスの影響下での退院支援の難しさを感じた一年であった。患者と家族が直接会えない、外出や外泊にも制限がある中でどのようにして本人の状態を家族へ伝えていくのか、退院後の生活イメージを持ってもらうか、本人と家族の意向が異なる場合の方向性の決定をどうするか等々の課題に対して取り組む必要があった。そこで回復期リハ病棟の強みであるチームアプローチを活かし、看護師やリハビリスタッフと家族との面談機会を意識的に設けるようにした。在宅復帰率に前年度と比較して低下しなかったことから一定の効果があったと考える。

部署内の目標は前年度から引き続き下記の3つとし取り組んだ。

①患者本人の意向を重視した支援の実践

②医療的ケアが必要な患者の在宅復帰支援の強化

③社会資源の引き出しを増やす

①では本人同席の病状説明の機会を増やすことを取り組みとして考えていたが面会禁止の状況下では難しく、担当スタッフと家族との面談機会を増やすことにした。そこで本人の意向も伝えながら退院に向けた準備をすすめていった。②では当院で関わる人が多い医療的ケアを選定し、在宅復帰をするにあたり必要な準備の確認ができるようなチェックリストの作成をした。今後、作成したチェックリストを実際に活用し改善を図りながら、医療的ケアがあっても在宅復帰ができる方法があることを患者・家族へ伝えていける材料としていきたい。③では施設見学といった外部へ訪問する機会が減ったため、施設パンフレットの更新に力を入れた。また、知り得た社会資源の情報は部署内で共有できるようファイルの活用をした。

2020年度は2名のスタッフが入職し新しい体制となった。MSWとしての専門性が発揮できるよう部署内の教育にも力を入れていきたい。

3.連携実績

(後方支援のみ記載)

居宅介護支援事業所	アイケア佐賀 杏の樹 うえむら ウェルネス開成 うぶすな 永寿会相談センター（大川市） 江口病院介護支援事業部 おおしま（三養基郡） 小城市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 かんざき清流苑 神埼病院指定居宅介護支援事業所 ケアセンターきぼう ケアプランセンターさとう ケアプランセンターディーフェスタ東与賀（紀水苑） きはら 居宅介護支援事業所おそえがわ きりん ケアパートナー佐賀 ケアポート晴寿 桂寿苑 けやき荘 神野診療所ケアマネージメントサービス こすもす苑 こもれび 在宅介護お世話宅配便（唐津市） 佐賀県看護協会介護支援事業所 佐賀中部病院附属居宅介護支援センター さくら シオンの園ケアマネジメントサービスが シニアライフ神埼 シニアライフ佐賀 しゃくなげ（江北町） 徐福の里 SINみらい すこやか 扇寿荘 セントケア佐賀 ちとせ つばみ荘 ディーフェスタリリーフ武雄（武雄市） とさくさん（鳥栖市） なごみ なごみ荘 なゆたの森ケアマネジメントサービス 南鷗荘 なんてん ニチイケアセンター久保田 ニチイケアセンターさが ニチイケアセンター佐賀みなみ ネクストケアハピネス 橋野医院居宅介護支援事業所 花みずき 華みずき 百武整形外科病院居宅介護支援事業所 ひらまつ病院居宅介護支援事業所 福壽園 ほうむ居宅介護支援事業所 まんてん 南佐賀 メイプルハウス ライフエイド リンクス レインボー川副 ロザリオの園 あたご（宮崎県延岡市）
地域包括支援センター	佐賀 城南 昭栄 城東 城西 城北 金泉 鍋島 諸富・蓮池 大和 川副 東与賀 久保田 多久 小城北 神埼 神埼南 吉野ヶ里 みやき町 嬉野西部地域包括支援センター 大木町地域包括支援センター（三潴郡） 糸島市前原東（福岡県）
施設	特別養護老人ホーム：ケアポート晴寿 けやき荘 こすもす苑 昌普久苑 シルバーケア吉野ヶ里 つばみ荘 なかばる紀水苑 花のみね ロザリオの園 介護老人保健施設：うぶすな きりん 敬松苑（江北町） 佐賀中部病院附属介護老人保健施設 しょうぶ苑 徐福の里 シルバーケア佐賀 白い石（白石町） シンフォニー佐賀 白壽園 ハッピーライフ（大川市） ふるさとの森（藤津郡太良町） みどりの園 メイプルハウス ユートピアしゃくなげ（江北町） レストピア 有料老人ホーム：アイケアレジデンス佐賀 あいさぽ 青空 いこいの里巨勢 かがやき高木瀬 かがやき西与賀 かもめ 楠気 グットタイムホーム昇開橋クローヴィオ兵庫北 ケアハイツ田園 シニアライフ神埼 シニアライフ佐賀 SINみらい ちとせ てまり 天山の里 とっとと ひだまり久保田館 まどい 円花 美則 優雅縁 よからいふ りんごの樹 ルピナス南佐賀 グループホーム：あさひ かがやき（障害） きりん 寿 シオンの園片田江 シオンの園川上 シニアライフ本庄 たんぽぽ なごみ 菜のはな 福寿荘 ふろふき 夢咲 吉原 小規模多機能：うえむら ケアステーション野の花 さざんか園 シオンの園片田江 シオンの園末広 シニアライフ佐賀 びゃくしん まちのホーム循誘 ももえん サービス付高齢者向け住宅：こすもす 桜の園ライオンハウス 聖英
	うえむら病院 枝國医院 江口病院 おおいし脳・神経リハクリニック おそえがわ脳神経

病院	内科 小野病院 神埼病院 神野病院 小柳記念病院 境野病院 佐賀記念病院 佐賀県医療センター好生館 佐賀大学医学部附属病院 佐賀中部病院 さとうクリニック 志田内科 島田病院 たなかクリニック（福岡県糸島市） 第一診療クリニック 鶴田眼科 鶴田整形外科病院 長崎川棚医療センター（長崎県） なゆたの森病院 早津江病院 肥前精神医療センター 福岡病院 福田脳神経外科病院 ふじおか病院 ぶどうの木クリニック 諸隈病院 矢ヶ部医院 和田記念病院
行政	大川市役所福祉事務所 大川市役所介護保険課 大川市役所健康課 神埼市役所障がい福祉課 杵藤地区広域市町村圏組合 佐賀警察本部 佐賀県総合福祉センター 佐賀年金事務所 佐賀市障がい福祉課 佐賀市役所生活福祉課 佐賀中部広域連合 対馬市福祉事務所（長崎県対馬市） 鳥栖地区広域市町村圏組合 福岡県障がい者更生相談所
その他	大川障害者相談センター 佐賀県立地域生活リハビリセンター 佐賀産業保健総合支援センター 長光園障害者総合支援センター ワークス佐賀

4.活動報告

研修会参加状況一覧

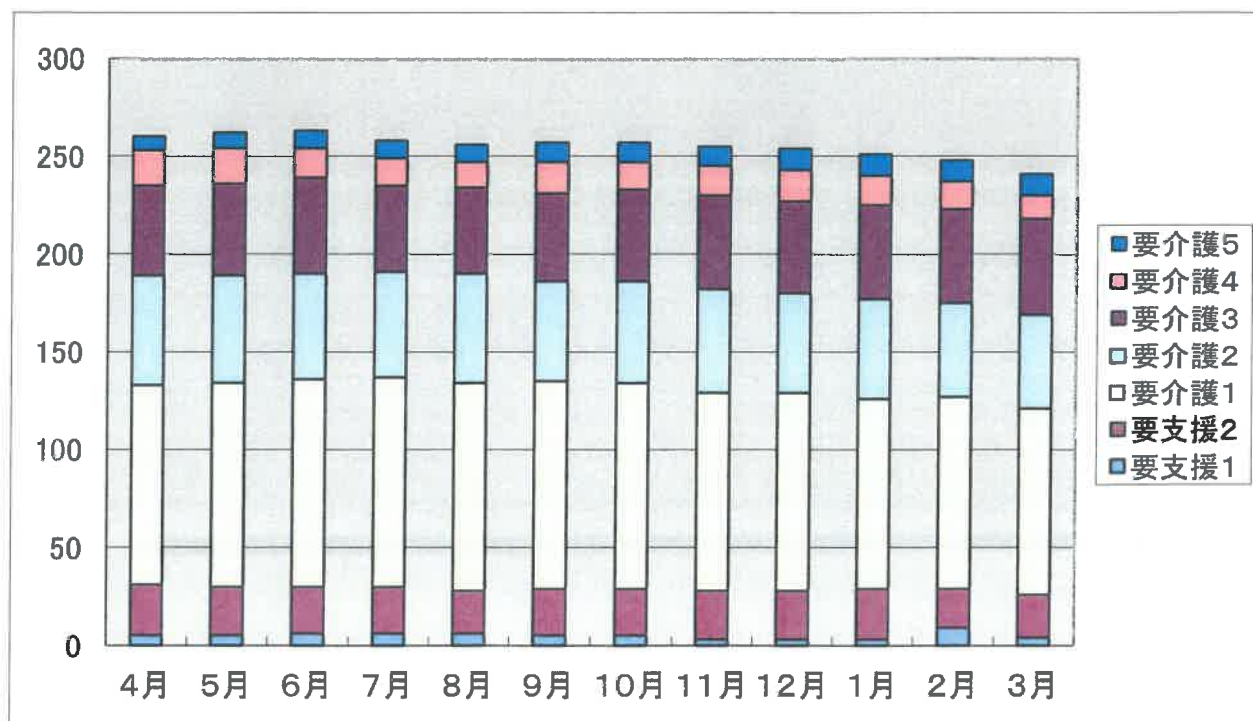
2020/10/16	高次脳機能障害の症状や診断、ならびに全国の高次脳機能障害への支援の動き	オンライン	森田・有岡・平野
2021/1/9	障害者職業センターにおける高次脳機能障害者への職業支援の実際	オンライン	森田・有岡
2021/2/21	障害年金の基礎知識	オンライン	森田

令和2年度居宅介護支援事業所南佐賀活動報告

令和2年度 居宅介護支援事業所南佐賀 年間報告書 ①

I. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	5	5	6	6	6	5	5	3	3	3	9	4	60
要支援2	26	25	24	24	22	24	24	25	25	26	20	22	287
要介護1	102	104	106	107	106	106	105	101	101	97	98	95	1228
要介護2	56	55	54	54	56	51	52	53	51	51	48	48	629
要介護3	46	47	49	44	44	45	47	48	47	48	48	49	562
要介護4	18	18	15	14	13	16	14	15	16	15	14	12	180
要介護5	7	8	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	116
合計	260	262	263	258	256	257	257	255	254	251	248	241	3062
居宅介護	I												
	II	229	232	233	228	228	228	227	226	222	219	215	2715
	III												
初回加算	1	1	2	0	1	1	1	1	2	0	4	0	14
退院加算	I(イ)	2	2	4	3	9	4	4	5	2	4	0	43
退院加算	II(イ)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
医療連携	I	6	5	6	9	4	8	6	5	10	9	6	80
	II	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	0	5
小規模多連携	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



令和2年度 居宅介護支援事業所南佐賀 年間報告書 ②

日付	研修会名	開催場所	出席者
R2.9.15	佐賀市南部医療・介護連携グループエリア別会議	川副支所	原
R2.9.25	地域包括支援センター職員スキルアップ研修	アバンセホール	藤本
R2.10.15	佐賀中部広域介護支援専門員協議会研修	佐賀市文化会館	原・緒方
R2.10.20	介護職場環境改善セミナー	アバンセホール	藤本
R2.11.11	第1回神崎ブロックケアマネ研修会	神崎中央公民館	古澤・森
R3.2.19	令和2年度佐賀中部広域連合介護支援専門員研修会	オンライン研修	全員
R3.3.11	住宅改修研修会	オンライン研修	全員
R3.3.18	介護支援専門員研修会(コロナ禍における課題への対応)	オンライン研修	全員

居宅介護支援費の改訂	① 要介護 1～2	② 要介護 3～5
	+190 点	+250 点
令和 2 年 3 月で試算	190×143 人=27170 点増収	250×72 人=18000 点増収

③ 特定事業所加算	+70 点増収	70×241 人=16870 点増収
-----------	---------	--------------------

① 27170+②18000+③16870=62040 点の増収

《南佐賀の人事の流れ》

1.4 月 1 日よりケアサポートみずがえと合併し 8 人体制となる。

2.10 月より相良朋子ケアマネ病欠。現在も療養中

3.R3 年 4 月 1 日より福田さとりケアマネ入職

4.R3 年 6 月 4 日より古川陽子ケアマネ産休予定

《特定事業所としての取り組み》

1. 南佐賀会議の実施（勉強会・事例検討会等実施）1 回/週
2. 他事業所合同勉強会：（つばみ荘・デイフェスタ東与賀・久保薬局合同）4 回/年開催
3. 地域ケア会議の参加（コロナ感染対策で今年は開催なし）
4. 24 時間連絡体制の確保
5. 主任介護支援専門員事例検討会の参加

《1 年の振り返り》

コロナ禍で直接会えない状態での退院支援・面会拒否、禁止の中での支援の難しさを痛感した 1 年である。併せて、災害避難についてもコロナ感染対策を踏まえての対応で困難さを増しました。仕事上、私生活でも自粛を強いられる中ですが、事業所一丸となり支援を行っています。相良ケアマネの復帰を祈念しながら、利用者を振り分け対応しています。

令和2年度 訪問看護ステーションよろこび活動報告

令和2年度 看護ステーション よろこび 年間報告書

1.実績

〈利用者登録数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	33	33	35	37	38	39	39	39	39	39	44	34
国・社保険	15	16	17	19	19	17	16	16	15	14	14	12
後期高齢保険	10	8	7	9	10	9	9	9	9	11	7	9
合計	58	57	59	65	67	65	64	64	63	64	65	55

令和元年度より延べ人数71名増加

〈訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	155	126	174	184	183	203	198	168	219	168	154	188
国・社保険	108	92	151	173	171	129	191	173	163	121	110	153
後期高齢保険	59	27	49	70	86	53	60	85	75	94	68	93
合計	322	245	374	427	440	385	449	426	457	383	332	434

令和元年より延べ訪問件数269回増加

〈利用者介護度〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	1
要支援2	7	6	6	7	7	7	8	8	7	7	6	5
要介護1	10	12	12	14	12	13	11	11	12	12	12	12
要介護2	5	5	6	6	7	7	6	6	6	6	6	7
要介護3	9	8	8	8	9	9	12	10	12	11	12	9
要介護4	5	5	4	4	4	4	5	5	4	5	4	4
要介護5	6	6	7	7	8	8	7	9	6	6	5	6
合計	43	43	44	48	50	51	52	52	50	50	48	44

利用者介護度

件



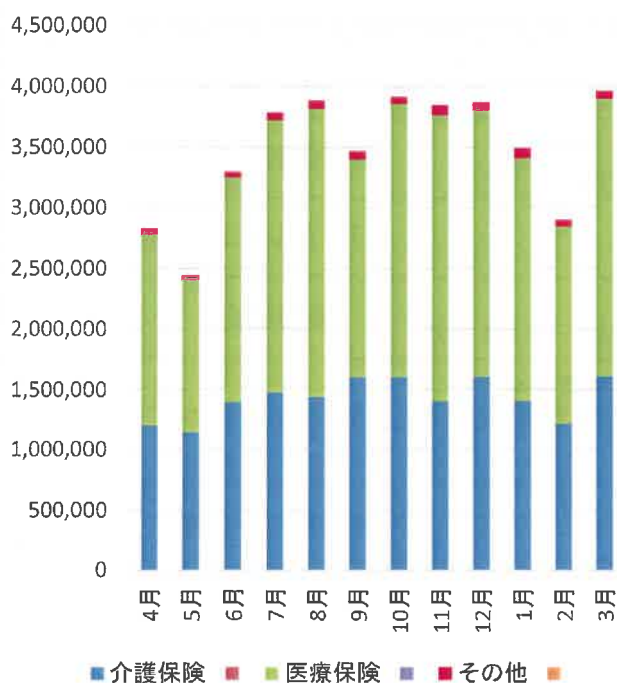
〈介護保険 単位別訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防訪看Ⅰ2(449単位)	24	17	20	19	29	19	21	16	18	20	22	14
訪看Ⅰ2(469単位)	58	47	67	64	61	78	66	64	71	51	51	61
予防訪看Ⅰ3(790単位)	12	5	7	12	9	11	13	8	10	7	2	2
訪看Ⅰ3(819単位)	31	46	42	64	52	51	58	44	66	59	44	55
訪看Ⅰ3複22(1136単位)	10	7	15	11	11	21	15	16	11	13	13	15
訪看Ⅰ3複12(1221単位)	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0
訪看Ⅰ4(1122単位)	9	9	8	5	5	5	4	3	5	1	2	10
訪看Ⅰ4複21(1520単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪看Ⅰ4複22(1439単位)	1	1	5	1	2	2	3	2	3	3	1	10
予防訪看Ⅰ5(287単位)×2	10	3	5	4	10	12	8	5	4	7	6	8
訪看Ⅰ5(297単位)×2	0	3	5	4	5	4	9	7	13	7	10	11
訪看Ⅰ52超(267)単位×2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
サービス提供体制加算 (6単位)	155	138	174	184	184	203	198	167	202	168	151	188

※複12⇒看護師2名・複22⇒看護師1名＋補助者1名 の訪問

年間売り上げ実績

月別売り上げ推移表



	介護保険	医療保険	その他	合計
4月	1,202,120	1,578,208	48,900	2,829,228
5月	1,142,385	1,261,219	33,500	2,437,104
6月	1,394,080	1,856,460	45,300	3,295,840
7月	1,474,170	2,249,664	60,950	3,784,784
8月	1,435,160	2,383,310	67,500	3,885,970
9月	1,600,030	1,799,692	68,000	3,467,722
10月	1,600,840	2,256,135	58,200	3,915,175
11月	1,400,830	2,365,208	82,210	3,848,248
12月	1,602,890	2,204,099	63,500	3,870,489
1月	1,404,000	2,004,240	86,100	3,494,340
2月	1,214,020	1,634,196	51,250	2,899,466
3月	1,604,190	2,298,516	66,300	3,969,006
年間 合計	17,074,715	23,890,947	731,710	41,697,372

2. 活動内容 会議・研究会等

R2年度 訪問看護ステーションよろこび 研修会参加状況(院内研修除く)

	日時	研修の名称	研修会場	参加氏名
R 2 年	5/13～12/2	2020年度訪問看護師養成講習会(eラーニング、集合教育、実習)	看護協会	永渕
	7月25日	緩和ケア看護師の活動と在宅看護の接点	看護協会	永渕
	8月8日	施設代表者会議R2年度佐賀県看護協会事業について	看護協会	野中
	8月21日	指定難病患者に学ぶ在宅医療と看護	看護協会	永渕 中島 小柳
	8月22日	R2年度佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会総会 令和元年度事業報告/決算 令和2年度事業計画(案)について	メディカルセンター	野中
	9月8日	摂食感染予防の対策と病原菌の理解	オンデマンド研修	野中 中島 山本
	9月15日	佐賀市南部医療介護連携ネットワーク会議 ぶどうの木クリニックについて	佐賀市川副支所	小柳
	9月21日	第10回 看護の倫理的問題を解決しよう	オンデマンド研修	野中 中島 山本 永渕 小柳
	9月23日	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 研修・情報交換企画運営・広報合同委員会	メディカルセンター	野中
	11月17日	佐賀市南部医療介護連携ネットワーク会議 口腔ケアの実際	佐賀市川副支所	小柳
	11月18日	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 研修・情報交換企画運営・広報合同委員会	メディカルセンター	野中
R 3 年	11月25日	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 人工呼吸装着患者の自然災害による停電への備えについて	中部保険事務所	野中
	1月20日	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 研修・情報交換企画運営・広報合同委員会	メディカルセンター	野中
	1月23日	第7回佐賀県訪問看護サポートセンター研修会 在宅訪問での体験発表に耳を傾ける多職種間に学ぶターミナルケア	看護協会	野中
	2月6日	R2年度佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会講演会 訪問看護連絡協議会の組織強化に向けて～管理者会でつくる 災害にも強い連携とは	メディカルセンター	野中
	2月22日	摂食・嚥下障害看護①～③	オンデマンド研修	野中 中島 永渕 山本
	3月24日	令和2年度訪問看護ステーション連絡会 今後の委員会について ペーステーションについて	メディカルセンター	野中
	3月30日	当院褥瘡対策の現状と今後の課題	オンデマンド研修	野中 中島 永渕 山本

〈看護実習受け入れ実績〉

コロナ感染予防の為受け入れはなし。

事前紹介のみとする(佐賀県医療センター好生館看護学院)

3. 概況・所見

年間利用者数の登録平均 :62名

年間売り上げ 41,697,372円 前年度より3,351,950円の増

医療依存度が高く重症化の利用者が増え毎日の訪問が必要となり日曜日・祭日は自宅待機ではなく、出勤形式として勤務体制を調整し対応している。

有料老人ホームの利用者を4～5名確保したことで移動時間を短縮し効率的に稼働できたと思われる。

年々施設での看取りが増えてきており、今年度4名の看取りは全て施設入居者であった。

施設スタッフとの連携を増々強化していく必要があると考える。

一時期コロナ禍が生じた事で感染防止の観点から利用者の利用自粛やステーション側のサービスの制限を行って対応したことで売り上げへの影響も懸念していたが大きな影響はなかったと思われる。

これからも24時間365日安心を支えるをモットーにコロナ感染への危機管理を継続し業務を担って行きたいと思う。

令和3年2月28日 看護師小柳佳代(常勤)退職

2020 Sagareha Hospital Annual Report

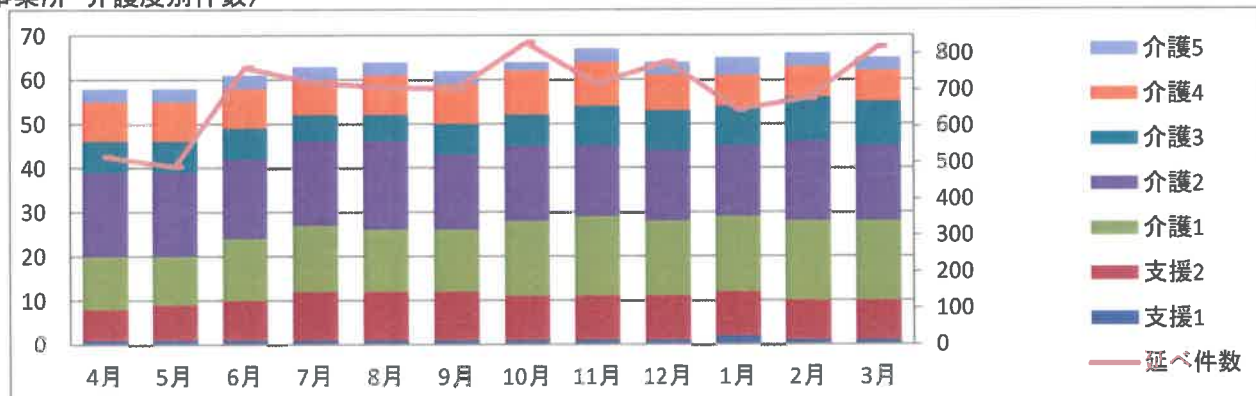
令和2年度 訪問リハビリテーション吉原活動報告

1. 実績

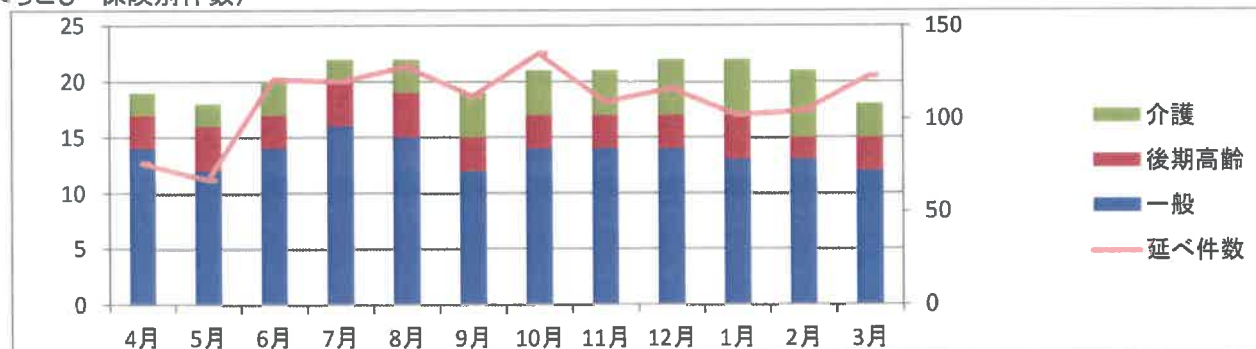
＜利用者延べ件数＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
事業所	支援1	6	6	10	6	8	8	8	4	10	12	6	10	695.8 (前年度 670.5)
	支援2	66	72	108	130	116	132	130	108	112	88	92	104	
	体制強化加算	72	78	118	136	124	140	138	112	122	100	98	114	
	短期集中	0	0	0	6	6	9	9	2	0	0	0	0	
	リハマネ加算	8	9	10	12	12	12	11	11	11	12	10	10	
	診療未実施減算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護1	98	90	157	150	170	158	198	181	200	155	167	211	
	要介護2	160	160	227	217	184	171	216	181	210	192	206	234	
	要介護3	80	65	114	81	84	119	121	112	128	105	104	122	
	要介護4	88	78	118	105	106	92	142	111	92	78	80	110	
	要介護5	18	18	28	30	26	22	15	20	26	16	22	28	
	体制強化加算	444	411	644	583	570	562	692	605	656	546	579	705	
	リハマネ加算1	50	49	51	51	53	52	53	56	54	53	56	55	
	短期集中	21	14	8	13	38	42	48	23	23	23	21	20	
	診療未実施減算	6	6	2	2	0	12	18	6	2	0	0	0	
	小 計	516	489	762	719	694	702	830	717	778	646	677	819	
	利用者件数	58	58	61	63	64	64	64	67	65	65	66	65	
医療	病 一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109.4 (前年度82.7)
	院 後期高齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	よろこび 一般	60	41	76	81	83	64	88	76	72	60	58	61	
	後期高齢	6	14	25	23	25	16	13	9	10	14	8	20	
	介護	10	12	20	16	20	32	34	24	34	28	38	42	
	小 計	76	67	121	120	128	112	135	109	116	102	104	123	
	利用者件数	19	18	20	26	27	19	21	21	22	22	21	20	
合 計		592	556	883	839	822	814	965	826	894	748	781	942	

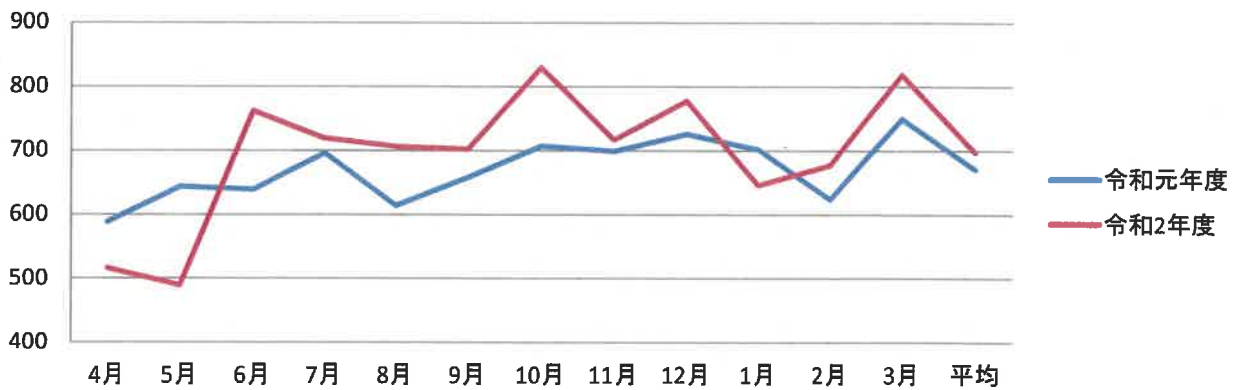
＜事業所 介護度別件数＞



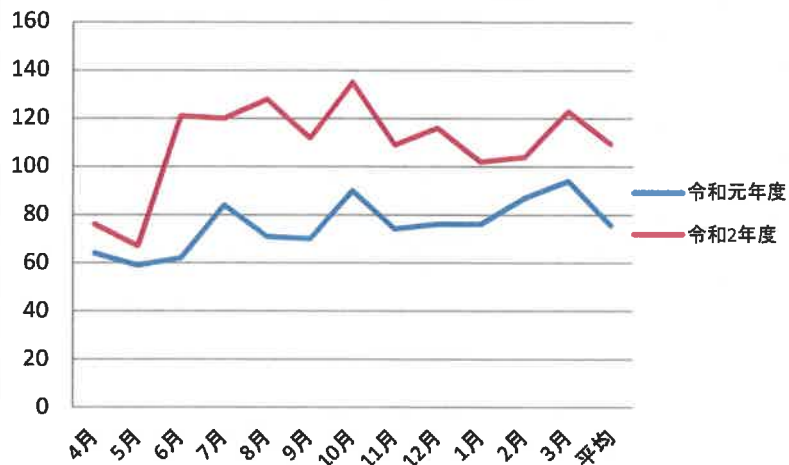
＜よろこび 保険別件数＞



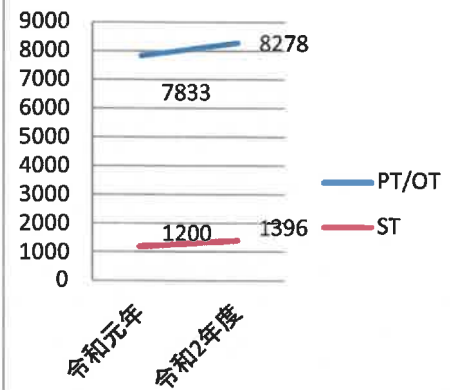
事業所延件数



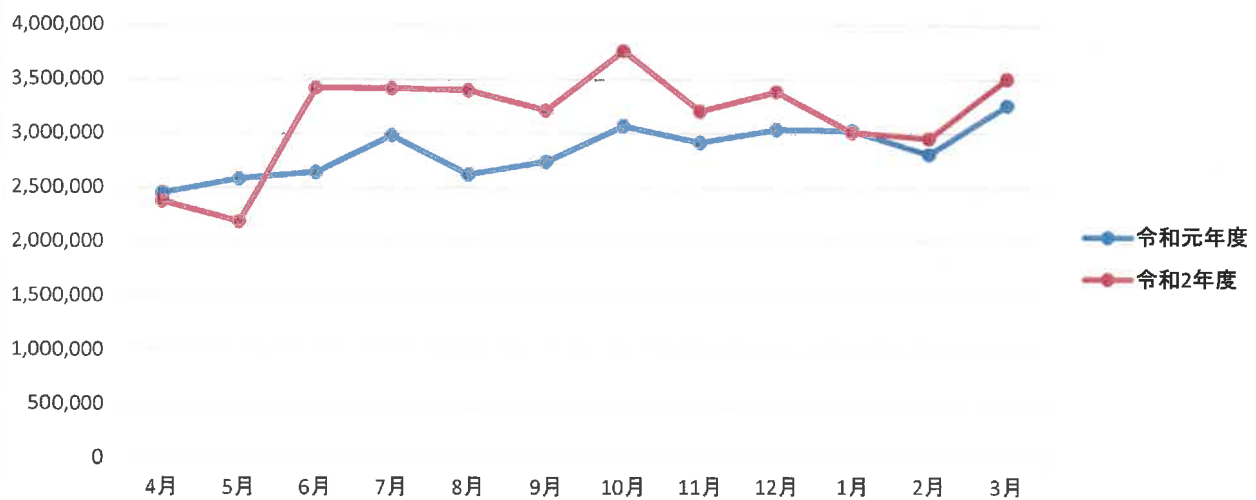
よろこび延件数



PT/OT、ST延件数 変化



売上



2. 概況・所見

令和2年度の総売り上げは37,829,840円(令和元年度の総売り上げは34,146,210円)で前年度に比べると3,683,630円売り上げ増となりました。R2年4・5月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり利用件数減少し、事業所は4/22～5/9まで営業休止となりました。年間を通じて、感染拡大の時期は施設への出入りが禁止され訪問が難しくなっています。新型コロナウイルス感染症に対するスタッフの感染対策の徹底、利用者の方の感染対策への協力を呼びかけ業務遂行しています。また、9月は、台風により1日営業休止、1月は、2日間雪の為営業休止しました。

延べ件数は増加しており、新規利用者増加し前年度より増益になったと考えます。取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症対策の為症例検討会は中止しました。研修会等は、オンラインやZOOMでの参加となりました。また、利用者の方への、アンケートを実施し目標の明確化を図り、家族の思いに寄り添い満足してもらえるように取り組みました。

令和3年度も継続して、感染症予防に努めていき、症例検討会を再開し、病棟との連携や他事業所との連携を図り、スタッフ全員で利用者へ満足のいくサービス提供できるよう努めていきます。

3. 活動内容 会議・研究会等

＜活動内容＞

R3年 1月 1日 池田PT 訪問リハビリ所属

R3年 1月 1日 北村寛子PT 病棟・訪問リハビリ兼務

＜研修会＞

日 程		研 修 会 名 称	場 所	参 加 者
令和2年	8月	22 地域保健における理学療法士の役割	e-ラーニング	関
		24 脳卒中・循環器病対策基本の概要	e-ラーニング	関
	9月	14 医療従事者向けオンデマンドセミナー	オンデマンド	鳥取
		24 第6回佐賀県嚥下障害研究会	オンライン	石田
	11月	3 医療従事者向けオンデマンドセミナー	オンデマンド	鳥取
		23 地域ケア会議推進リーダー研修会	ZOOM	関・山中
		28 地域ケア会議推進リーダー研修会	ZOOM	泉
	12月	9 医療従事者向けオンデマンドセミナー	オンデマンド	鳥取
		12・13 第10回リハ栄養学会2020	オンライン	石田
		12 認知症の運動について	ZOOM	
		16 令和2年度在宅医療多職種連携推進研修会	アバンセ1Fホール	石田
令和3年	1月	6 医療従事者向けオンデマンドセミナー	オンデマンド	鳥取
		21 鳥栖地域リハビリテーション研修会	オンライン	石田
		23 令和2年度第7回佐賀県訪問看護サポートセンター研修会	佐賀県看護協会看護センター	石田
		23・24 臨床実習指導者講習会	ZOOM	山中
		26 令和2年度かかりつけ医認知症対向上研修会	オンライン	石田・関
		29 介護ロボット全国フォーラム	ZOOM	泉
	2月	10 障害者自立支援機器シーズ・ニーズマッチング交流会	オンデマンド	泉
		11 医療従事者向けオンデマンドセミナー	オンデマンド	鳥取
		17 佐賀県ACP研修会	オンライン	石田
		28 訪問リハビリ実務者研修会	ZOOM	池田・石田 山中・関
		2/1～3/30 フレイル対策推進マネージャー認定研修 全10回	オンデマンド	池田
	3月	6 ベッドサイドコミュニケーション勉強会	佐賀県難病支援センター	山中
		12 リハビリテーション介護技術研修会	ZOOM	山中

2020 Sagareha Hospital Annual

令和2年度 通所リハビリテーション吉原活動報告

令和

2 年度

通所リハビリテーション吉原年間報告書

I. 実績

【利用者延べ人数】

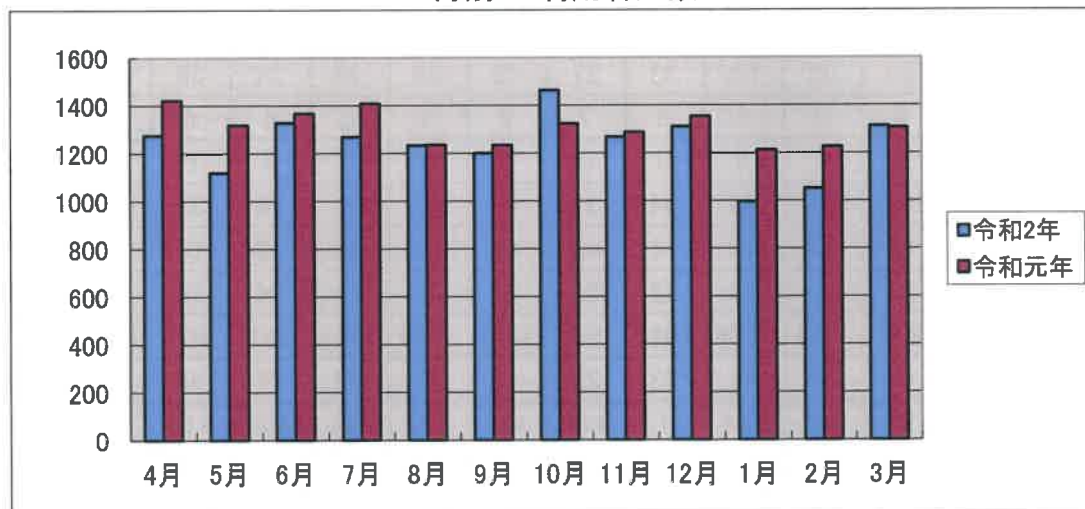
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1		52	41	40	35	37	41	52	45	40	33	35	47	498
要支援2		137	106	137	138	113	124	159	134	128	112	111	123	1522
日割り														0
要介護1	1～2	45	40	49	42	38	28	28	28	29	19	25	33	404
	2～3	29	29	24	26	26	23	25	22	21	16	15	18	274
	3～4	26	32	36	35	27	23	34	31	30	22	31	31	358
	4～5	55	51	63	64	63	60	66	54	84	50	58	61	729
	5～6	57	58	64	59	49	43	50	51	51	25	29	53	589
	6～7	418	382	440	395	414	429	501	425	438	339	350	457	4988
	7～8	8	4	12	12	12	14	4	4	4	4	4	5	87
要介護2	1～2	15	11	17	15	8	2	7	4	6	4	2	4	95
	2～3	8	7	8	7	9	8	7	7	9	8	7	8	93
	3～4	1	4	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	14
	4～5	26	23	22	38	26	27	26	30	32	21	19	21	311
	5～6	31	23	34	35	28	21	39	29	41	30	35	46	392
	6～7	207	165	178	190	188	180	217	172	173	137	146	172	2125
	7～8	0	0	0	5	4	5	11	12	11	12	12	14	86
要介護3	1～2	0	0	0	5	8	1	12	15	15	11	11	11	89
	2～3	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	6
	3～4	5	3	7	5	6	4	7	6	5	3	3	5	59
	4～5	26	21	31	22	23	23	30	30	32	27	30	35	330
	5～6	2	5	6	4	0	3	4	4	9	5	4	6	52
	6～7	105	96	124	101	116	100	126	118	126	98	101	139	1350
	7～8	4	3	7	8	8	8	8	7	6	6	6	6	77
要介護4	1～2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4
	4～5	1	1	1	3	1	1	2	5	9	6	6	5	41
	5～6	1	3	2	3	3	9	10	7	1	1	0	0	40
	6～7	12	10	20	15	25	22	31	18	7	6	6	6	178
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1～2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	4～5	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	0	1	7
	5～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	6～7	0	0	4	1	0	0	4	4	0	0	4	2	19
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日平均人数		54	48.6	51.1	52.3	48.6	54	54	54	50.4	47.4	43.4	50.3	
利用延べ人数		1275	1119	1328	1269	1233	1200	1463	1267	1311	996	1051	1313	14825

リハマネⅠ	330	180	164	177	177	169	171	187	176	167	163	166	161	2058
リハマネⅡ2	530	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期集中加算	110	79	50	69	80	92	56	74	89	79	31	17	38	754
入浴	50	600	512	626	571	595	581	565	601	638	484	498	635	6906
運動器向上	225	39	36	36	36	33	37	42	38	33	34	35	34	433
口腔機能 向上	介護	2	4	6	8	8	7	2	8	6	4	6	8	69
	予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学体制加算	30	63	51	66	65	54	31	47	47	50	34	38	48	594
体制強化	支1 72	13	12	12	10	11	12	12	13	10	10	11	12	138
	支2 144	26	24	24	26	22	25	26	25	23	24	24	22	291
	介護 18	1086	972	1151	1096	1083	1035	1252	1088	1143	851	905	1143	12805
リハ提供 体制加算	12	32	40	44	42	33	28	42	38	39	26	34	38	436
	16	108	96	117	128	113	111	126	122	157	104	113	123	1418
	20	91	89	106	101	80	76	103	93	102	61	68	106	1076
	24	742	653	766	702	743	731	879	735	744	580	607	776	8658
	28	12	7	19	25	24	27	23	23	21	22	22	25	250
食事数	450	1119	995	1172	1117	1112	1088	1320	1134	1185	898	952	1203	13295
介護		1086	972	1151	1096	1083	1035	1252	1088	1143	851	905	1143	12805
予防		39	36	36	36	33	37	38	38	33	34	35	34	429
処遇		44211	39,380	45,913	44084	43609	42996	50831	44814	45227	36076	37846	45365	520352
特定		18820	16,762	19,548	18769	18558	18303	21630	19080	19255	15359	16110	19315	221509

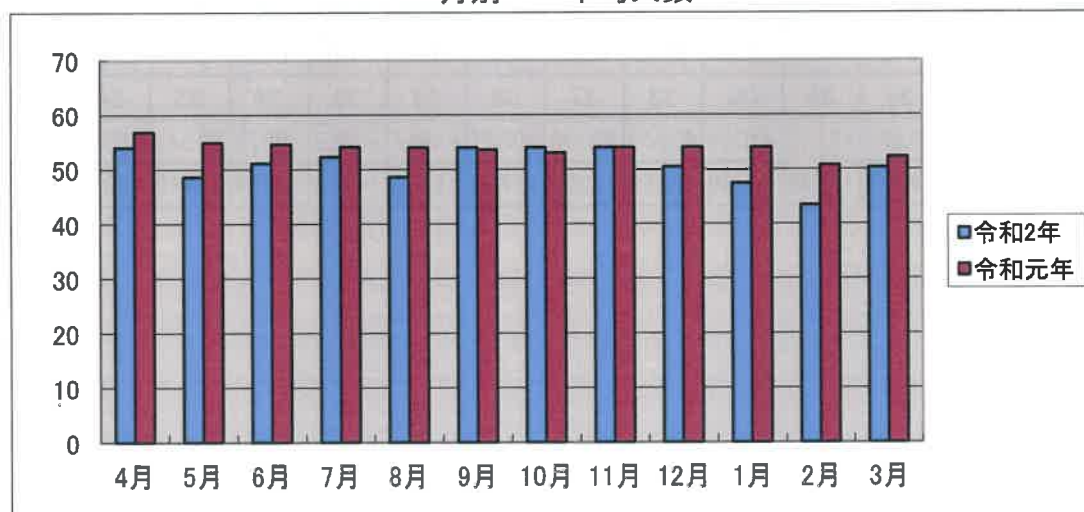
令和 元年度 通所リハビリテーション吉原 年間報告書 ②

Ⅱ. 実績グラフ

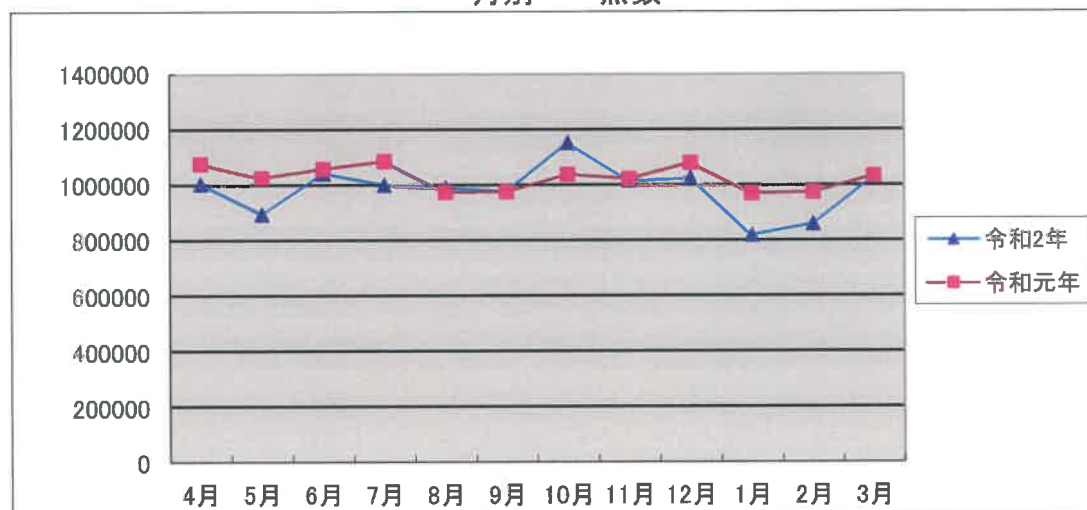
月別 利用者延数



月別 平均人数



月別 点数



年間利用者延べ人数: 14,825 人

年間保険点数計: 11,811,796点

Ⅲ. 行事等／実習受け入れ

6月1日～6日 映画観賞会
 8月31日～9月5日 映画観賞会
 9月14日～19日 通所敬老会
 11月30日～12月5日 映画観賞会

Ⅳ. 学会・研修会等参加状況

日 付	研修会名	開催場所	出席者
4月18日	脳卒中セミナー	オンライン	PT森
4月22日	見落としてはいけない血液データについて	オンライン	PT森
5月16日	データから読み取る離床のリスク	オンライン	PT森
5月18日	解剖と脳画像からわかる脳卒中リハの考え方	オンライン	PT森
5月24日	心電図講座	オンライン	PT森
6月4日	認知作業療法基礎(1)	オンライン	OT佐古
6月5日	認知作業療法基礎(2)	オンライン	OT佐古
6月7日	脳卒中患者の装具療法の考え方	オンライン	PT森
6月10日	認知行動療法(1)	オンライン	OT佐古
6月11日	認知行動療法(2)	オンライン	OT佐古
6月12日	認知行動療法(3)	オンライン	OT佐古
6月15日	カウンセリング基礎	オンライン	OT佐古
6月16日	カウンセリング演習	オンライン	OT佐古
6月18日	臨床の認知作業療法(1)身障編	オンライン	OT佐古
6月21日	離床の考え方と臨床の視点	オンライン	PT森
6月22日	整形疾患・慢性疼痛の認知作業療法	オンライン	OT佐古
6月23日	脳卒中の認知作業療法	オンライン	OT佐古
6月24日	認知症の認知作業療法	オンライン	OT佐古
6月26日	うつ認知作業療法	オンライン	OT佐古
6月28日	高次脳機能障害の基礎知識	オンライン	PT森
6月29日	高次脳機能障害の認知作業療法	オンライン	OT佐古
7月5日	離床技術について	オンライン	PT森
7月12日	脳卒中の離床リスク管理	オンライン	PT森
7月18日	浮腫について	オンライン	PT森
8月2日	回復期・在宅呼吸アセスメント講座	オンライン	PT森
8月23日	人工関節術後のリハビリテーション	オンライン	PT森
8月30日	心不全徹底攻略講座	オンライン	PT森
9月6日	胸部レントゲン写真読影の実際	オンライン	PT森
9月27日	早期離床のワザと病棟リハビリ	オンライン	PT森
10月4日	整形外科の危険を回避する画像判読講座	オンライン	PT森
10月18日	脊椎疾患へのアプローチ	オンライン	PT森
12月13日	肩関節リハビリテーションの全て	オンライン	PT森
1月10日	離床について	オンライン	PT森
2月9日	認知作業療法で読み解き実践するMOHO	オンライン	OT佐古

2月12日	Narrative & Self Counselingの技法	オンライン	OT佐古
2月16日	一般社会へ進出する認知作業療法の仕組みと理論	オンライン	OT佐古
2月19日	グレードアップ・カウンセリング技法	オンライン	OT佐古
2月23日	整形疾患の認知作業療法	オンライン	OT佐古
2月26日	脳卒中の認知作業療法	オンライン	OT佐古
3月2日	うつの認知作業療法-運動と活動の視点から	オンライン	OT佐古
3月5日	高次脳機能障害者への認知作業療法	オンライン	OT佐古
3月27日	重症患者のアセスメント	オンライン	PT森

コメント

今年度は新型コロナウイルスの感染リスクから利用を控える方が4～7月に多く、5月は介護保険点数で対前年度比約13%減少であった。その後前年度と大きく変わらない保険点数が5カ月続いたが1月は積雪による送迎中止が2日あったことや、年末年始に家族の県外からの帰省があったため2週間程度利用を控える方もいるなど前年度比約15%の低下となった。新型コロナウイルスの影響を補う施策を十分に行えていなかったこともあり、年間では介護保険点数で対前年度比4.1%減であった。

今年度は新型コロナウイルスのためケアマネジャーへの営業も十分に行えていなかったため、今後は状況を見て営業等で新規獲得へ努めていく共に、送迎の見直しや利用者の満足度が上がるよう取り組みを行っていき売り上げ向上を図っていく。

令和2年度 ドリームハウス吉原活動報告

令和2年度 ドリームハウス吉原 年度報告書

1.実績

【介護度別の入居者延数】

単位:人

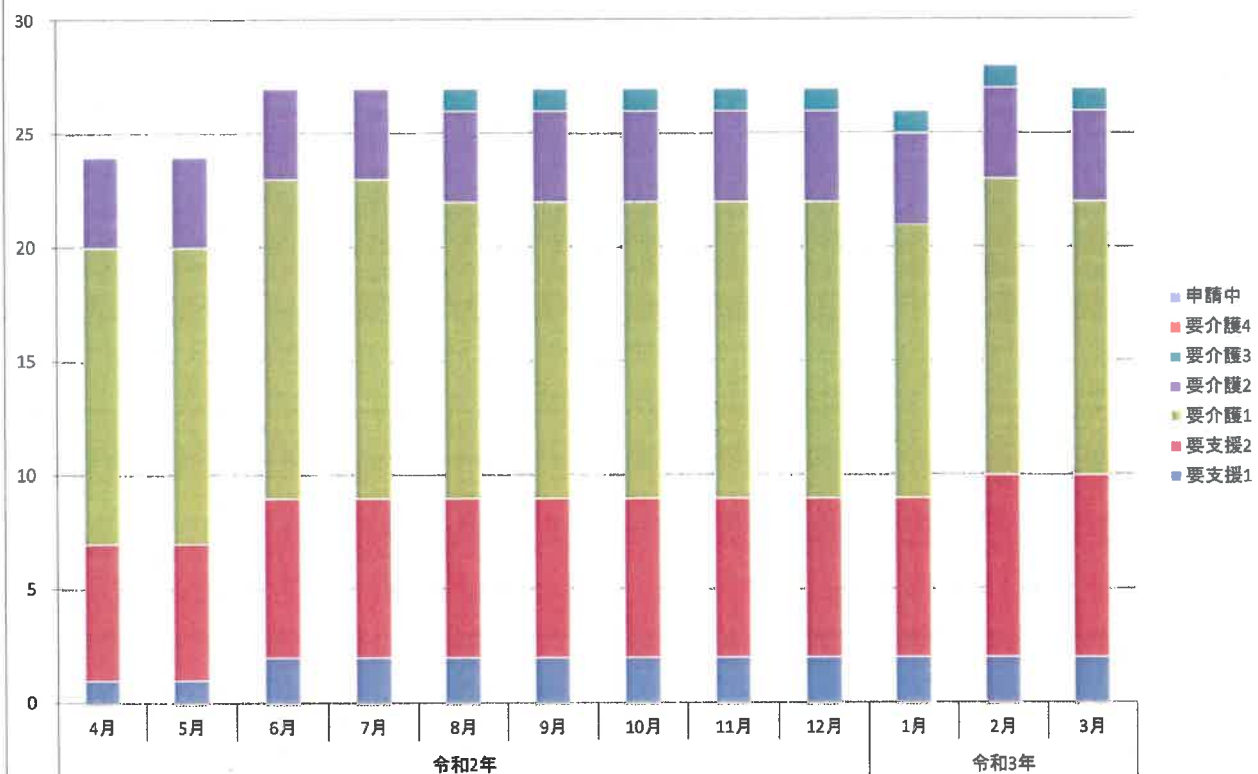
年 月 区 分	令和2年										令和3年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
要支援1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	1.8	
要支援2	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	84	7.0	
要介護1	13	13	14	14	13	13	13	13	13	12	13	12	156	13.0	
要介護2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0	
要介護3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8	0.7	
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
合計	24	24	27	27	27	27	27	27	27	26	28	27	318	26.5	

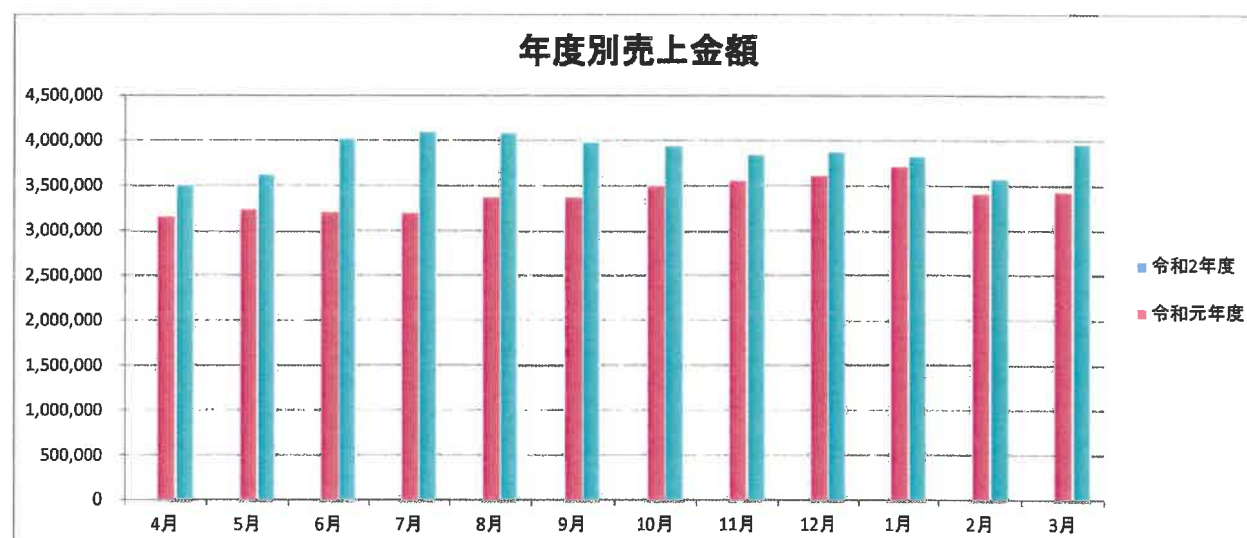
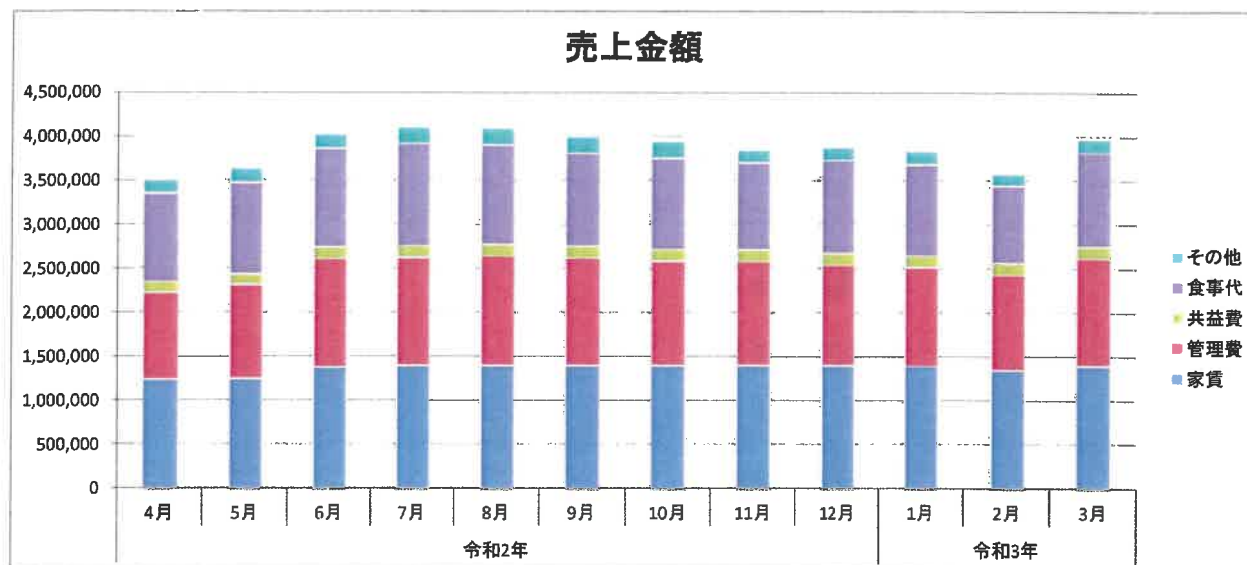
【売上金額】

単位:円

年 月 区 分	令和2年									令和3年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
家賃	1,245,090	1,251,670	1,383,500	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,398,430	1,353,440	1,400,000	16,432,130	1369344.2
管理費	987,450	1,069,050	1,230,100	1,226,500	1,241,200	1,223,950	1,185,250	1,183,100	1,143,850	1,123,550	1,080,000	1,225,000	13,919,000	1159916.7
共益費	120,000	120,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	132,500	135,000	135,000	1,587,500	132291.7
食事代	1,002,986	1,037,736	1,114,598	1,158,088	1,126,222	1,052,878	1,038,184	987,738	1,050,042	1,031,802	875,024	1,060,130	12,535,428	1044619.0
その他	161,961	163,360	171,047	191,009	201,579	188,925	197,205	151,458	156,965	157,585	143,771	157,484	2,042,349	170195.8
総合計	3,517,487	3,641,816	4,034,245	4,110,597	4,104,001	4,000,753	3,955,639	3,857,296	3,885,857	3,843,867	3,587,235	3,977,614	46,516,407	3876367.3

介護度別の入居者延数





2.概況・所見

入居率が大きく改善し、すべての月において前年の売上金額を上回ることができた。コロナ禍で施設見学など控えざるを得ない期間があったものの、入館制限が解除されているタイミングで、迅速に入居契約に繋げることができました。建物など施設のハード面の評判が良く、施設を見て頂くところまで、丁寧にご案内を続けたことが、入居率の改善に反映されました。感染防止の為、定期行事は不定期になり、敬老会、クリスマス会は規模を縮小して開催しました。閉塞感が長期化しており、今後は入居者様の満足度、安心感といったものに、細やかに配慮できるような運営を心がけていきます。

3.活動内容

9月16日

夢館 敬老会

12月18日

夢館クリスマス会

定期行事

生け花教室

歌声喫茶

絵手紙教室

令和2年度 ホームヘルプサービス吉原活動報告

令和2年度 ホームヘルプサービス吉原 年間活動報告書

1.実績、利用回数

サービス / 月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
要支援	ドリームハウス	予防Ⅰ・同一	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	52	
		予防Ⅱ・同一	0	9	8	14	17	9	9	7	9	8	8	17	115	
		予防Ⅲ・同一	34	27	26	25	27	26	26	25	27	25	24	25	317	
	外部	予防Ⅰ同(日割り)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		予防Ⅱ同(日割り)	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	3	0	11	
		予防Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		予防Ⅱ	15	14	9	8	8	9	9	6	9	7	7	8	109	
		予防Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		初回加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	
		合 計(回 数)	53	54	57	51	57	48	48	43	49	44	47	56	607	
		処遇改善加算Ⅰ(単位)	2,161	1,991	1,944	1,959	1,960	1,670	1,670	1,671	1,671	1,671	1,812	2,308	22488	
	特定処遇改善加算Ⅱ(単位)	660	610	595	601	600	512	512	511	511	511	554	707	6884		
要介護	ドリームハウス	身体1・同	17	19	21	21	21	41	26	14	17	15	10	12	234	
		身体1・同・夜	0	0	0	0	0	8	22	30	31	1	4	15	111	
		身体2・同	81	89	90	88	84	82	92	81	78	85	74	66	990	
		身体3・同	21	21	22	21	8	8	2	0	6	12	8	22	151	
		身体1生活1・同	20	15	12	15	13	16	18	15	20	16	12	17	189	
		身体1生活2・同	8	8	4	4	5	4	5	1	0	0	0	0	39	
		身体2生活1・同	0	1	4	5	4	5	4	2	0	0	0	0	25	
		生活2・同	43	46	47	54	49	45	48	48	48	50	46	47	571	
		生活3・同	45	41	42	47	34	45	45	45	54	38	25	38	500	
		初回加算	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	
	外部	身体1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		身体2	10	10	9	10	10	8	11	8	9	10	8	8	111	
		身体1・生活1	0	0	11	9	9	7	9	9	8	7	8	8	85	
		身体1・生活2	4	4	5	4	5	3	3	5	4	4	4	5	50	
		身体3・生活1	0	0	1	5	4	5	4	4	5	4	4	5	41	
		生活2	4	4	5	3	5	5	4	3	5	4	3	1	46	
		生活3	4	3	5	1	0	5	4	4	5	4	4	5	44	
		初回加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
		緊急時訪問加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自己負担	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	5	
		自費利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合 計(回 数)	258	261	280	287	251	287	299	269	293	250	210	251	3196	
		処遇改善加算Ⅰ(単位)	10,321	10,534	11,330	11,673	9,983	11,082	11,462	10,219	9,342	9,913	8,359	10,144	124,362	
		特定処遇改善加算Ⅱ(単位)	3,230	3,230	3,474	3,577	3,062	3,397	3,515	3,133	2,865	3,038	2,562	2,980	38,063	

介護度別利用者延数

単位:人

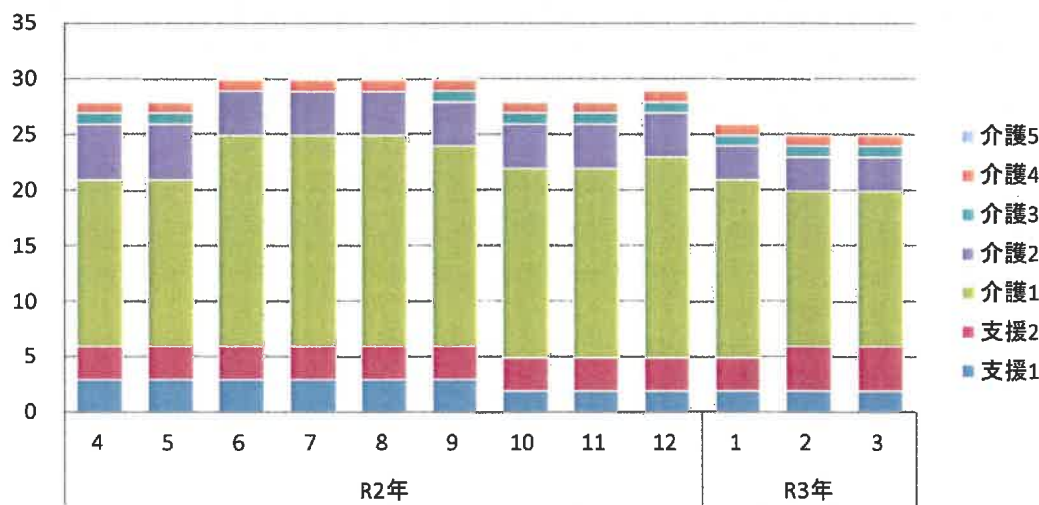
年 区分	R2年									R3年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
支援1	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	30
支援2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	38
介護1	15	15	19	19	19	18	17	17	18	16	14	14	201
介護2	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	47
介護3	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	9
介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	28	30	30	30	30	28	28	29	26	25	25	337

売上金額

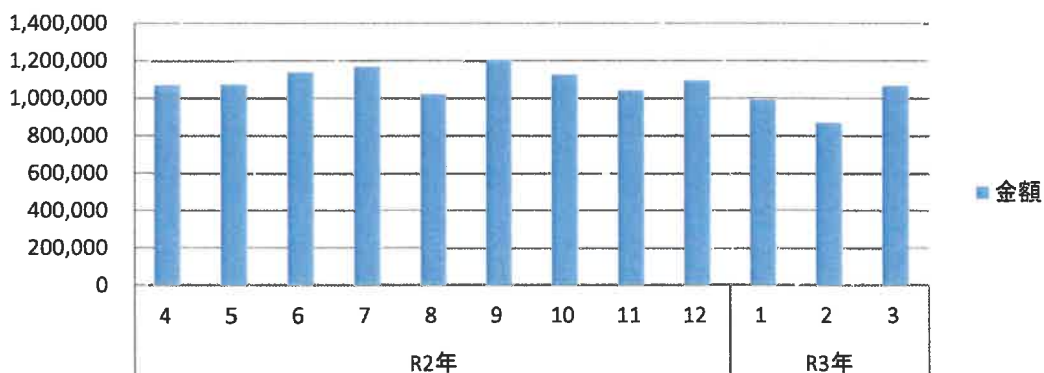
単位:円

年 区分	R2年									R3年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
金額	1,074,140	1,077,860	1,142,510	1,173,170	1,027,760	1,210,040	1,130,080	1,046,190	1,098,640	996,770	875,230	1,071,680	12,924,070

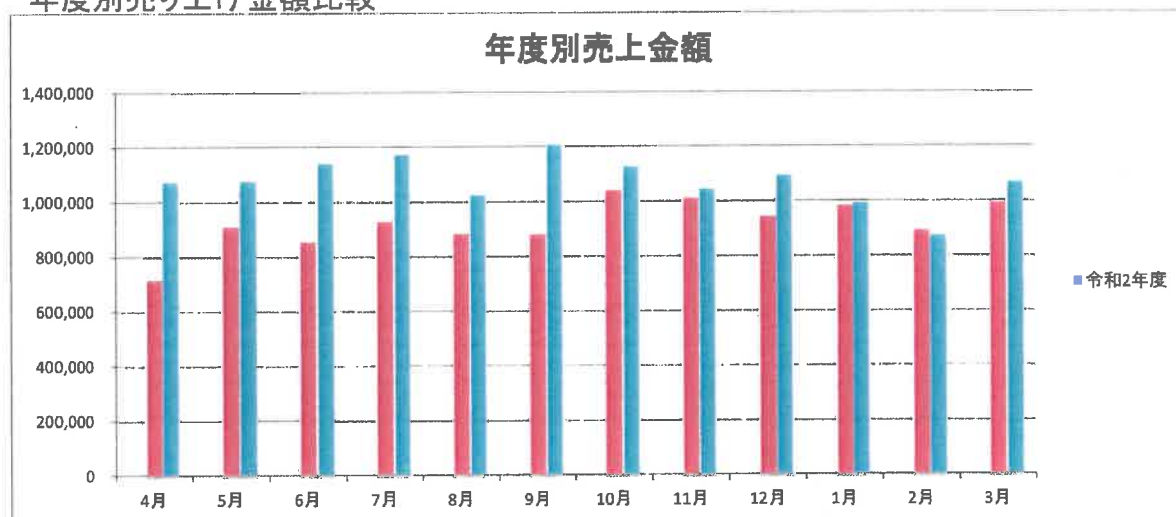
利用者延数



売上金額



年度別売り上げ金額比較



2.概況・所見

令和2年度の総売り上げは、12,924,070円となっており、前年度に比べ、+1,847,840円となっている。

件数は、要支援、要介護合わせて前年度より439件増えている。要因としては、ドリームハウスの入居者の身体状態の変化による身体中心のサービスが増えてきたため、単位が上がった、また外部の利用者の自立支援の生活援助が増えたことと思われる。

また、スタッフ1名が4月に育児休暇から復帰し、ヘルパーの人員が3名から4名に増えたことにより、訪問に行ける時間が増えたため、収益に繋がった。

外部の依頼もできる範囲は受けていくようにしていきたい。前年度は外部訪問が7件あったが、今年度は6件となっている。身体中心の訪問を増やしていきながら、収益に繋がるように、ケアマネジャーとの連携を取りながらサービスの回数を増やしていきたいと考えている。

また、利用者の身体状態を考慮したサービスの内容を常に考えながら、業務に取り組んでいきたい。

3.活動内容

- ・ヘルパーミーティング、勉強会(月1回)
- ・新規利用者様サービス開始時ミーティング
- ・院内勉強会参加(s-que院内研修)

令和2年 グループホーム吉原活動報告

令和2年度 グループホーム吉原 年度報告書

1. 実績 別紙①②参照

2. 年度活動報告

開催日	内容	参加人数	
		入居者	家族
4/21	料理レク「和風パフェ」	9	
5/22	料理レク「3色おはぎ」	8	
5/25	トマトの苗植え	8	
6/19	野菜の収穫	8	
6/23	美容レク「ヨガ」	8	
7/10	誕生会	8	
7/13	美容レク「足浴・マッサージ」	8	
7/22	夏祭り	8	
8/17	料理レク「豆乳プリン」	8	
9/16	夢館敬老会	8	
9/16	美容レク「口腔機能低下予防」	8	
10/8	料理レク「アイスクリーム・ラーメン」	8	
10/20	美容レク「目のリラクゼーション」	8	
10/27	ハロウィン	8	
11/10	誕生会	9	
11/11	花の球根植え	9	
11/23	美容レク「足のオイルマッサージ」	9	
12/15	美容レク「顔のお手入れ・パック」	9	
12/18	クリスマス会	9	
1/18	美容レク「フットケア」	9	
2/18	美容レク「笑いヨガ」	9	
3/11	美容レク「はちみつ唇ヨガ」	8	
3/18	料理レク「おはぎ」	8	
3/21	散策	8	

この他にも、毎月DHで行われている、歌声喫茶・絵手紙教室・折り紙教室への参加を行っています。

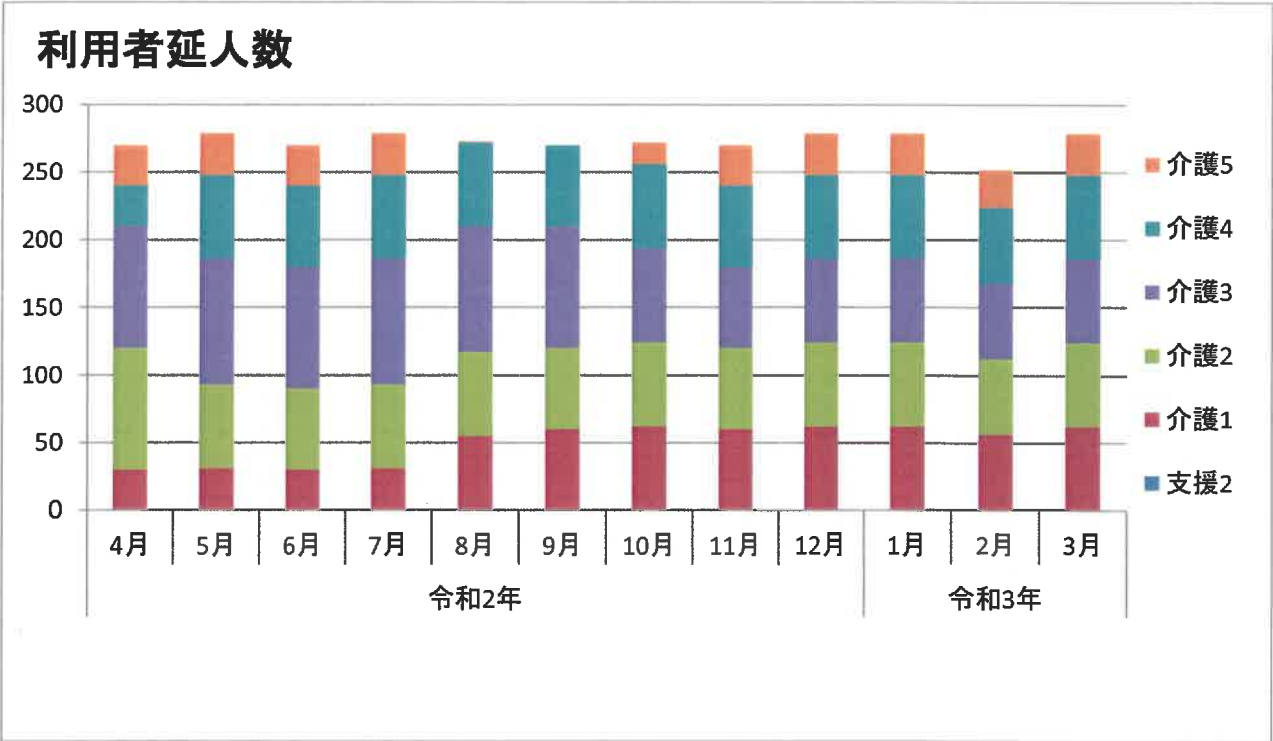
運営推進会議の開催（1回/2ヶ月）

開催日：5/28、8/4、10/8、12/3

R2年10月22日～12月9日「認知症介護実践リーダー研修」1名参加

3. 概況・所見

入居者様は高齢の方が多くおられ、また、認知症の進行により今まで出来ていたことが出来なくなったり、徐々に体力の衰えが見られています。その為、生活の維持向上を目的に毎日の屋外への散歩や体操・ボールを使つての運動や脳トレーニングを継続して行ってきました。昨年度はコロナの影響を受け遠方への外出支援ができませんでしたが、利用者様に少しでもGH内での生活を楽しくて頂けるようにと、いつまでも綺麗に過ごして頂けるようにの思いから毎月美容レクリエーションを行ってきました。昔を思い出しながら化粧を楽しんでいます。今後も入居者様の体調管理を行いながら、イベントや地域行事に参加していきたいと思ひます。



利用者延人数

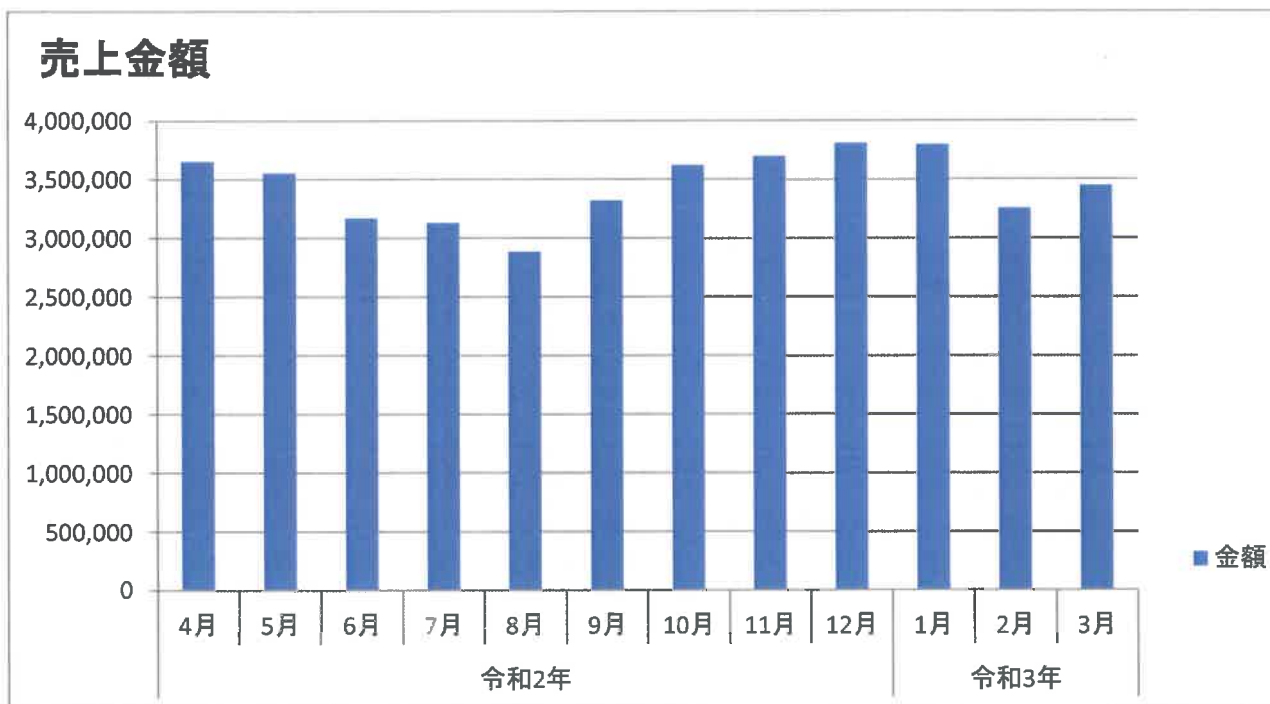
単位:人

	令和2年									令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護1	30	31	30	31	55	60	62	60	62	62	56	62	601
介護2	90	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	760
介護3	90	93	90	93	93	90	70	60	62	62	56	62	921
介護4	30	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	700
介護5	30	31	30	31	1	0	16	30	31	31	28	31	290
合計	270	279	270	279	273	270	272	270	279	279	252	279	3272

入退去状況										単位:人		
	令和2年									令和3年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
退居	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0

8月と10月に2名の方がグループホームでの生活が困難となられ退去されました。また、それ以外でも体調を崩され入院をされたり、皮膚疾患で手術のため入院されたりしました。2名の入退去がありましたが平均介護度は2.77と変わりません。今後も全身状態の観察を行い、異常の早期発見に努めていきたいと思

別紙②



売上金額

単位:円

	令和2年									令和3年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
金額	3,654,905	3,556,905	3,170,175	3,132,935	2,886,710	3,321,640	3,622,735	3,698,170	3,808,670	3,797,220	3,256,100	3,446,395
合計	41,352,560											

売上金額(内訳)

単位:円

	令和2年									令和3年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請求合計 (保険)	2,647,610	2,556,880	2,250,550	2,212,590	2,012,530	2,365,760	2,384,020	2,678,320	2,762,590	2,755,190	2,300,400	2,460,250
食事	394,650	382,650	336,350	322,000	296,500	358,250	393,600	403,300	417,100	414,700	345,200	370,200
家賃	450,000	450,000	450,000	450,000	441,250	450,000	441,250	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000
管理費	45,000	45,000	45,000	45,000	44,250	45,000	44,250	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
その他	117,645	122,375	88,275	103,345	92,180	102,630	131,615	121,550	133,980	132,330	115,500	120,945
合計	3,654,905	3,556,905	3,170,175	3,132,935	2,886,710	3,321,640	3,394,735	3,698,170	3,808,670	3,797,220	3,256,100	3,446,395

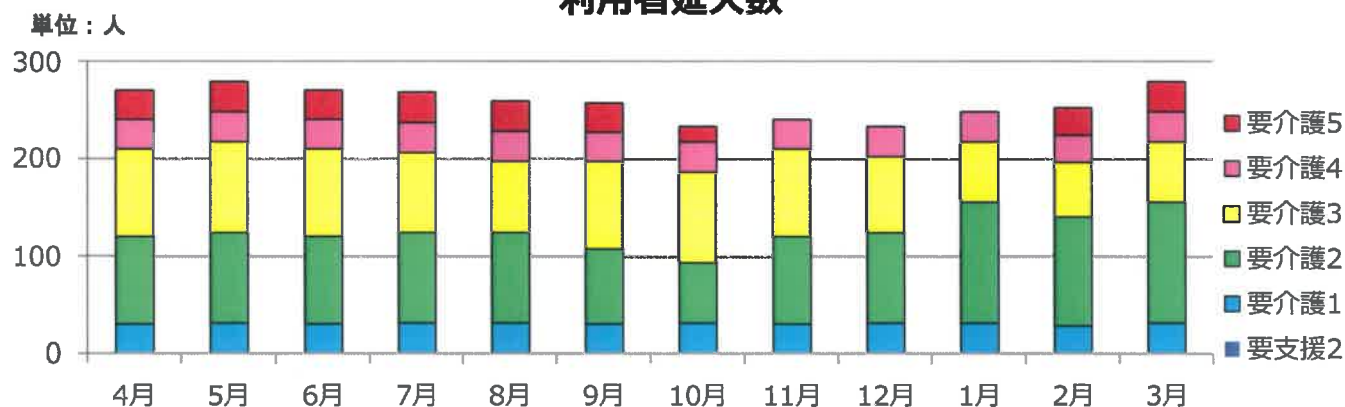
昨年度は6名の方が体調を崩され医療の病院に入院されました。そのため、6月から10月と2月、3月にかけて売り上げが落ちている。退去後の入居においては期間を置かずに入って頂いた事で大きな影響はなかった。今後も安定した運営が実施できるように体調管理を行い運営に繋げていく。

令和 2 年 福寿荘活動報告

令和 2 年度 グループホーム福寿荘 年度報告

1. 実績

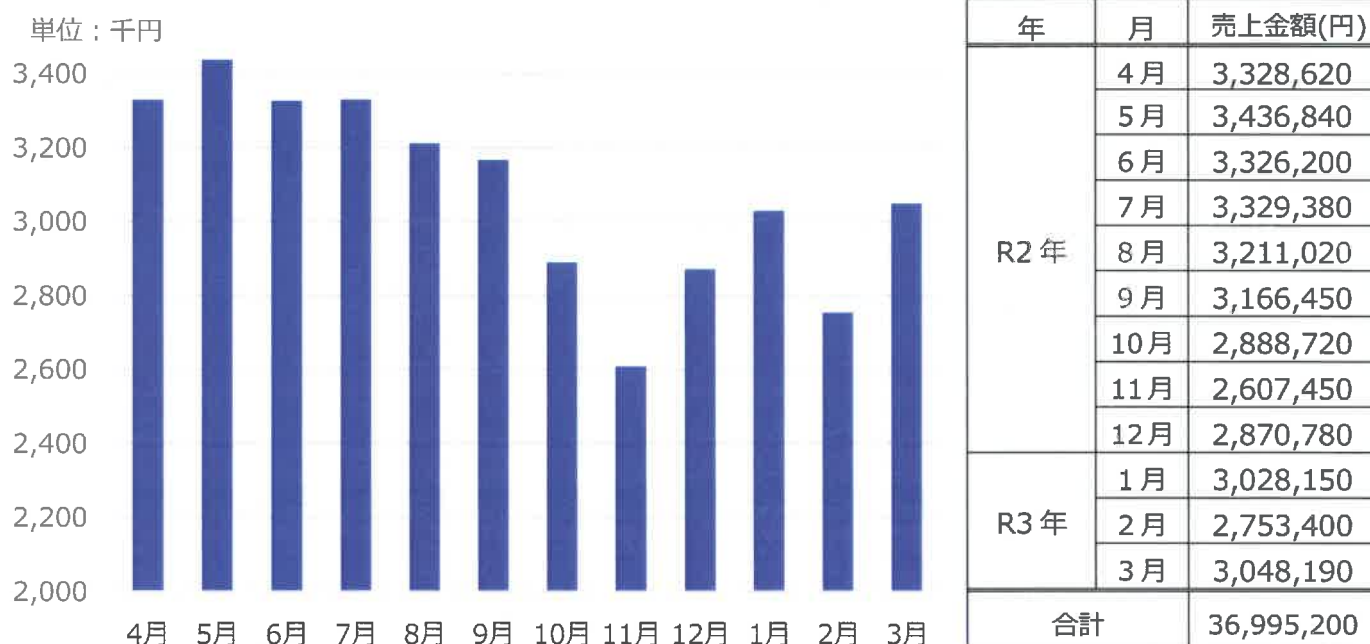
利用者延人数



	令和 2 年									令和 3 年			合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
要介 1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介 2	90	93	90	93	93	77	62	90	93	124	112	124	1141
要介 3	90	93	90	82	73	90	93	90	78	62	56	62	959
要介 4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介 5	30	31	30	31	31	30	16	0	0	0	28	31	258
合 計	270	279	270	268	259	257	233	240	233	248	252	279	3088

単位：人

売上金額



*実地指導のため事前に書類等の精査を行っていたところ、令和 1 年 6 月から令和 2 年 9 月までに 37 件の過誤が判明した為、令和 3 年 2 月請求分において過誤調整を行った。

2. 年間活動報告

行 事

- ・R2. 4. 6 お花見（西与賀公民館）
- ・ 7. 8 歌声喫茶(夢館)
- ・ 7.15 生花教室(夢館)
- ・ 7.17 入居者誕生日会
- ・ 9. 3 火災避難訓練
- ・ 9.18 福寿荘敬老会
- ・ 10.20 入居者誕生日会
- ・ 11. 5 入居者誕生日会(11 月合同)
- ・ 12.14 福寿荘クリスマス会
- ・ 12.18 入居者誕生日会
- ・R3. 1. 1 お正月（おせち・お屠蘇）
- ・ 1.20 入居者誕生日会
- ・ 2. 3 節分豆まき
- ・ 2.12 入居者誕生日会
- ・ 2.16 おやつレク プリン作り
- ・ 3. 8 おやつレク プリン作り
- ・ 3.10 入居者誕生日会
- ・ 3.18 おやつレク おはぎ作り
- ・ 3.23～26 お花見(西与賀公民館、他)

*その他

貼り絵やカレンダー製作、近隣へのドライブ、散歩など随時行う

訪問理容 年間 6 回（偶数月）

3. 医療機関連携

R2. 7. 3 歯科検診（しほデンタルクリニック）

R2.10 月 高齢者健診

R2.10 月 インフルエンザワクチン予防接種

訪問診療 毎週 1 回（火）佐賀リハビリテーション病院 富安 Dr

ほか随時受診

4. 設備等の検査、改修

- ・R2. 5. 4 居室エアコン入れ替え工事（8・9 号室）
- ・ 11.26 消防立入検査
- ・R3. 2. 9 光回線工事
- ・ 3.25 衣類乾燥機交換工事

5. 実地指導について

11 月 13 日(金)に佐賀市広域連合による実地指導を受けた。ホームページと印刷物の表記の統一などの指摘があったが、減算対象にあたるような重大な不備はなかった。

6. 施設外活動

- ・R2. 5.21 令和 2 年度第 1 回運営推進会議
- ・ 7.16 令和 2 年度第 2 回運営推進会議
- ・ 9.24 令和 2 年度第 3 回運営推進会議
- ・ 11.12 令和 2 年度第 4 回運営推進会議
- ・R3. 1.21 令和 2 年度第 5 回運営推進会議（※新型コロナ対策として会議文書のみ送付）
- ・ 3.12 令和 2 年度第 6 回運営推進会議（※新型コロナ対策として会議文書のみ送付）

家族の急な希望により 1 名退所、約 8 カ月空室が続き売上低下が続いていた。

入所希望者は多いもののコロナ感染症の影響もあり、生活保護受給者などにて条件が合わず空室が続いてしまった。当施設関連との関係をさらに密にして利用率の向上に努めていきます。

また入居者の個々の年齢、心身体力、健康状態の差が見られるようになり、日々の状況把握にも心掛けていきたい。

〈令和 2 年度の入退居及び入院の状況〉

退居：1 名(10/16)、新規入居：なし、入院：2 名(7/20～8/21) (9/14～12/16)